

2 各圏域の状況

1.道南 (南渡島、南檜山、北渡島檜山)	32
2.道央 (札幌、後志、南空知、中空知、北空知、西胆振、東胆振、日高)	44
3.道北 (上川中部、上川北部、富良野、留萌、宗谷)	58
4.オホーツク (北網、遠紋)	70
5.十勝 (十勝)	82
6.釧路・根室 (釧路、根室)	94

○ 道内の二次医療圏域



道 南

I 回収状況

脳卒中	道南計	夏期	冬期
総数(人)	293	146	147
男性(人)	157	80	77
(%)	53.6%	54.8%	52.4%
女性(人)	136	66	70
(%)	46.4%	45.2%	47.6%

急性心筋梗塞	道南計	夏期	冬期
総数(人)	73	36	37
男性(人)	53	28	25
(%)	72.6%	77.8%	67.6%
女性(人)	20	8	12
(%)	27.4%	22.2%	32.4%

II 調査結果

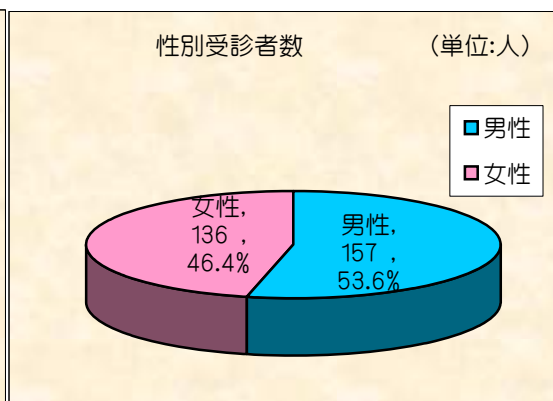
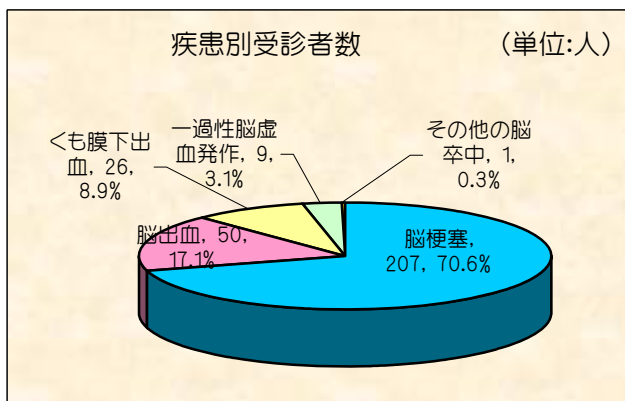
○ 脳卒中

1 発症予防

(1) 患者属性について

ア 疾患別受診者数

- 脳梗塞が全体の70.5%を占めており、次いで脳出血、くも膜下出血の順に多くなっている。
- 夏期と冬期で受診者数や疾患の割合等の差異は認められなかった。
- 男女比は男性が7.2%上回っていた。

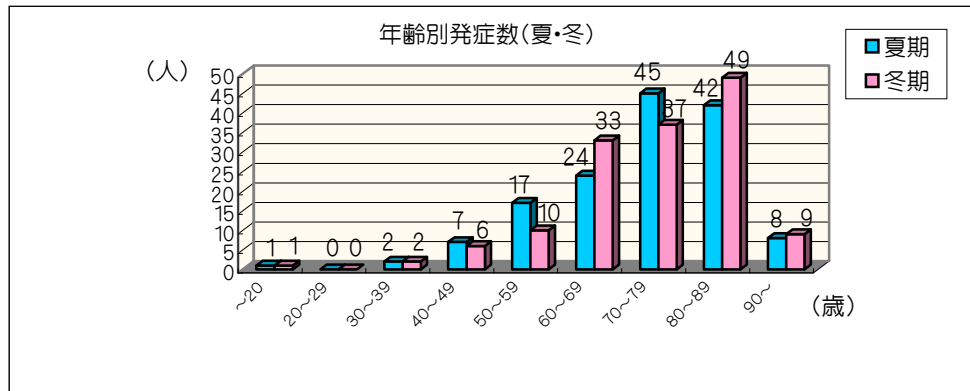


(単位:人)

	合計	夏期	冬期	男性	女性
道南計	293	146	147	157	136
脳梗塞	207	106	101	118	89
脳出血	50	24	26	24	26
くも膜下出血	26	13	13	7	19
一過性脳虚血発作	9	2	7	8	1
その他の脳卒中	1	1	0	0	1

イ 年齢別発症状況

- 80歳代が91人(31.1%)、70歳代82人(28.0%)、60歳代57人(22.8%)の順に多く、60歳代以上が全体の84.2%を占めている。
- 夏期と比較し冬期では、70代の受診者が増加し、80代の受診者が減少していた。

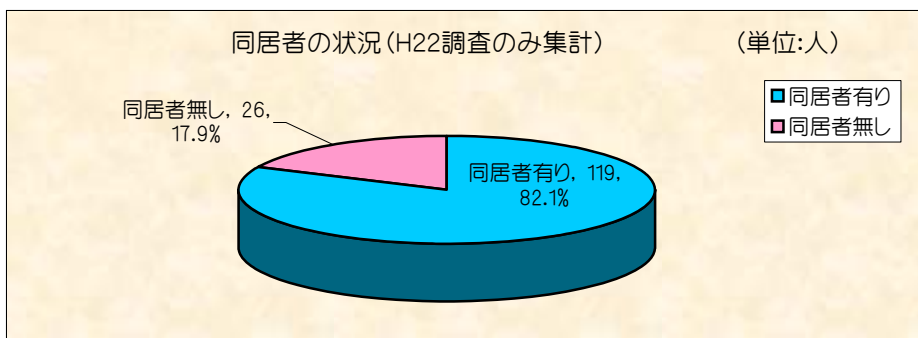


(単位:歳、人)

	~20	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~89	90~
道南計	2	0	4	13	27	57	82	91	17
夏期	1	0	2	7	17	24	45	42	8
冬期	1	0	2	6	10	33	37	49	9
脳梗塞	1	0	0	5	18	36	70	64	13
脳出血	1	0	1	4	5	12	7	19	1
くも膜下出血	0	0	3	4	3	7	5	3	1
一過性脳虚血発作	0	0	0	0	1	2	0	4	2
その他の脳卒中	0	0	0	0	0	0	0	1	0

ウ 居住形態

・同居者有りが119人(82.1%)、無しが26人(17.9%)であった。
(H22年度調査でのみ集計)

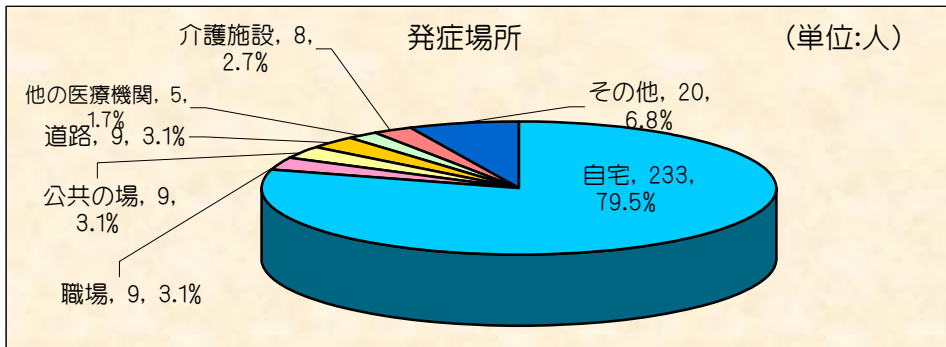


(単位:人)

	同居者有り	同居者無し
道南計	119	26
夏期	60	12
冬期	59	14

エ 発症場所

・自宅233人(79.5%)、その他20人(6.8%)、公共の場9人(3.1%)、職場9人(3.1%)、道路9人(3.1%)、介護保険関係施設8人(2.7%)、他の医療機関5人(1.7%)となっている。
・夏期と比較し冬期では、自宅での発症が増加し、その他での発症が減少した。



(単位:人)

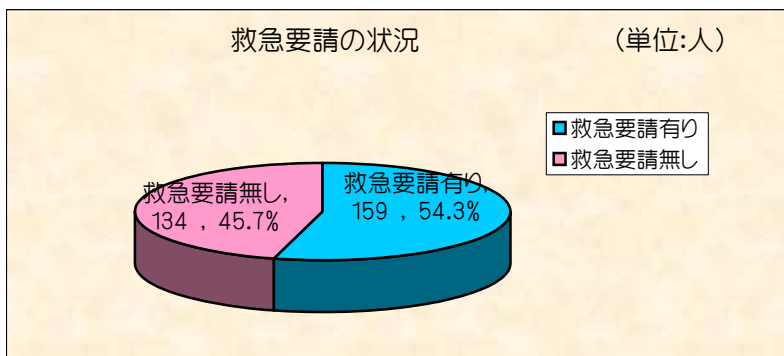
	自宅	職場	公共の場	道路	他の医療機関(H22)	介護保険関係施設(H22)	その他	計
道南計	233	9	9	9	5	8	20	293
構成比	79.5%	3.1%	3.1%	3.1%	1.7%	2.7%	6.8%	100.0%
夏期	112	4	6	5	3	4	12	146
構成比	76.7%	2.7%	4.1%	3.4%	2.1%	2.7%	8.2%	100.0%
冬期	121	5	3	4	2	4	8	147
構成比	82.3%	3.4%	2.0%	2.7%	1.4%	2.7%	5.4%	100.0%

2 応急手当・病院前救護

(1) 受診経過

ア 救急要請の状況

- ・救急要請有りは159人(54.3%)、救急要請無しは134人(45.7%)であった。
- ・夏期と冬期で、救急要請の状況に差異は見られなかった。

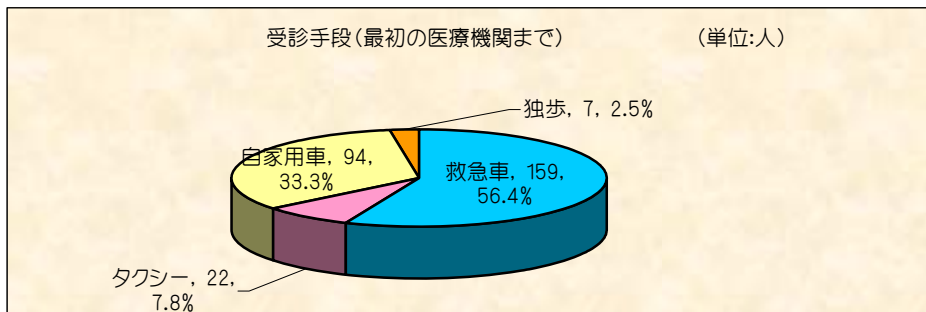


(単位:人)

	救急要請有り	救急要請無し
道南計	159	134
構成比	54.3%	45.7%
夏期	81	65
構成比	50.9%	48.5%
冬期	78	69
構成比	49.1%	51.5%

イ 受診手段の状況

- 受診手段は、救急車159人(56.4%)、タクシー22人(7.8%)、自家用車94人(33.3%)、独歩7人(2.5%)となっていた。
- 夏期と比較し冬期では、自家用車での受診が増加し、救急車、タクシーでの受診が減少した。

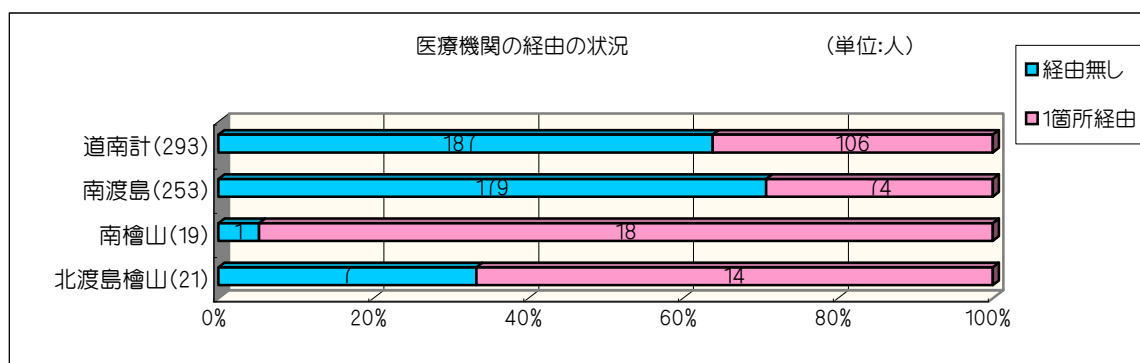


(単位:人)

	発症後最初に受診した医療機関(経由医療機関、調査対象医療機関)までの受診手段						計
	救急車	消防防災ヘリ	ドクターヘリ	タクシー	自家用車	独歩	
道南計	159	0	0	22	94	7	282
構成比	56.4%	0.0%	0.0%	7.8%	33.3%	2.5%	100.0%
夏期	81	0	0	13	42	4	140
構成比	57.9%	0.0%	0.0%	9.3%	30.0%	2.9%	100.0%
冬期	78	0	0	9	52	3	142
構成比	54.9%	0.0%	0.0%	6.3%	36.6%	2.1%	100.0%

ウ 他の医療機関の経由の状況

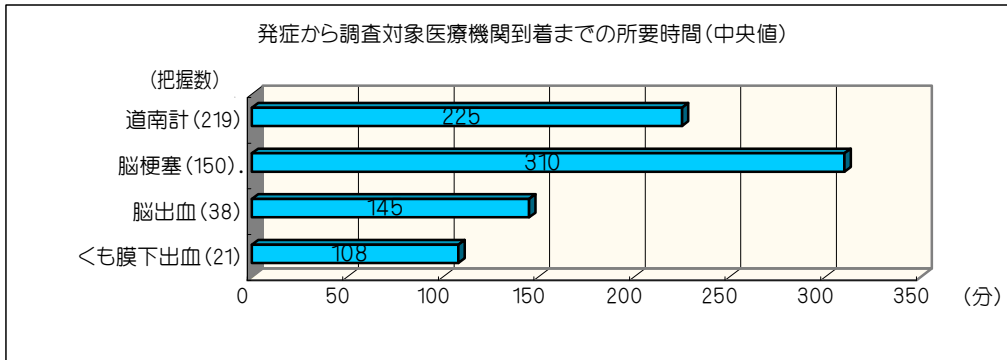
- 他の医療機関の経由状況は、経由機関無しが187人(63.8%)、経由機関有りが106人(36.2%)で、経由機関有りのうち、2か所の機関を経由し、受診した人は8人(2.7%)であった。
- 2次医療圏域別に見ると、経由した者の割合が高かったのは、南檜山94.7%、北渡島檜山66.7%であった。



圏域名 (発症地)	総数(人)	1力所経由有り		2力所経由有り	
		件数(人)	構成比(%)	件数(人)	構成比(%)
道南計	293	106	36.2%	8	2.7%
南渡島	253	74	29.2%	4	1.6%
南檜山	19	18	94.7%	4	21.1%
北渡島檜山	21	14	66.7%	0	0.0%

エ 疾患別発症から医療機関到着までの所要時間等

・発症から調査対象医療機関到着までの所要時間の中央値は225分であった。疾患別では、くも膜下出血108分<脳出血145分<脳梗塞310分の順に所要時間の中央値が長くなっていた。

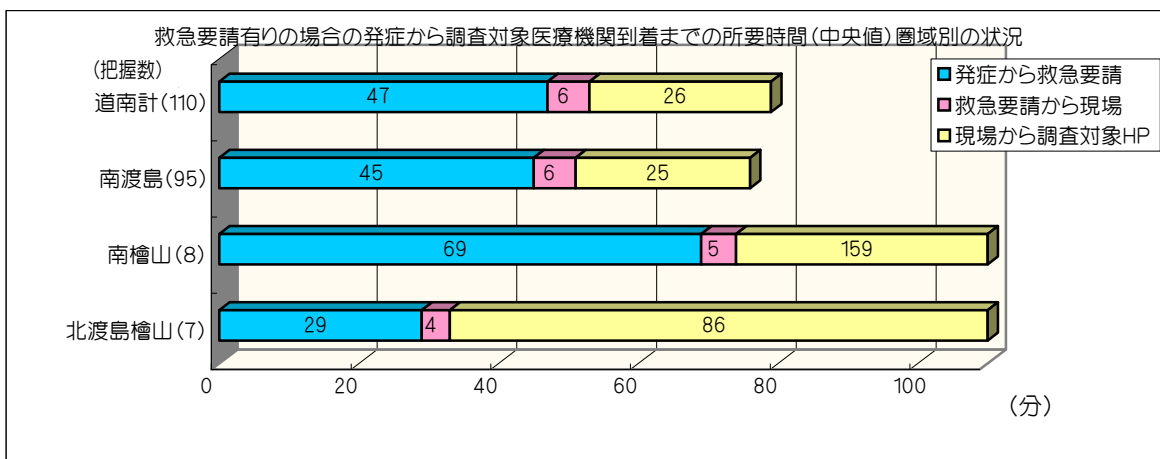


(単位:分)

診断名	発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
道南計	219	0	7,355	225	693	204	33	7,470	252	768	27	65	1,860	350	545
脳梗塞	150	0	7,355	310	891	143	33	7,470	362	974	6	65	189	144	132
脳出血	38	26	1,282	145	323	33	45	1,282	150	339	7	190	1,473	303	473
くも膜下出血	21	29	1,500	108	212	19	50	1,680	120	241	14	278	1,860	571	758
一過性脳虚血発作	9	30	491	77	133	9	64	510	122	179					
その他の脳卒中	1	138	138	138	138										

オ 救急要請有りの場合の発症から各期までの所要時間

・救急要請があった場合の発症から医療機関到着までの所要時間は、把握数が少ないが、南檜山、北渡島檜山で100分を超えていた。
 ・南檜山、北渡島檜山で所要時間が100分を超過していた理由は、医療機関の経由の割合が高いことが要因として推察される。

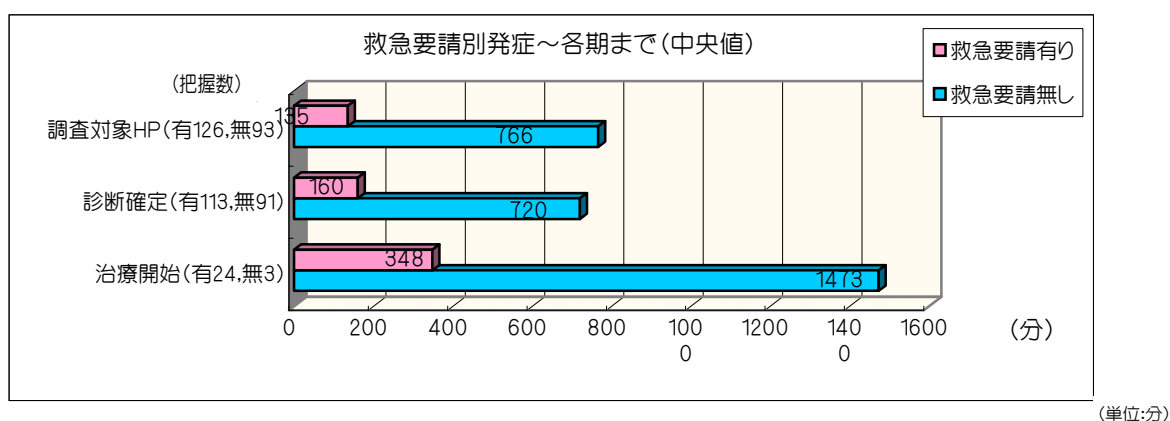


3 急性期医療

(1) 受診経過

ア 救急要請(有・無)別の発症から医療機関到着までの所要時間

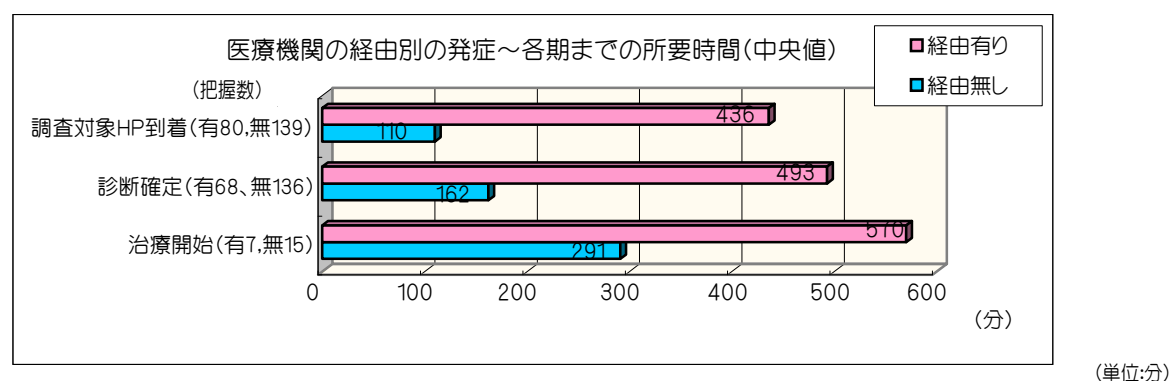
・救急要請があった場合と無かった場合の発症から調査対象医療機関到着、診断確定、治療開始までの所要時間の中央値を比較すると、救急要請有りの所要時間が大幅に短く、調査対象医療機関到着までは631分、診断確定までは560分、治療開始までは1,125分短かった。



		発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
		把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
救急要請	無	93	0	7,355	766	1,253	91	33	7,470	720	1,320	3	303	1,860	1,473	1,212
	有	126	26	3,456	135	279	113	45	3,510	160	324	24	65	1,620	348	462

イ 経由医療機関(有・無)別の発症から医療機関到着までの所要時間

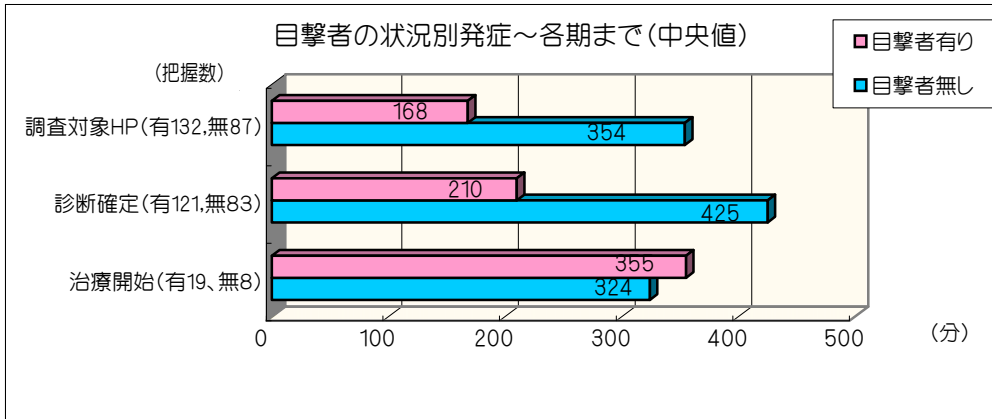
・医療機関の経由が有った場合と無かった場合の発症から調査対象医療機関到着、診断確定、治療開始、までの所要時間の中央値を比較すると医療機関の経由無しの所要時間が大幅に短く、調査対象医療機関到着までは326分、診断確定までは331分、治療開始までは279分短かった。



		発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
		把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
経由機関	無	139	0	5,720	110	486	136	33	5,930	162	572	15	65	1,860	291	464
	有	80	77	7,355	436	1,052	68	108	7,470	493	1,159	7	296	1,620	570	778

ウ 目撃者(有・無)別の発症から医療機関到着までの所要時間

・目撃者有りの場合と無しの場合の発症から調査対象医療機関到着、診断確定、治療開始、までの所要時間の中央値を比較すると目撃者有りの所要時間が、調査対象医療機関到着までは186分、診断確定までは215分短かった。



(単位:分)

		発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
		把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
目撃者	無	87	28	4,125	354	646	83	46	4,230	425	744	8	210	1,860	324	568
	有	132	0	7,355	168	724	121	33	7,470	210	784	19	65	1,620	355	536

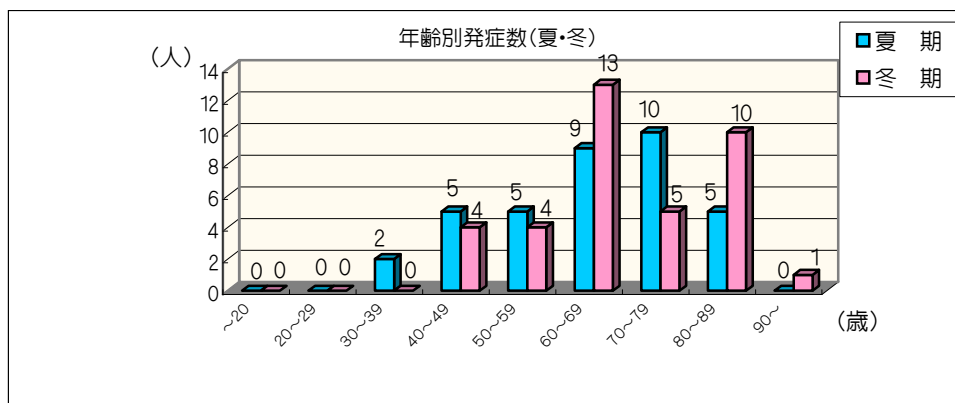
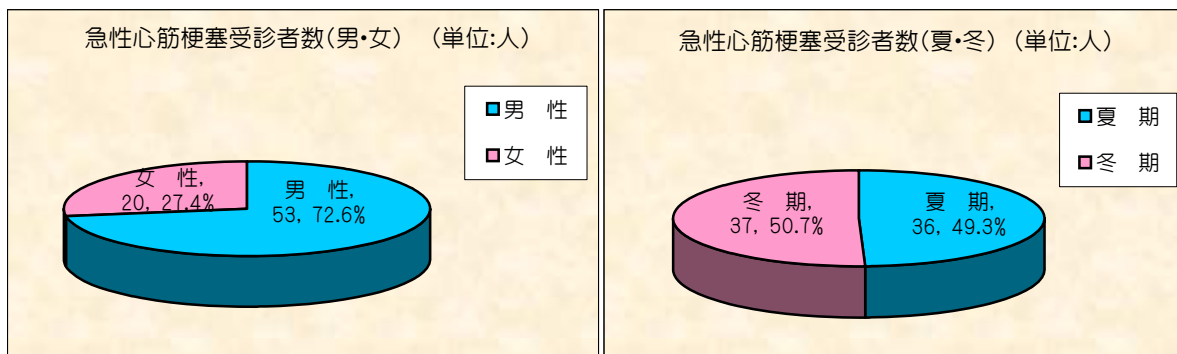
○ 急性心筋梗塞

1 発症予防

(1) 患者属性について

ア 性・年齢別受診者数

- 受診者の男女比は男性72.6%、女性が27.4%で男性の受診者が大きく上回っていた。
- 夏期と冬期を比較すると、夏期49.3%、冬期50.7%で季節による差異はなかった。
- 発症年齢は、60歳代22人(30.1%)、70歳代15人(20.5%)、80歳代15人(20.5%)の順に多く、60歳代以上が53人で全体の72.6%を占めていた。
- 夏期と冬期で受診者数に差異はなかった。



(単位:歳、人)

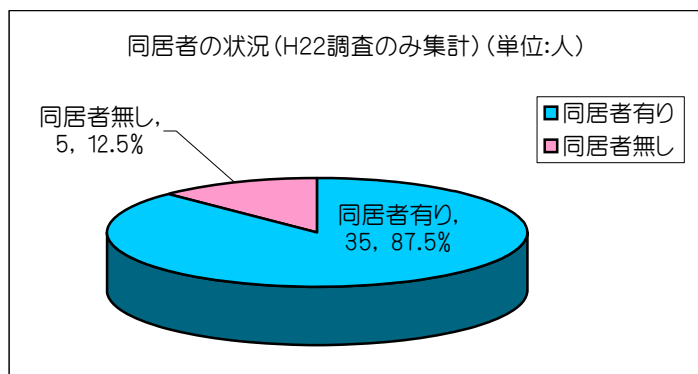
	合計	~20	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~89	90~
道南計	73	0	0	2	9	9	22	15	15	1
構成比		0.0%	0.0%	2.7%	12.3%	12.3%	30.1%	20.5%	20.5%	1.4%
男性	53	0	0	1	8	9	17	10	7	1
構成比		0.0%	0.0%	1.9%	15.1%	17.0%	32.1%	18.9%	13.2%	1.9%
女性	20	0	0	1	1	0	5	5	8	0
構成比		0.0%	0.0%	5.0%	5.0%	0.0%	25.0%	25.0%	40.0%	0.0%

(単位:歳、人)

	合計	~20	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~89	90~
道南計	73	0	0	2	9	9	22	15	15	1
構成比		0.0%	0.0%	2.7%	12.3%	12.3%	30.1%	20.5%	20.5%	1.4%
夏期	36	0	0	2	5	5	9	10	5	0
構成比		0.0%	0.0%	5.6%	13.9%	13.9%	25.0%	27.8%	13.9%	0.0%
冬期	37	0	0	0	4	4	13	5	10	1
構成比		0.0%	0.0%	0.0%	10.8%	10.8%	35.1%	13.5%	27.0%	2.7%

イ 居住形態

•同居者有りが35人(87.5%)、無しが5人(12.5%)であった。
(H22年度調査でのみ集計)

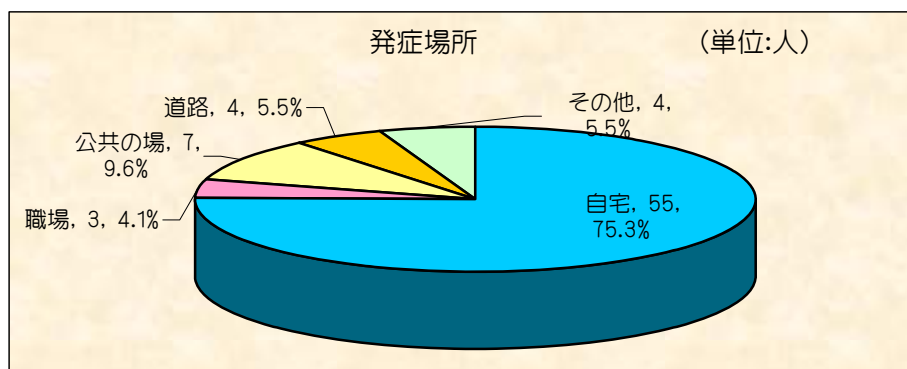


(単位:人)

	同居者有り	同居者無し
道南計	35	5
夏期	17	4
冬期	18	1

ウ 発症場所

•自宅55人(75.3%)、その他4人(5.5%)、公共の場7人(9.6%)、職場3人(4.1%)、道路4人(5.5%)となっている。
•夏期と比較し冬期では、自宅での発症が増加し、公共の場での発症が減少した。



(単位:人)

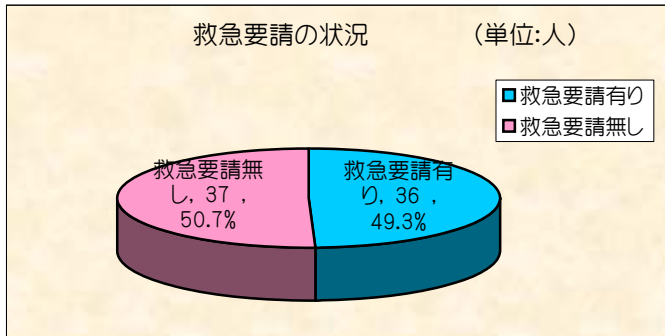
	自宅	職場	公共の場	道路	他の医療機関(H22)	介護保険関係施設(H22)	その他	計
道南計	55	3	7	4	0	0	4	73
構成比	75.3%	4.1%	9.6%	5.5%	0.0%	0.0%	5.5%	100.0%
夏期	23	2	7	2	0	0	2	36
構成比	63.9%	5.6%	19.4%	5.6%	0.0%	0.0%	5.6%	100.0%
冬期	32	1	0	2	0	0	2	37
構成比	86.5%	2.7%	0.0%	5.4%	0.0%	0.0%	5.4%	100.0%

2 応急手当・病院前救護

(1) 受診経過

ア 救急要請の状況

- 救急要請有りは36人(49.3%)、救急要請無しは37人(50.7%)であった。
- 夏期と比較し冬期では、救急要請の割合が15.1%増加した。

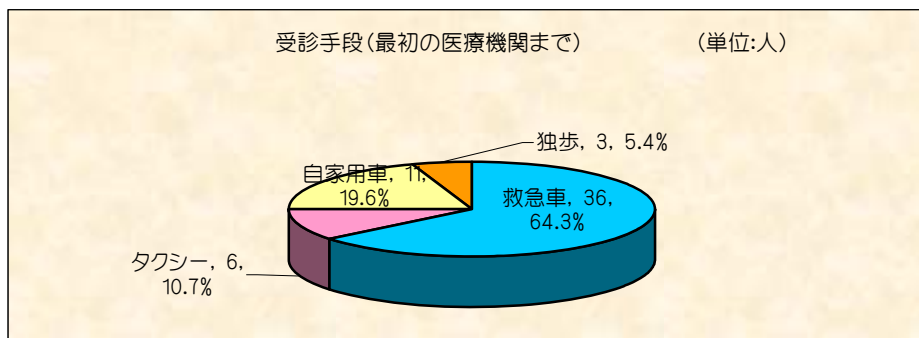


(単位:人)

	救急要請有り	救急要請無し
総計	36	37
構成比	49.3%	50.7%
夏期	15	21
構成比	41.7%	58.3%
冬期	21	16
構成比	56.8%	43.2%

イ 受診手段の状況

- 受診手段は、救急車36人(64.3%)、タクシー6人(10.7%)、自家用車11人(19.6%)、独歩3人(5.4%)となっていた。
- 夏期と比較し冬期では、救急車での受診が増加し、タクシーでの受診が減少した。

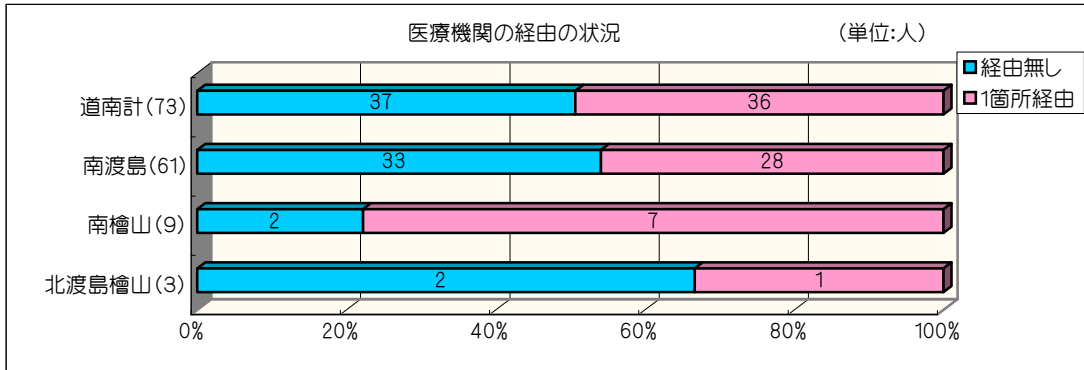


(単位:人)

	発症後最初に受診した医療機関(経由医療機関、調査対象医療機関)までの受診手段						計
	救急車	消防防災ヘリ	ドクターヘリ	タクシー	自家用車	独歩	
道南計	36	0	0	6	11	3	56
構成比	64.3%	0.0%	0.0%	10.7%	19.6%	5.4%	100.0%
夏期	15	0	0	4	4	2	25
構成比	60.0%	0.0%	0.0%	16.0%	16.0%	8.0%	100.0%
冬期	21	0	0	2	7	1	31
構成比	67.7%	0.0%	0.0%	6.5%	22.6%	3.2%	100.0%

ウ 他の医療機関の経由の状況

・道南の他の医療機関の経由状況は、経由機関無しが37人(50.7%)、経由機関有りが36人(49.3%)で、経由機関有りのうち、2か所の機関を経由し、受診した人はいなかった。



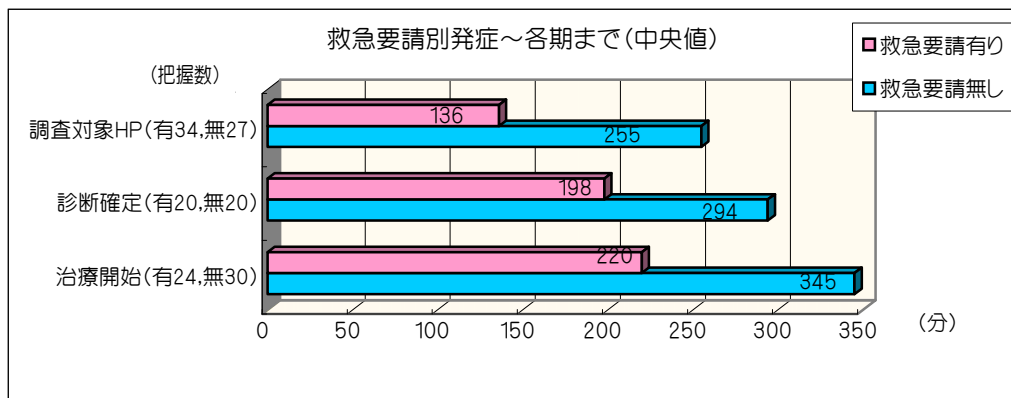
圏域名 (発症地)	総数(人)	1か所経由有り		2か所経由有り	
		件数(人)	構成比(%)	件数(人)	構成比(%)
道南計	73	36	49.3%		
南渡島	61	28	45.9%		
南檜山	9	7	77.8%		
北渡島檜山	3	1	33.3%		

3 急性期医療

(1) 受診経過

ア 救急要請(有・無)別の発症から医療機関到着までの所要時間

・救急要請があった場合と無かった場合の発症から調査対象医療機関到着、診断確定、治療開始、までの所要時間の中央値を比較すると救急要請有りの所要時間が大幅に短く、調査対象医療機関到着までは119分、診断確定までは96分、治療開始までは125分短かった。

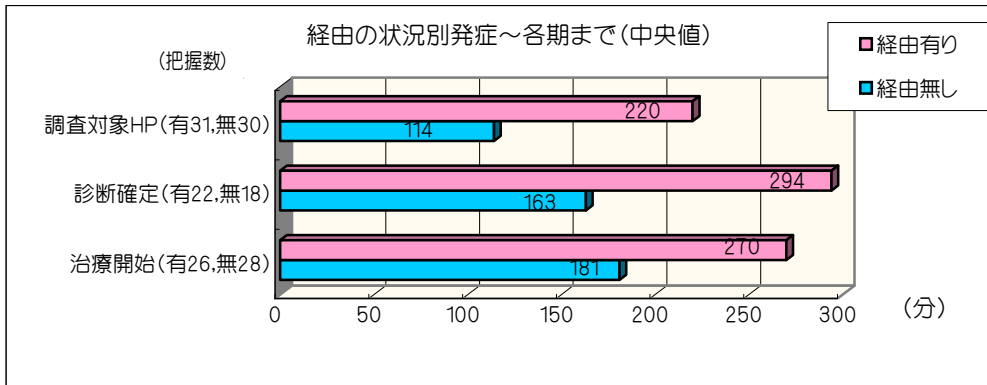


(単位:分)

		発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
		把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
救急要請	無	27	64	3,720	255	690	20	75	10,500	294	1,281	24	120	10,117	345	1,110
	有	34	33	4,346	136	361	20	75	1,711	198	380	30	43	4,437	220	437

イ 経由医療機関(有・無)別の発症から医療機関到着までの所要時間

・医療機関の経由が有った場合と無かった場合の発症から調査対象医療機関到着、診断確定治療開始、までの所要時間の中央値を比較すると医療機関の経由無しの所要時間が大幅に短く、調査対象医療機関到着までは106分、診断確定までは131分、治療開始までは89分短かった。

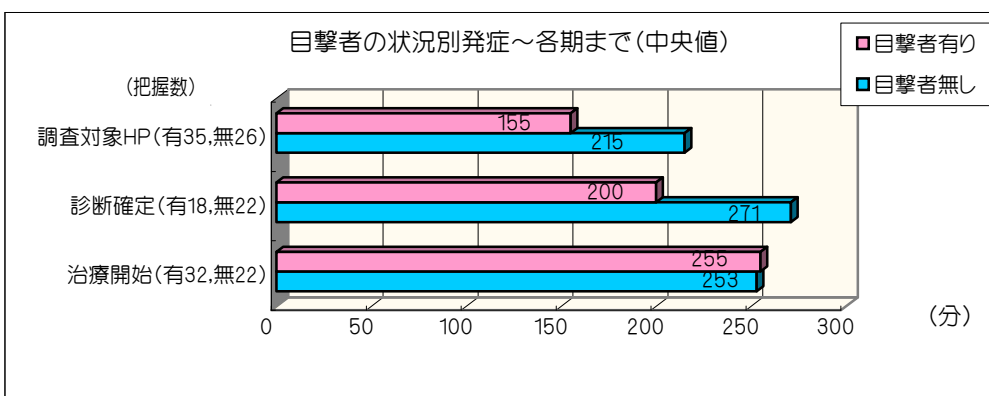


(単位:分)

経由機関		発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
		把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
経由機関	無	30	33	4,346	114	427	18	75	10,500	163	978	28	43	10,117	181	815
	有	31	79	3,720	220	583	22	110	4,020	294	710	26	170	4,050	270	654

ウ 目撃者(有・無)別の発症から医療機関到着までの所要時間

・目撃者が有りの場合と無しの場合の発症から調査対象医療機関到着、診断確定、治療開始、までの所要時間の中央値を比較すると調査対象医療機関到着までは60分、診断確定までは711分、目撃者有りの所要時間が短かった。



(単位:分)

目撃者		発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
		把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
目撃者	無	26	53	2,265	215	534	22	110	10,500	271	954	22	110	10,117	253	915
	有	35	33	4,346	155	486	18	75	4,020	200	680	32	43	4,437	255	622

道 央

I 回収状況

脳卒中	道央計	夏期	冬期
総数(人)	1,527	746	781
男性(人)	871	425	446
(%)	57.0%	57.0%	57.1%
女性(人)	656	321	335
(%)	43.0%	43.0%	42.9%

急性心筋梗塞	道央計	夏期	冬期
総数(人)	421	180	241
男性(人)	306	140	166
(%)	72.7%	77.8%	68.9%
女性(人)	115	40	75
(%)	27.3%	22.2%	31.1%

II 調査結果

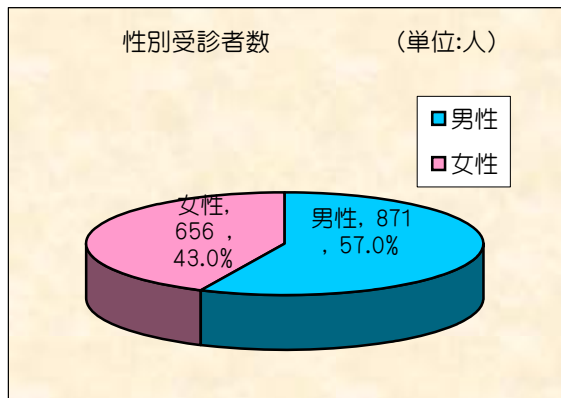
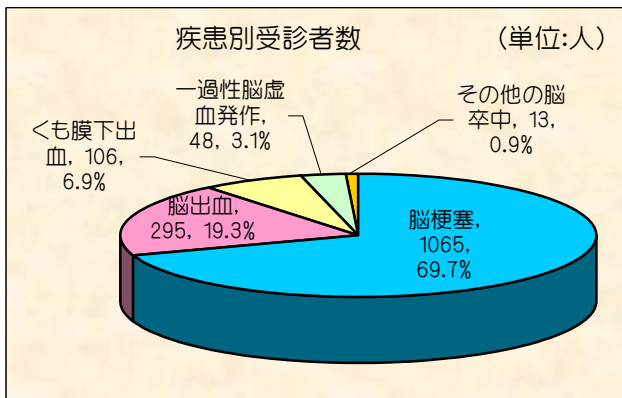
○ 脳卒中

1 発症予防

(1) 患者属性について

ア 疾患別受診者数

- 脳梗塞が全体の約70%を占めており、次いで脳出血、くも膜下出血の順に多くなっている。
- 夏期と比較し冬期では、受診者数が若干増加した。
- 男女比は男性が14.0%上回っていた。

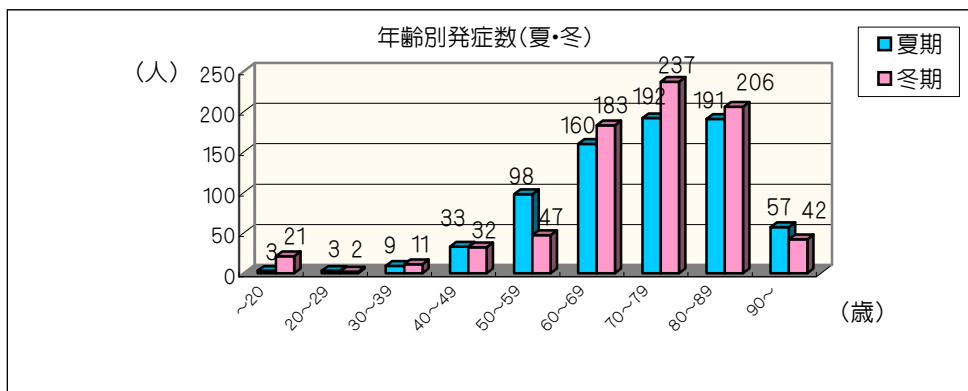


(単位:人)

	合計	夏期	冬期	男性	女性
道央計	1,527	746	781	871	656
脳梗塞	1,065	527	538	632	433
脳出血	295	135	160	174	121
くも膜下出血	106	54	52	32	74
一過性脳虚血発作	48	21	27	27	21
その他の脳卒中	13	9	4	6	7

イ 年齢別発症状況

- 70歳代が429人(28.1%)、80歳代397人(26.0%)、60歳代343人(22.5%)の順に多く、60歳代以上が全体の83.0%を占めている。
- 夏期と比較し冬期では、60歳代以上の受診者が増加し、50代の受診者が減少していた。

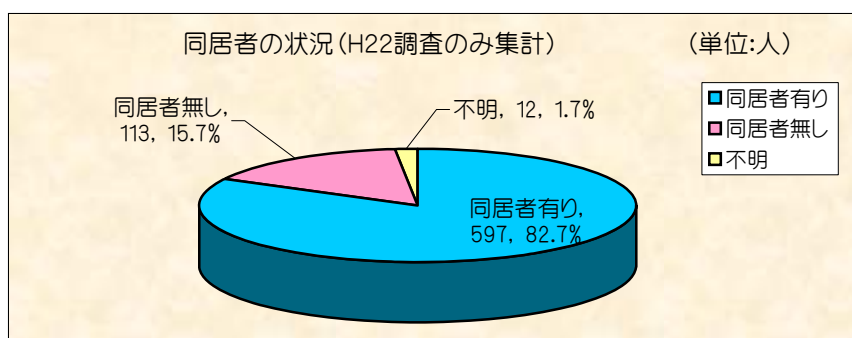


(単位:歳、人)

	~20	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~89	90~
道央計	24	5	20	65	145	343	429	397	99
夏期	3	3	9	33	98	160	192	191	57
冬期	21	2	11	32	47	183	237	206	42
脳梗塞	12	1	5	31	82	225	321	305	83
脳出血	6	3	7	22	29	80	71	67	10
くも膜下出血	4	1	7	9	25	26	17	14	3
一過性脳虚血発作	1	0	1	2	7	8	18	8	3
その他の脳卒中	1	0	0	1	2	4	2	3	0

ウ 居住形態

・同居者有りが597人(82.7%)、無しが113人(15.7%)、不明が12人(1.7%)であった。(H22年度調査でのみ集計)

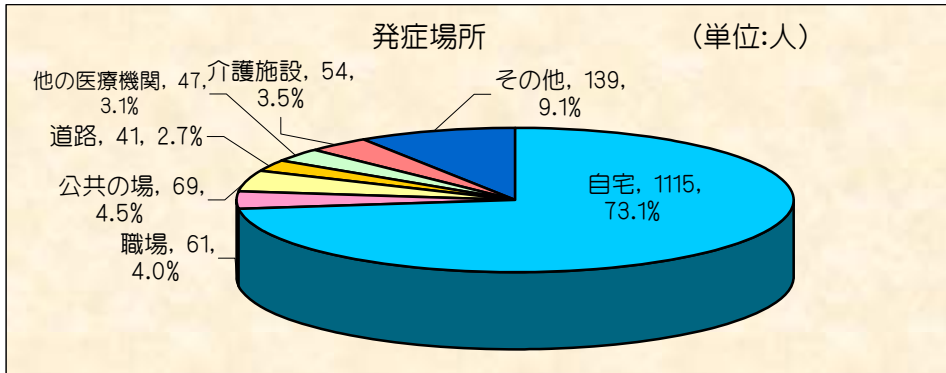


(単位:人)

	同居者有り	同居者無し	不明
道央計	597	113	12
夏期	297	45	11
冬期	300	68	1

エ 発症場所

・自宅1,115人(73.1%)、その他139人(9.1%)、公共の場69人(4.5%)、職場61人(4.0%)、介護保健関係施設54人(3.5%)、他の医療機関47人(3.1%)、道路41人(2.7%)となっている。
 ・夏期と比較し冬期では、自宅での発症が増加し、その他、公共の場での発症が減少した。



(単位:人)

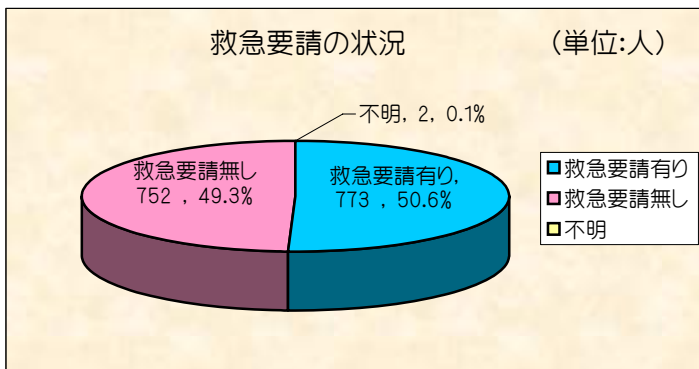
	自宅	職場	公共の場	道路	他の医療機関(H22)	介護保険関係施設(H22)	その他	計
道央計	1,115	61	69	41	47	54	139	1,526
構成比	73.1%	4.0%	4.5%	2.7%	3.1%	3.5%	9.1%	100.0%
夏期	517	31	39	22	25	29	83	746
構成比	69.3%	4.2%	5.2%	2.9%	3.4%	3.9%	11.1%	100.0%
冬期	598	30	30	19	22	25	56	780
構成比	76.7%	3.8%	3.8%	2.4%	2.8%	3.2%	7.2%	100.0%

2 応急手当・病院前救護

(1) 受診経過

ア 救急要請の状況

- ・救急要請有りは773人(50.6%)、救急要請無しは752人(49.3%)、不明2人(0.1%)であった。
- ・夏期と冬期で、救急要請の状況に大きな差異は見られなかった。

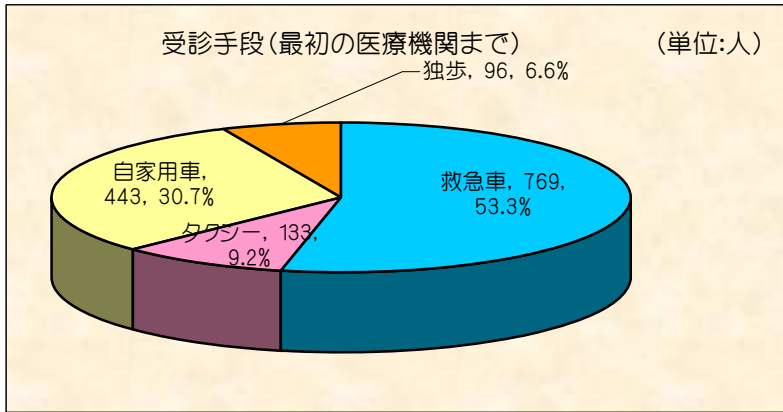


(単位:人)

	救急要請有り	救急要請無し	不明
道央計	773	752	2
構成比	50.6%	49.2%	0.1%
夏期	364	382	
構成比	48.8%	51.2%	
冬期	409	370	2
構成比	52.4%	47.4%	0.3%

イ 受診手段の状況

- 受診手段は、救急車769人(53.3%)、ドクターヘリ3人(0.2%)タクシー133人(9.2%)、自家用車443人(30.7%)、独歩96人(6.6%)、となっていた。
- 夏期と比較し冬期では、救急車、タクシーでの受診が若干増加し、自家用車での受診が減少した。

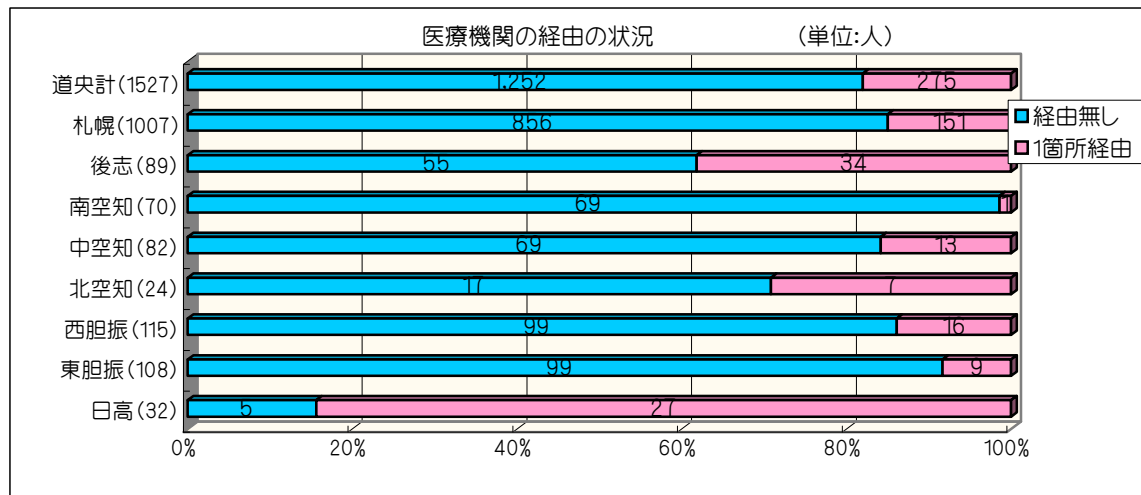


(単位:人)

	発症後最初に受診した医療機関(経由医療機関、調査対象医療機関)までの受診手段						計
	救急車	消防防災ヘリ	ドクターヘリ	タクシー	自家用車	独歩	
道央計	769	0	3	133	443	96	1,444
構成比	53.3%	0.0%	0.2%	9.2%	30.7%	6.6%	100.0%
夏期	361	0	3	54	225	47	690
構成比	52.3%	0.0%	0.4%	7.8%	32.6%	6.8%	100.0%
冬期	408	0	0	79	218	49	754
構成比	54.1%	0.0%	0.0%	10.5%	28.9%	6.5%	100.0%

ウ 他の医療機関の経由の状況

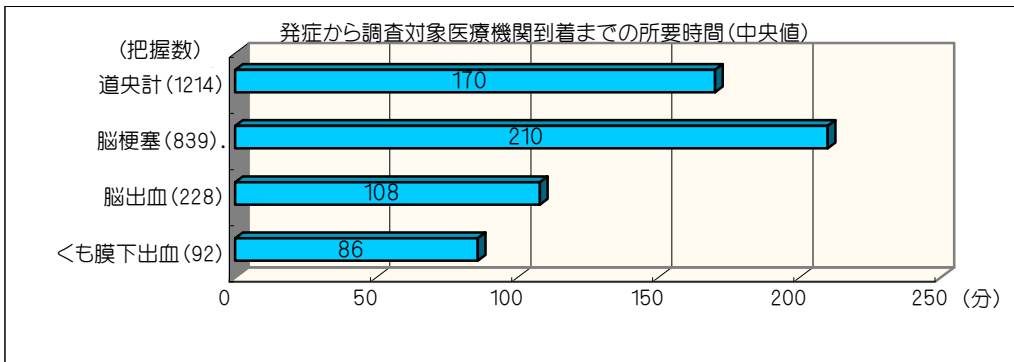
- 他の医療機関の経由状況は、経由機関無しが1252人(82.0%)、経由機関有りが275人(18.0%)で、経由機関有りのうち、2か所の機関を経由し、受診した人は5人(0.3%)であった。
- 2次医療圏域別に見ると、経由した割合が高かったのは、日高(84.4%)と後志(38.2%)であった。



圏域名 (発症地)	総数(人)	1カ所経由有り		2カ所経由有り	
		件数(人)	構成比(%)	件数(人)	構成比(%)
道央計	1527	275	18.0%	5	0.3%
札幌	1007	151	15.0%	3	0.3%
後志	89	34	38.2%		
南空知	70	18	25.7%		
中空知	82	13	15.9%		
北空知	24	7	29.2%		
西胆振	115	16	13.9%		
東胆振	108	9	8.3%	1	0.9%
日高	32	27	84.4%	1	3.1%

エ 疾患別発症から医療機関到着までの所要時間等

・発症から調査対象医療機関到着までの所要時間の中央値は170分であった。疾患別では、くも膜下出血86分<脳出血108分<脳梗塞210分の順に所要時間の中央値が長くなっていた。

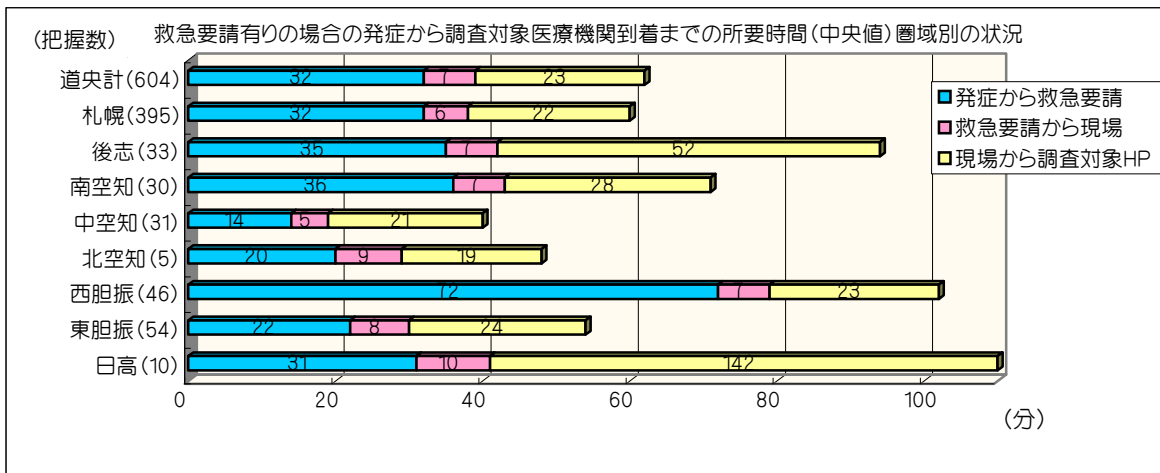


(単位:分)

診断名	発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
道央計	1,214	0	8,765	170	728	1,190	0	8,785	230	814	137	65	8,755	325	956
脳梗塞	839	0	8,765	210	836	824	0	8,785	287	929	39	90	6,847	150	702
脳出血	228	2	8,693	108	497	223	26	8,773	155	582	28	65	8,755	363	1,482
くも膜下出血	92	14	7,345	86	417	87	35	7,351	120	451	65	75	8,520	390	811
一過性脳虚血発作	45	20	4,410	90	607	46	25	4,507	170	660					
その他の脳卒中	10	35	1,602	114	287	10	45	1,865	160	341	5	340	5,515	810	2,021

オ 救急要請有りの場合の発症から各期までの所要時間

・救急要請があった場合の発症から医療機関到着までの所要時間は、日高、西胆振で100分を超えていた。
 ・把握数は少ないが日高で所要時間が100分を超過していた理由は、医療機関の経由の割合が高いことが要因として推察される。
 ・西胆振で所要時間が100分を超過していた理由は、発症から救急要請までに時間を要していたことによる。

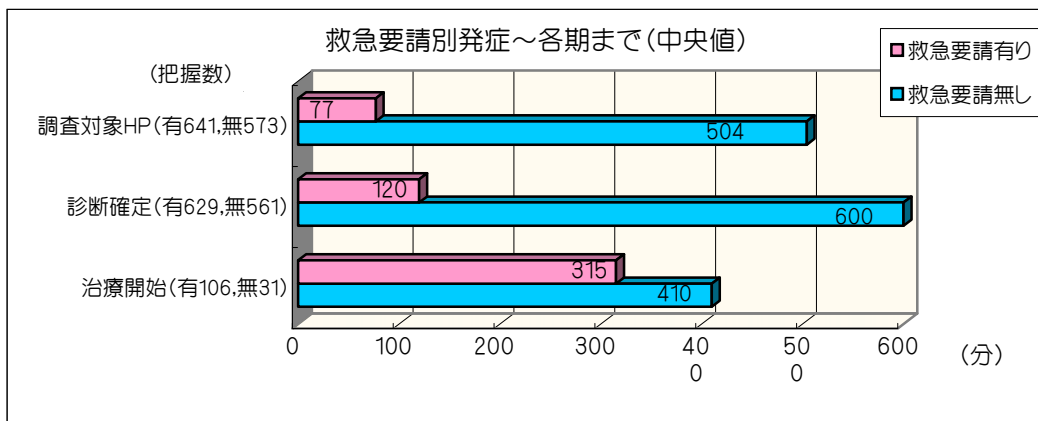


3 急性期医療

(1) 受診経過

ア 救急要請(有・無)別の発症から医療機関到着までの所要時間

・救急要請があった場合と無かった場合の発症から調査対象医療機関到着、診断確定、治療開始、までの所要時間の中央値を比較すると、救急要請有りの所要時間が大幅に短く、調査対象医療機関到着までは427分、診断確定までは480分、治療開始までは95分短かった。

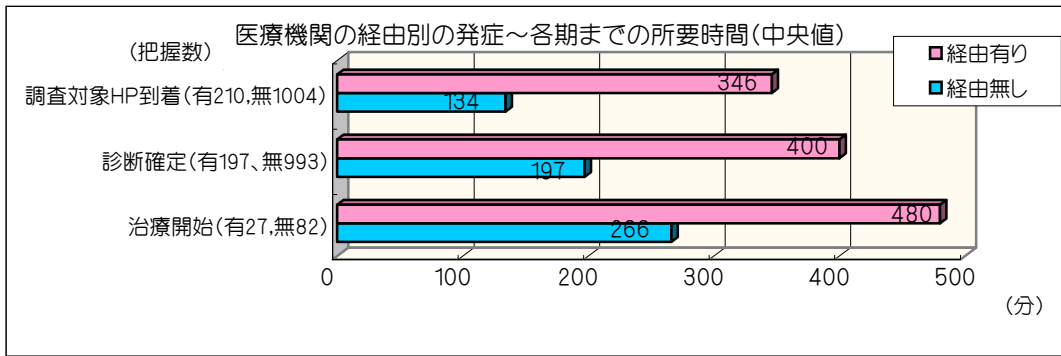


(単位:分)

	救急要請	発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
		把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
	無	573	0	8,765	504	1,222	561	0	8,785	600	1,332	31	75	8,755	410	1,129
	有	641	8	8,190	77	286	629	25	8,220	120	351	106	65	8,520	315	906

イ 経由医療機関(有・無)別の発症から医療機関到着までの所要時間

・医療機関の経由が有った場合と無かった場合の発症から調査対象医療機関到着、診断確定、治療開始、までの所要時間の中央値を比較すると、医療機関の経由無しの所要時間が大幅に短く、調査対象医療機関到着までは212分、診断確定までは203分、治療開始までは214分短かった。

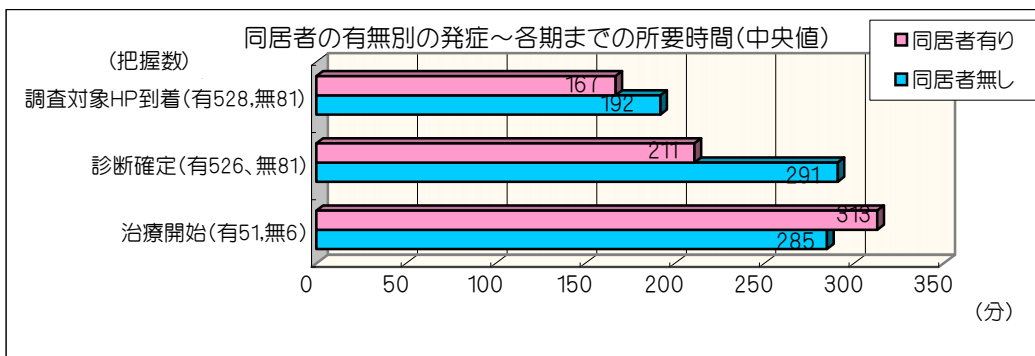


(単位:分)

		発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
		把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
経路機関	無	1,004	0	8,765	134	686	993	0	8,785	197	767	82	65	6,847	266	782
	有	210	29	8,693	346	929	197	45	8,773	400	1,050	27	135	8,755	480	1,565

ウ 同居者(有・無)別の発症から医療機関到着までの所要時間(H22調査)

・同居者有りの場合と無しの場合の発症から調査対象医療機関到着、診断確定、治療開始、までの所要時間の中央値を比較すると同居者無しの所要時間が調査対象医療機関到着までは25分、診断確定までは80分短かった。

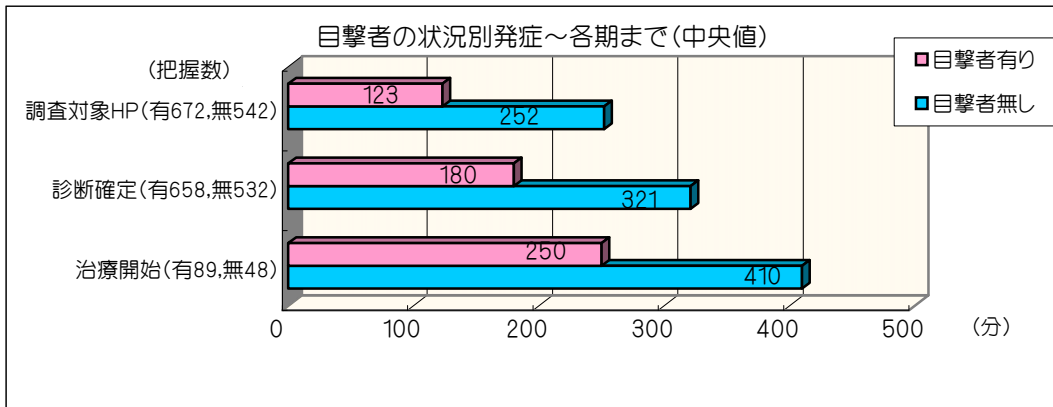


(単位:分)

		発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
		把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
同居者	無	81	0	5,700	192	713	81	0	5,985	291	813	6	100	2,785	285	602
	有	528	0	7,400	167	705	526	26	7,500	211	778	51	75	8,755	313	913

エ 目撃者(有・無)別の発症から医療機関到着までの所要時間

・目撃者有りの場合と無しの場合の発症から調査対象医療機関到着、診断確定、治療開始、までの所要時間の中央値を比較すると目撃者有りの所要時間が、調査対象医療機関到着までは129分、診断確定までは141分、治療開始までは160分短かった。



(単位:分)

		発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
		把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
目撃者	無	542	0	8,765	252	904	532	30	8,785	321	1,004	48	75	8,755	410	1,567
	有	672	0	7,242	123	586	658	0	7,270	180	660	89	65	5,515	250	605

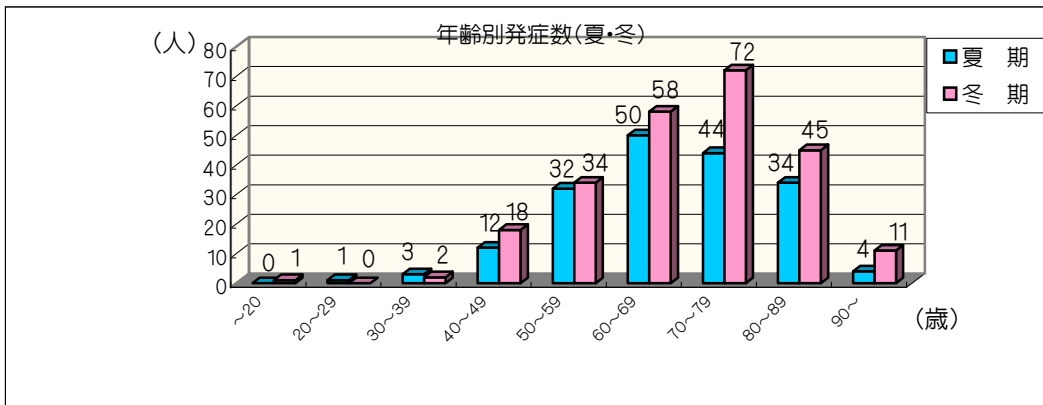
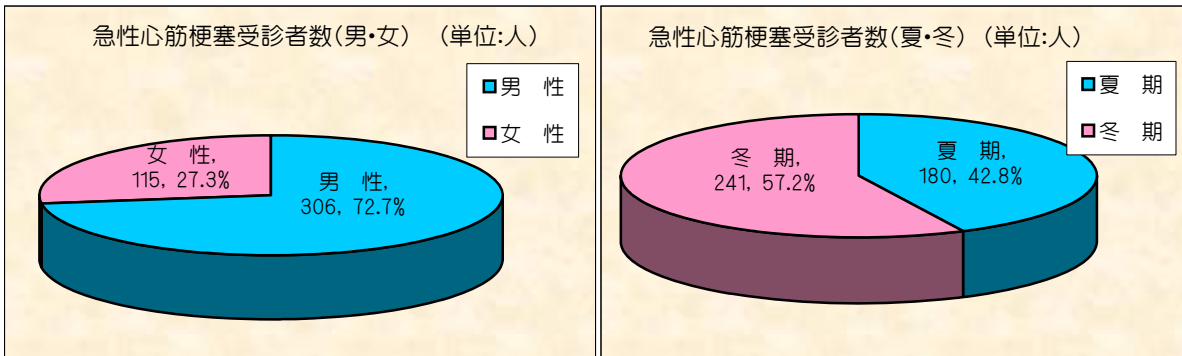
○ 急性心筋梗塞

1 発症予防

(1) 患者属性について

ア 性・年齢別受診者数

- ・受診者の男女比は男性72.7%、女性が27.3%で男性の受診者が大きく上回っていた。
- ・夏期と冬期を比較すると、夏期42.8%、冬期57.2%で冬期の発症が多くなっていた。
- ・発症年齢は、70歳代116人(27.6%)、60歳代108人(25.7%)、80歳代79人(18.8%)の順に多く、60歳代以上が318人で全体の78.5%を占めていた。



(単位:歳、人)

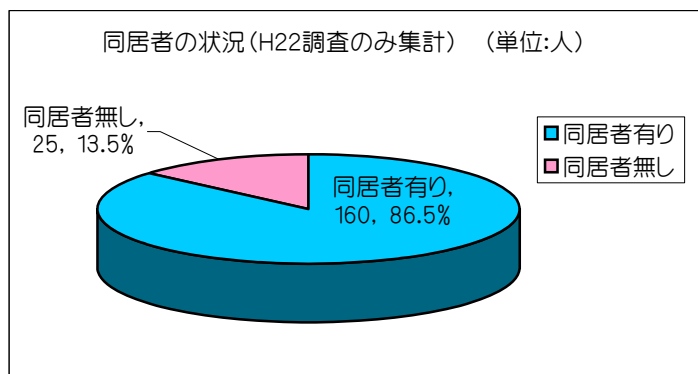
	合計	~20	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~89	90~
道央計	421	1	1	5	30	66	108	116	79	15
構成比		0.2%	0.2%	1.2%	7.1%	15.7%	25.7%	27.6%	18.8%	3.6%
男性	306	1	1	4	27	62	85	83	37	6
構成比		0.3%	0.3%	1.3%	8.8%	20.3%	27.8%	27.1%	12.1%	2.0%
女性	115	0	0	1	3	4	23	33	42	9
構成比		0.0%	0.0%	0.9%	2.6%	3.5%	20.0%	28.7%	36.5%	7.8%

(単位:歳、人)

	合計	~20	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~89	90~
道央計	421	1	1	5	30	66	108	116	79	15
構成比		0.2%	0.2%	1.2%	7.1%	15.7%	25.7%	27.6%	18.8%	3.6%
夏期	180	0	1	3	12	32	50	44	34	4
構成比		0.0%	0.6%	1.7%	6.7%	17.8%	27.8%	24.4%	18.9%	2.2%
冬期	241	1	0	2	18	34	58	72	45	11
構成比		0.4%	0.0%	0.8%	7.5%	14.1%	24.1%	29.9%	18.7%	4.6%

イ 居住形態

- 同居者有りが160人(86.5%)、無しが25人(13.5%)であった。
(H22年度調査でのみ集計)

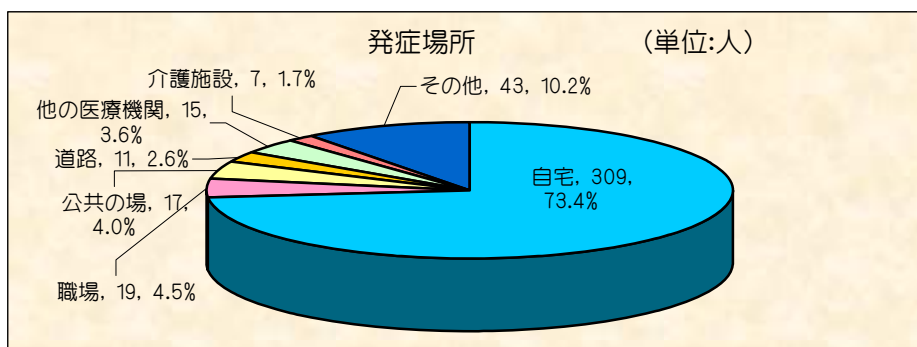


(単位:人)

	同居者有り	同居者無し
道央計	160	25
夏期	70	8
冬期	90	17

ウ 発症場所

- 自宅309人(73.4%)、その他43人(10.2%)、公共の場17人(4.0%)、職場19人(4.5%)、他の医療機関15人(3.6%)、道路11人(2.6%)、介護保険関係施設7人(1.7%)となっている。
- 夏期と比較し冬期では、自宅での発症が増加し、公共の場,その他での発症が減少した。



(単位:人)

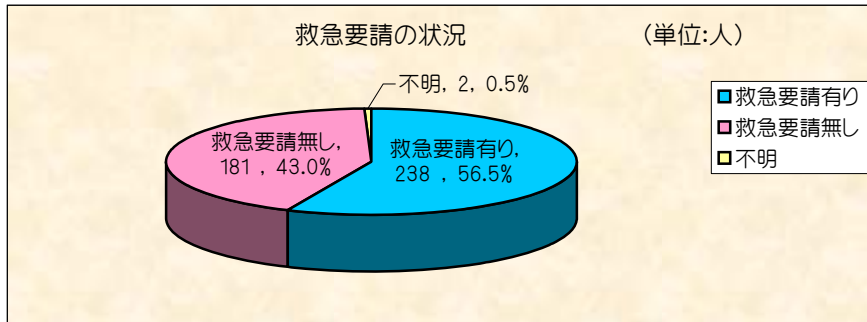
	自宅	職場	公共の場	道路	他の医療機関(H22)	介護保険関係施設(H22)	その他	計
道央計	309	19	17	11	15	7	43	421
構成比	73.4%	4.5%	4.0%	2.6%	3.6%	1.7%	10.2%	100.0%
夏期	123	12	11	6	4	1	23	180
構成比	68.3%	6.7%	6.1%	3.3%	2.2%	0.6%	12.8%	100.0%
冬期	186	7	6	5	11	6	20	241
構成比	77.2%	2.9%	2.5%	2.1%	4.6%	2.5%	8.3%	100.0%

2 応急手当・病院前救護

(1) 受診経過

ア 救急要請の状況

- ・救急要請有りは238人(56.5%)、救急要請無しは181人(43.0%)、不明2人(0.5%)であった。
- ・夏期と冬期で、救急要請の割合に大きな差異はなかった。

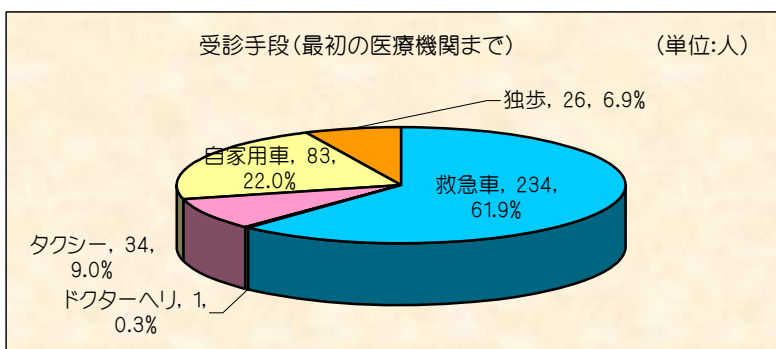


(単位:人)

	救急要請有り	救急要請無し	不明
道央計	238	181	2
構成比	56.5%	43.0%	0.5%
夏期	101	79	
構成比	56.1%	43.9%	
冬期	137	102	2
構成比	56.8%	42.3%	0.8%

イ 受診手段の状況

- ・受診手段は、救急車234人(61.9%)、ドクターヘリ1人(0.3%)、タクシー34人(9.0%)、自家用車83人(22.0%)、独歩26人(6.9%)となっていた。
- ・夏期と冬期で、受診手段に差異は見られなかった。

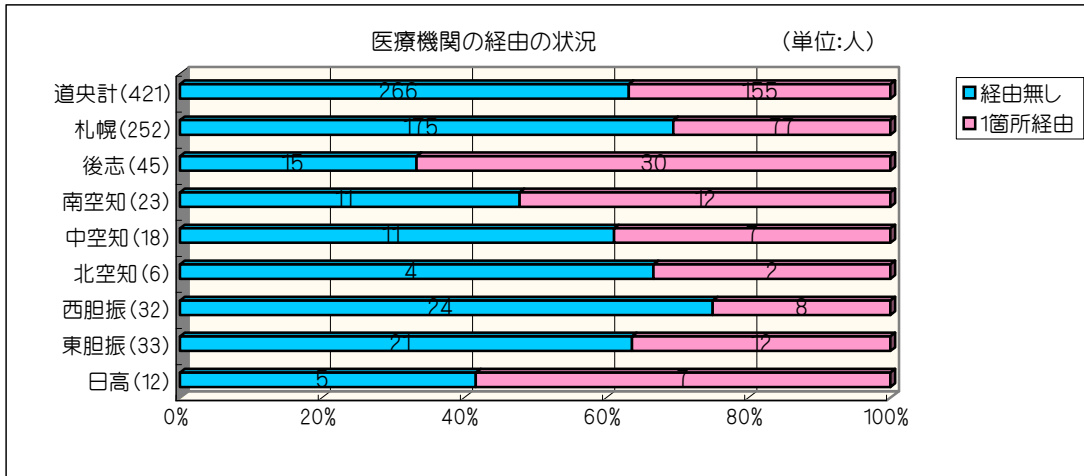


(単位:人)

	発症後最初に受診した医療機関(経由医療機関、調査対象医療機関)までの受診手段						計
	救急車	消防防災ヘリ	ドクターヘリ	タクシー	自家用車	独歩	
道央計	234	0	1	34	83	26	378
構成比	61.9%	0.0%	0.3%	9.0%	22.0%	6.9%	100.0%
夏期	98	0	0	14	38	8	158
構成比	62.0%	0.0%	0.0%	8.9%	24.1%	5.1%	100.0%
冬期	136	0	1	20	45	18	220
構成比	61.8%	0.0%	0.5%	9.1%	20.5%	8.2%	100.0%

ウ 他の医療機関の経由の状況

•他の医療機関の経由状況は、経由機関無しが266人(63.2%)、経由機関有りが155人(36.8%)で、経由機関有りのうち、2か所の機関を経由し、受診した人は3人(0.7%)であった。



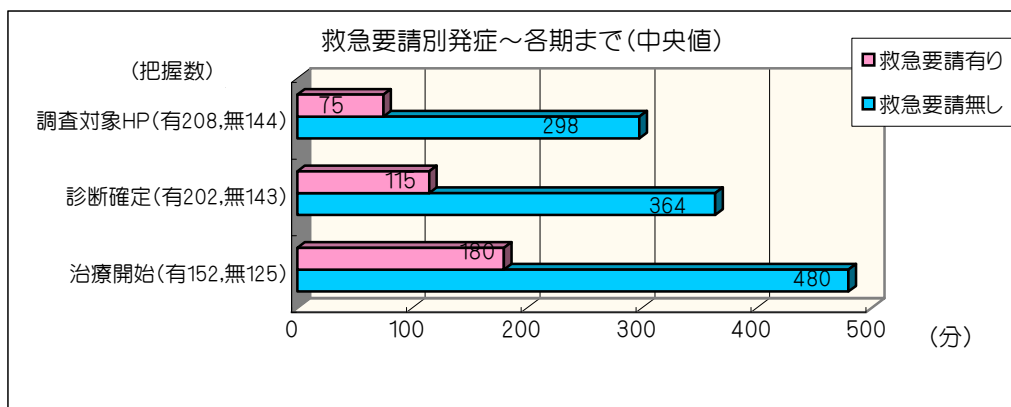
圏域名 (発症地)	総数(人)	1カ所経由有り		2カ所経由有り	
		件数(人)	構成比(%)	件数(人)	構成比(%)
道央計	421	155	36.8%	3	0.7%
札幌	252	77	30.6%	2	0.8%
後志	45	30	66.7%		
南空知	23	12	52.2%		
中空知	18	7	38.9%		
北空知	6	2	33.3%		
西胆振	32	8	25.0%		
東胆振	33	12	36.4%		
日高	12	7	58.3%	1	8.3%

3 急性期医療

(1) 受診経過

ア 救急要請(有・無)別の発症から医療機関到着までの所要時間

・救急要請があった場合と無かった場合の発症から調査対象医療機関到着、診断確定、治療開始、までの所要時間の中央値を比較すると、救急要請有りの所要時間が大幅に短く、調査対象医療機関到着までは223分、診断確定までは249分、治療開始までは300分短かった。

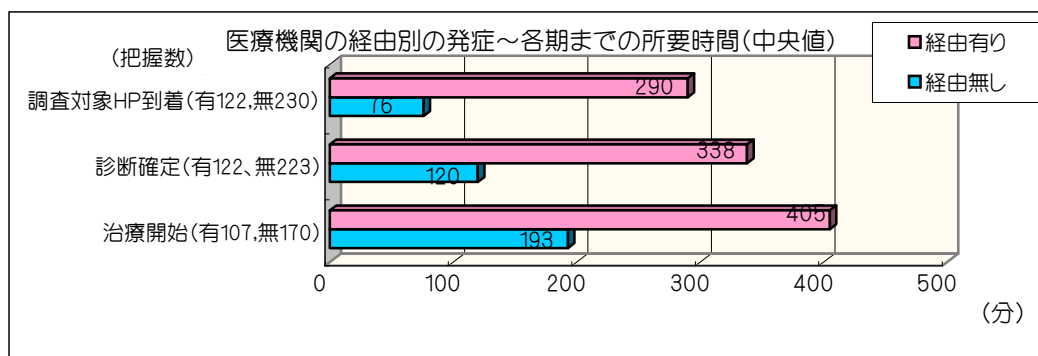


(単位:分)

		発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
		把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
救急要請	無	144	0	8,620	298	750	143	18	8,660	364	826	125	82	12,110	480	1,117
	有	208	15	8,201	75	223	202	22	8,201	115	286	152	35	6,480	180	432

イ 経由医療機関(有・無)別の発症から医療機関到着までの所要時間

・医療機関の経由があった場合と無かった場合の発症から調査対象医療機関到着、診断確定、治療開始、までの所要時間の中央値を比較すると、医療機関の経由無しの所要時間が大幅に短く、調査対象医療機関到着までは214分、診断確定までは218分、治療開始までは212分短かった。

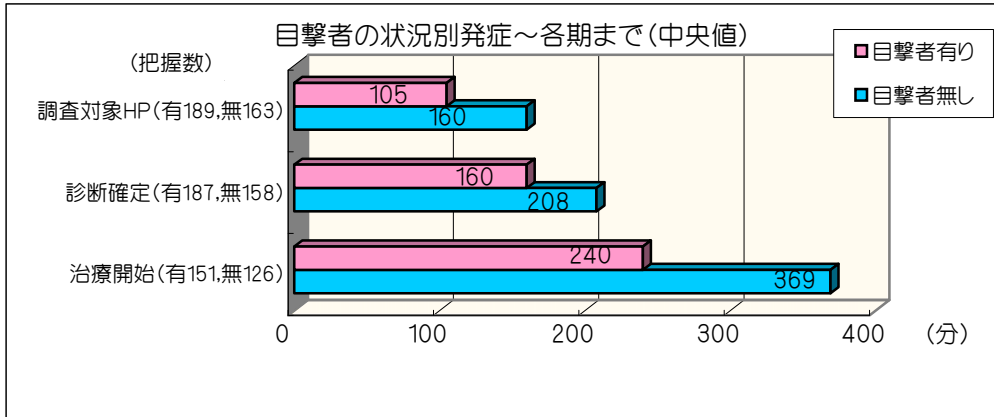


(単位:分)

		発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
		把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
経由機関	無	230	0	8,620	76	298	223	18	8,660	120	384	170	35	12,110	193	621
	有	122	23	8,201	290	704	122	55	8,201	338	741	107	90	6,480	405	913

ウ 目撃者(有・無)別の発症から医療機関到着までの所要時間

・目撃者が有りの場合と無しの場合の発症から調査対象医療機関到着、診断確定、治療開始までの所要時間の中央値を比較すると、目撃者有りの所要時間が短く、調査対象医療機関到着までは55分、診断確定までは48分、治療開始までは129分短かった。



(単位:分)

		発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
		把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
目撃者	無	163	0	8,620	160	557	158	18	8,660	208	631	126	70	8,700	369	844
	有	189	20	8,201	105	336	187	22	8,201	160	408	151	35	12,110	240	642

道北

I 回収状況(道北)

脳卒中	道北計	夏期	冬期
総数(人)	249	122	127
男性(人)	135	63	72
(%)	54.2%	51.6%	56.7%
女性(人)	114	59	55
(%)	45.8%	48.4%	43.3%

急性心筋梗塞	道北計	夏期	冬期
総数(人)	66	31	35
男性(人)	51	25	26
(%)	77.3%	80.6%	74.3%
女性(人)	15	6	9
(%)	22.7%	19.4%	25.7%

II 調査結果

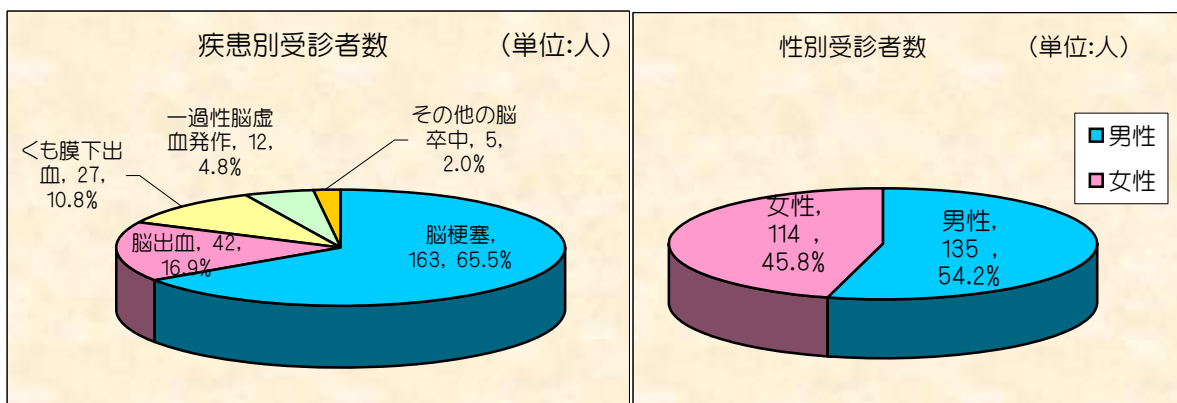
○ 脳卒中

1 発症予防

(1) 患者属性について

ア 疾患別受診者数

- 脳梗塞が全体の約65%を占めており、次いで脳出血、くも膜下出血の順に多くなっている。
- 夏期と比較し冬期では、受診者数が若干増加した。
- 男女比は男性が8.4%上回っていた。

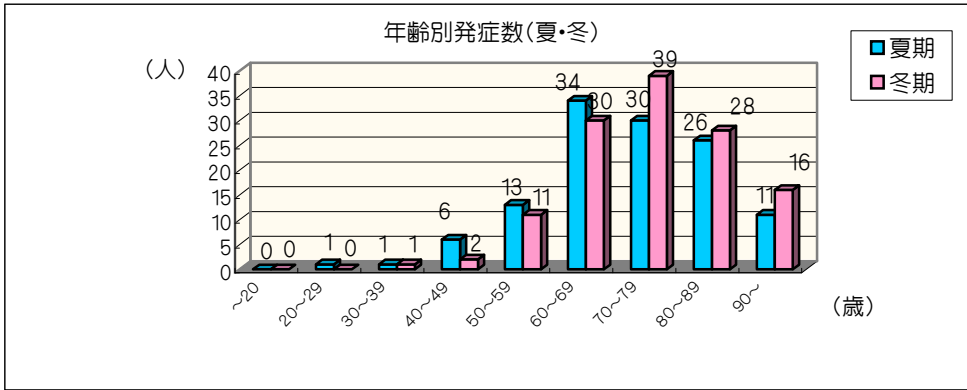


(単位:人)

	道北計	夏期	冬期	男性	女性
道北計	249	122	127	135	114
脳梗塞	163	84	79	96	67
脳出血	42	16	26	16	26
くも膜下出血	27	15	12	10	17
一過性脳虚血発作	12	6	6	9	3
その他の脳卒中	5	1	4	4	1

イ 年齢別発症状況

- 70歳代が69人(27.7%)、60歳代64人(25.7%)、80歳代54人(21.7%)の順に多く、60歳代以上が全体の85.9%を占めている。
- 夏期と比較し冬期では、70歳代以上の受診者が増加し、40代、50代の受診者が減少していた。

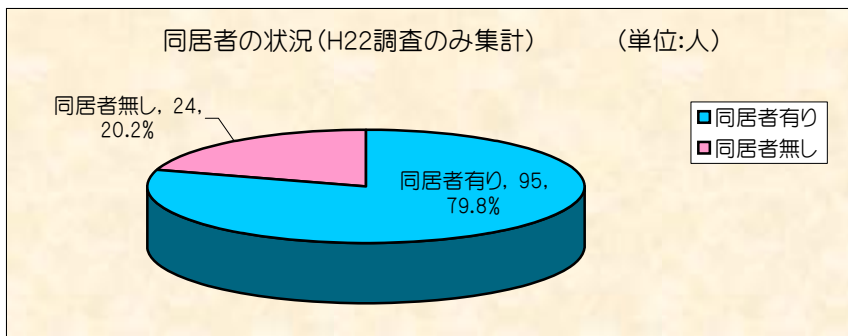


(単位:歳、人)

	~20	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~89	90~
道北計	0	1	2	8	24	64	69	54	27
夏期	0	1	1	6	13	34	30	26	11
冬期	0	0	1	2	11	30	39	28	16
脳梗塞	0	0	1	4	17	34	49	37	21
脳出血	0	0	0	1	3	16	11	8	3
くも膜下出血	0	0	1	3	4	10	3	4	2
一過性脳虚血発作	0	0	0	0	0	4	3	5	0
その他の脳卒中	0	1	0	0	0	0	3	0	1

ウ 居住形態

・同居者有りが95人(79.8%)、無しが24人(20.2%)であった。
(H22年度調査でのみ集計)

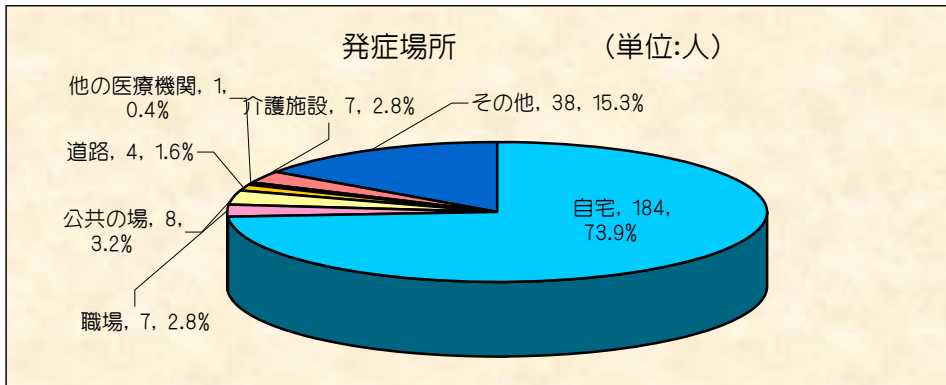


(単位:人)

	同居者有り	同居者無し
道北計	95	24
夏期	50	12
冬期	45	12

エ 発症場所

・自宅184人(73.9%)、その他38人(15.3%)、公共の場8人(3.2%)、職場7人(2.8%)、介護保健関係施設7人(2.8%)、道路4人(1.6%)、他の医療機関1人(0.4%)となっている。
・夏期と比較し冬期では、自宅での発症が増加し、その他、公共の場での発症が減少した。



(単位:人)

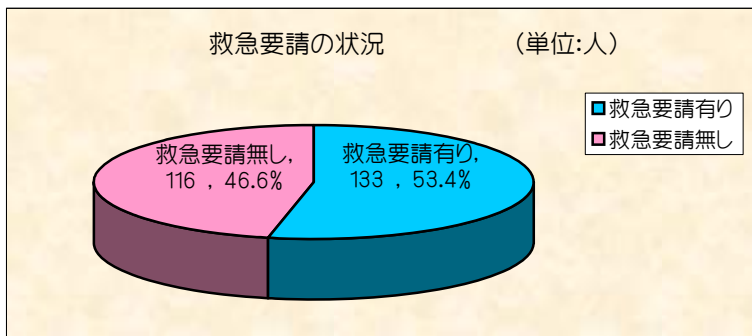
	自宅	職場	公共の場	道路	他の医療機関(H22)	介護保険関係施設(H22)	その他	計
道北計	184	7	8	4	1	7	38	249
構成比	73.9%	2.8%	3.2%	1.6%	0.4%	2.8%	15.3%	100.0%
夏期	83	4	7	2	1	3	22	122
構成比	68.0%	3.3%	5.7%	1.6%	0.8%	2.5%	18.0%	100.0%
冬期	101	3	1	2	0	4	16	127
構成比	79.5%	2.4%	0.8%	1.6%	0.0%	3.1%	12.6%	100.0%

2 応急手当・病院前救護

(1) 受診経過

ア 救急要請の状況

- ・救急要請有りは133人(53.4%)、救急要請無しは116人(46.6%)であった。
- ・夏期と比較し冬期では、救急要請が22.8%増加した。

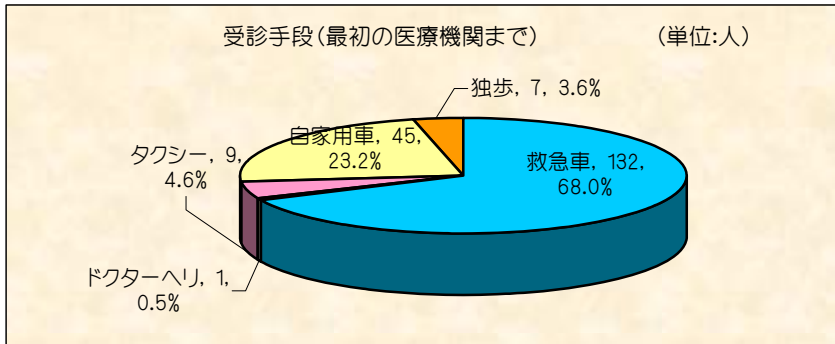


(単位:人)

	救急要請有り	救急要請無し
道北計	133	116
構成比	53.4%	46.6%
夏期	51	71
構成比	41.8%	58.2%
冬期	82	45
構成比	64.6%	35.4%

イ 受診手段の状況

- 受診手段は、救急車132人(68.0%)、ドクターヘリ1人(0.5%)、タクシー9人(4.6%)、自家用車45人(23.2%)、独歩7人(3.6%)となっていた。
- 夏期と比較し冬期では、救急車での受診が増加し、自家用車、独歩での受診が減少した。

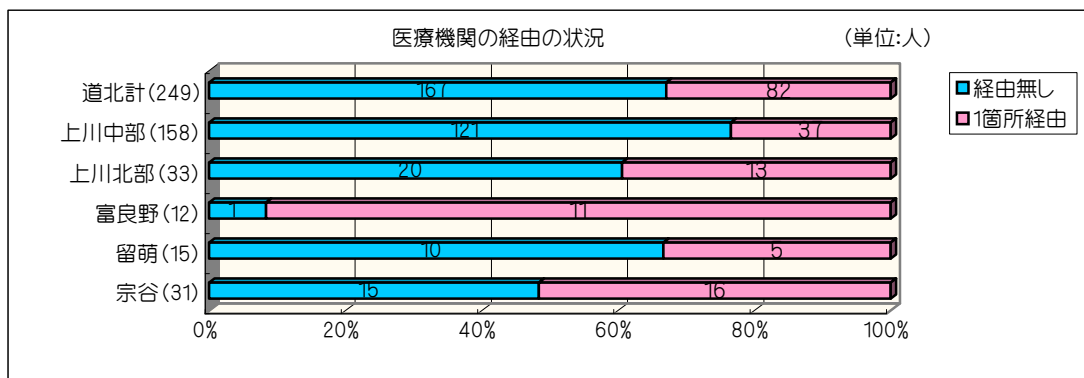


(単位:人)

	発症後最初に受診した医療機関(経由医療機関、調査対象医療機関)までの受診手段						計
	救急車	消防防災ヘリ	ドクターヘリ	タクシー	自家用車	独歩	
道北計	132	0	1	9	45	7	194
構成比	68.0%	0.0%	0.5%	4.6%	23.2%	3.6%	100.0%
夏期	51	0	0	5	27	6	89
構成比	57.3%	0.0%	0.0%	5.6%	30.3%	6.7%	100.0%
冬期	81	0	1	4	18	1	105
構成比	77.1%	0.0%	1.0%	3.8%	17.1%	1.0%	100.0%

ウ 他の医療機関の経由の状況

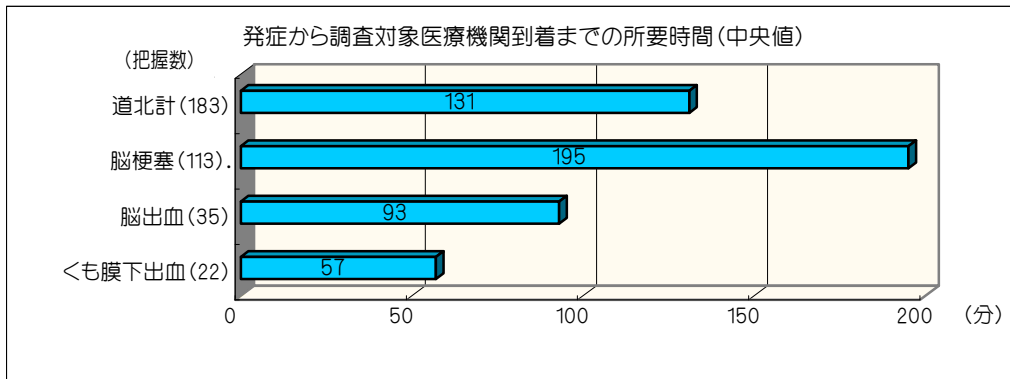
- 他の医療機関の経由状況は、経由機関無しが167人(67.1%)、経由機関有りが82人(32.9%)で、経由機関有りのうち、2か所の機関を経由し、受診した人は1人(0.4%)であった。
- 2次医療圏域別に見ると、経由した割合が高かったのは、富良野(91.7%)と宗谷(51.6%)であった。



圏域名 (発症地)	総数(人)	1カ所経由有り		2カ所経由有り	
		件数(人)	構成比(%)	件数(人)	構成比(%)
道北計	249	82	32.9%	1	0.4%
上川中部	158	37	23.4%	1	0.6%
上川北部	33	13	39.4%		
富良野	12	11	91.7%		
留萌	15	5	33.3%		
宗谷	31	16	51.6%		

工 疾患別発症から医療機関到着までの所要時間等

•発症から調査対象医療機関到着までの所要時間の中央値は131分であった。疾患別では、くも膜下出血57分<脳出血93分<脳梗塞195分の順に所要時間の中央値が長くなっていった。

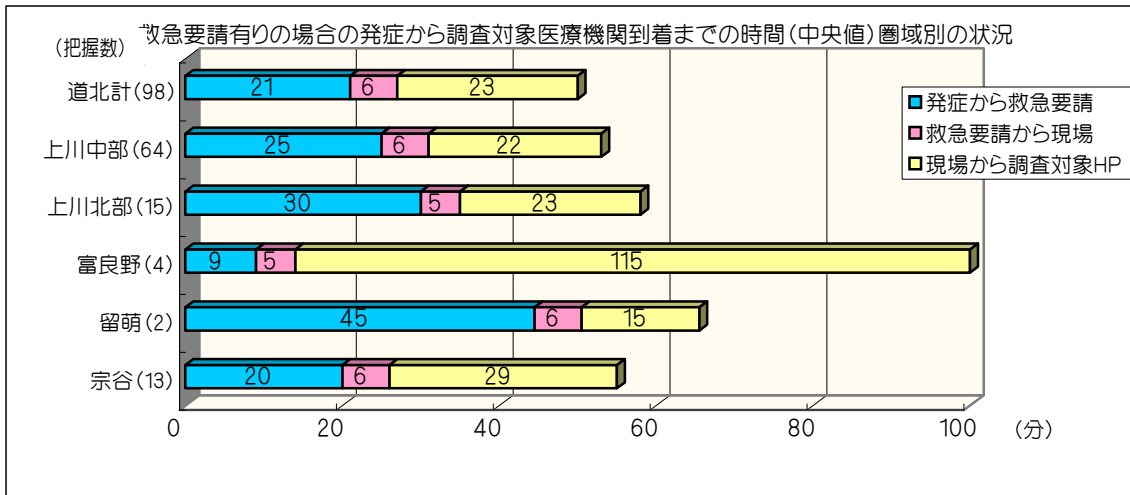


(単位:分)

診断名	発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
道北計	183	0	9,901	131	628	181	33	9,934	169	679	30	97	6,790	188	577
脳梗塞	113	0	9,901	195	885	111	34	9,934	300	952	5	97	156	135	128
脳出血	35	22	3,720	93	270	35	33	3,810	130	307	9	150	6,790	290	1,317
くも膜下出血	22	15	484	57	113	22	50	498	78	129	16	120	1,430	200	301
一過性脳虚血発作	8	21	450	70	120	8	34	582	139	177					
その他の脳卒中	5	30	1,770	60	402	5	40	1,830	120	446					

才 救急要請有りの場合の発症から各期までの所要時間

•救急要請が有った場合の発症から医療機関到着までの所要時間は、富良野で100分を超えていた。
 •把握数は少ないが富良野で所要時間が100分を超過していた理由は、医療機関の経由の割合が高いことが要因として推察される。

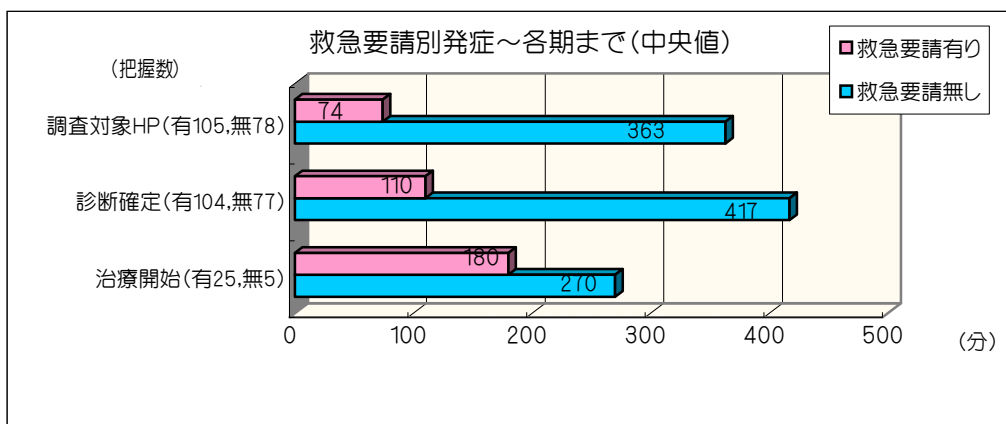


3 急性期医療

(1) 受診経過

ア 救急要請(有・無)別の発症から医療機関到着までの所要時間

・救急要請があった場合となかった場合の発症から調査対象医療機関到着、診断確定、治療開始、までの所要時間の中央値を比較すると、救急要請有りの所要時間が、調査対象医療機関到着までは289分、診断確定までは307分、治療開始までは90分短かくなっていた。

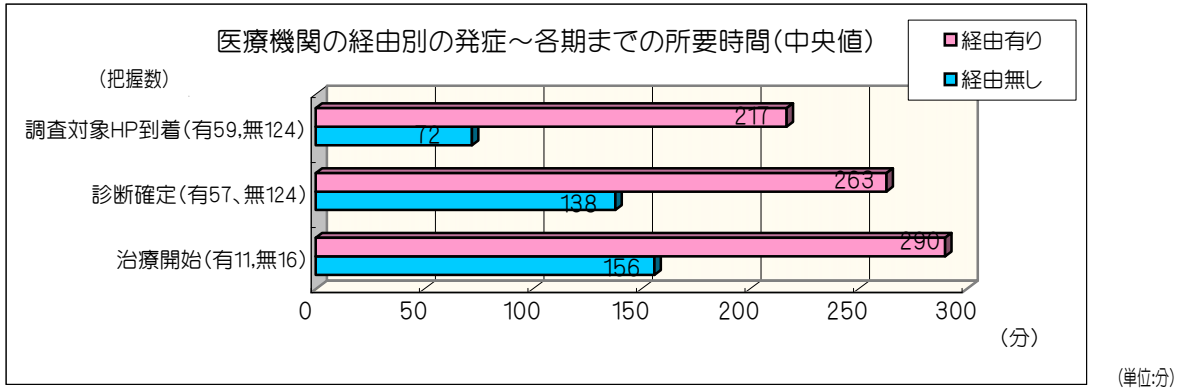


(単位:分)

		発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
		把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
救急要請	無	78	0	9,901	363	1,163	77	34	9,934	417	1,237	5	120	380	270	254
	有	105	19	5,902	74	231	104	33	5,942	110	266	25	97	6,790	180	641

イ 経由医療機関(有・無)別の発症から医療機関到着までの所要時間

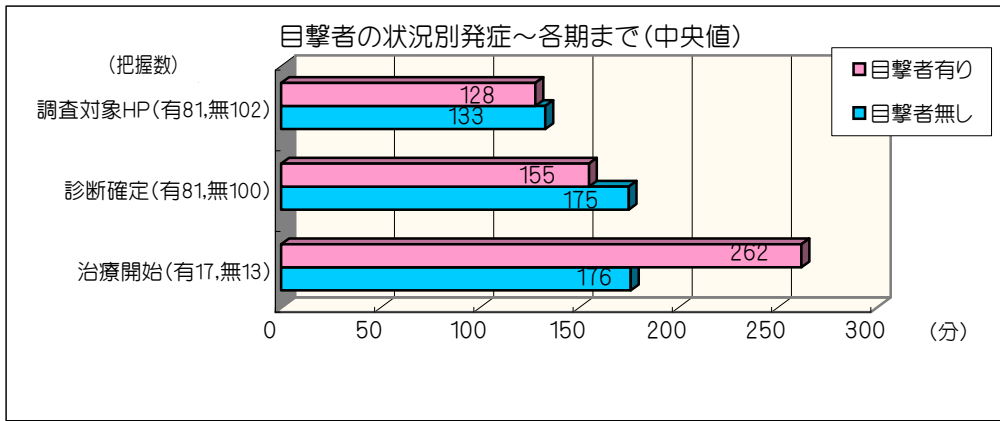
・医療機関の経由が有った場合となかった場合の発症から調査対象医療機関到着、診断確定、治療開始、までの所要時間の中央値を比較すると、医療機関の経由無しの所要時間が大幅に短く、調査対象医療機関到着までは145分、診断確定までは125分、治療開始までは134分短かった。



経路機関		発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
		把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
経路機関	無	124	0	9,901	72	592	124	33	9,934	138	681	16	97	2,781	156	347
	有	59	50	6,830	217	703	57	70	6,830	263	675	11	180	6,790	290	974

エ 目撃者(有・無)別の発症から医療機関到着までの所要時間

・目撃者有りの場合と無しの場合の発症から調査対象医療機関到着、診断確定、治療開始、までの所要時間の中央値を比較すると目撃者有りの所要時間が、調査対象医療機関到着までは5分、診断確定までは20分短くなっていた。



目撃者		発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
		把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
目撃者	無	102	15	9,901	133	696	100	40	9,934	175	742	13	97	390	176	201
	有	81	0	6,830	128	542	81	33	6,830	155	601	17	100	6,790	262	864

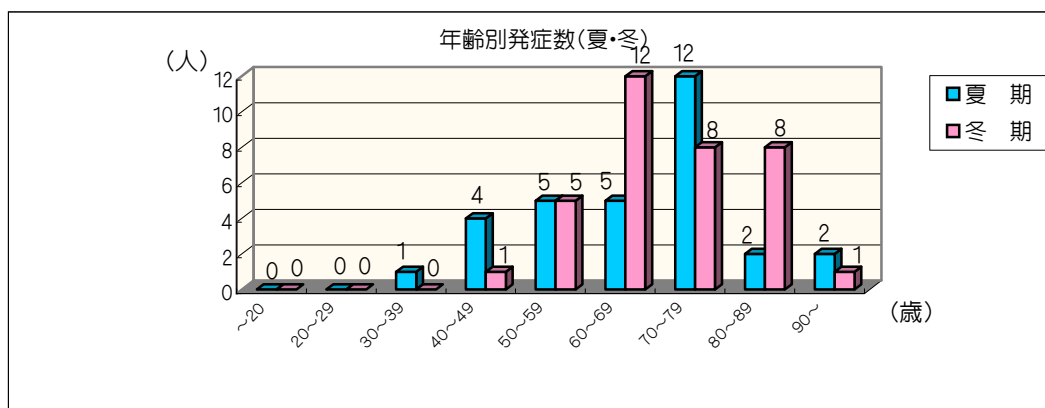
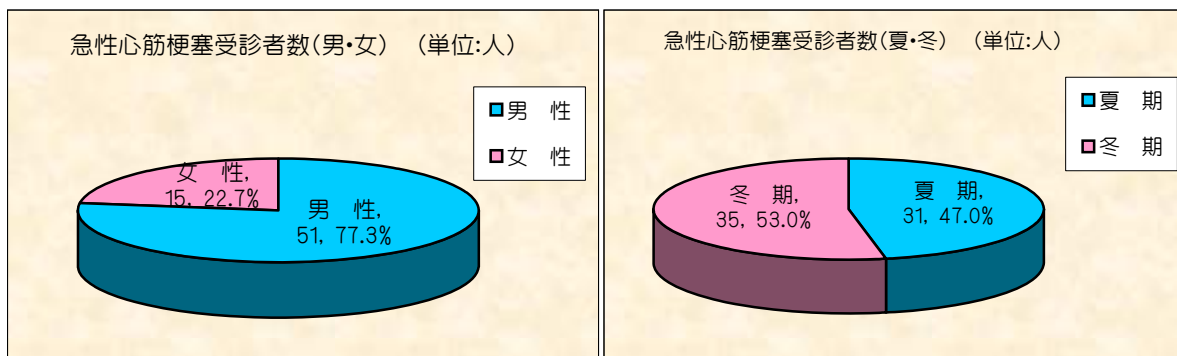
○ 急性心筋梗塞

1 発症予防

(1) 患者属性について

ア 性・年齢別受診者数

- 受診者の男女比は男性77.3%、女性が22.7%で男性の受診者が大きく上回っていた。
- 夏期と冬期を比較すると、夏期47.0%、冬期53.0%で冬期の発症が若干多くなっていた。
- 発症年齢は、70歳代20人(30.3%)、60歳代17人(25.8%)、80歳代、50歳代が10人(15.2%)の順に多く、60歳代以上が50人で全体の75.8%を占めていた。



(単位:歳、人)

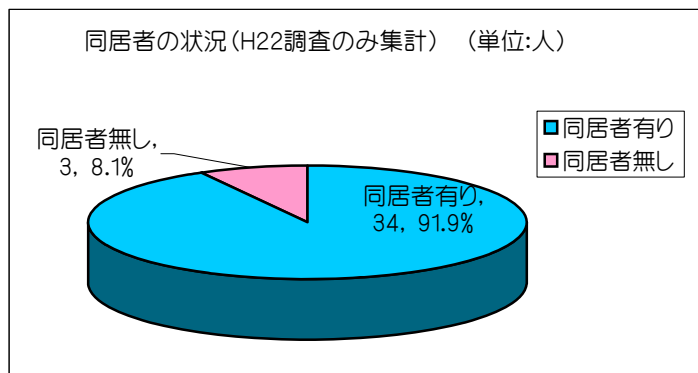
	合計	~20	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~89	90~
道北計	66	0	0	1	5	10	17	20	10	3
構成比		0.0%	0.0%	1.5%	7.6%	15.2%	25.8%	30.3%	15.2%	4.5%
男性	51	0	0	1	4	8	15	18	4	1
構成比		0.0%	0.0%	2.0%	7.8%	15.7%	29.4%	35.3%	7.8%	2.0%
女性	15	0	0	0	1	2	2	2	6	2
構成比		0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	13.3%	13.3%	13.3%	40.0%	13.3%

(単位:歳、人)

	合計	~20	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~89	90~
道北計	66	0	0	1	5	10	17	20	10	3
構成比		0.0%	0.0%	1.5%	7.6%	15.2%	25.8%	30.3%	15.2%	4.5%
夏期	31	0	0	1	4	5	5	12	2	2
構成比		0.0%	0.0%	3.2%	12.9%	16.1%	16.1%	38.7%	6.5%	6.5%
冬期	35	0	0	0	1	5	12	8	8	1
構成比		0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	14.3%	34.3%	22.9%	22.9%	2.9%

イ 居住形態

- 同居者有りが34人(91.9%)、無しが3人(8.1%)であった。
(H22年度調査でのみ集計)

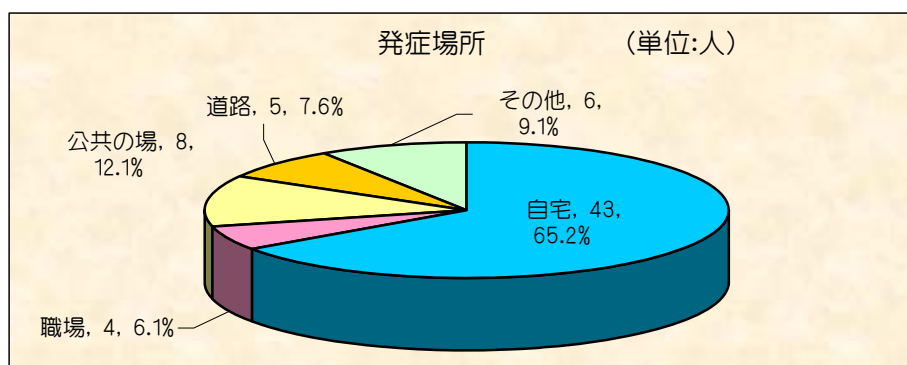


(単位:人)

	同居者有り	同居者無し
道北計	34	3
夏期	11	2
冬期	23	1

ウ 発症場所

- 自宅43人(65.2%)、その他6人(9.1%)、公共の場8人(12.1%)、道路5人(7.6%)、職場4人(6.1%)となっている。
- 夏期と比較し冬期では、自宅での発症が増加し、公共の場での発症が減少した。



(単位:人)

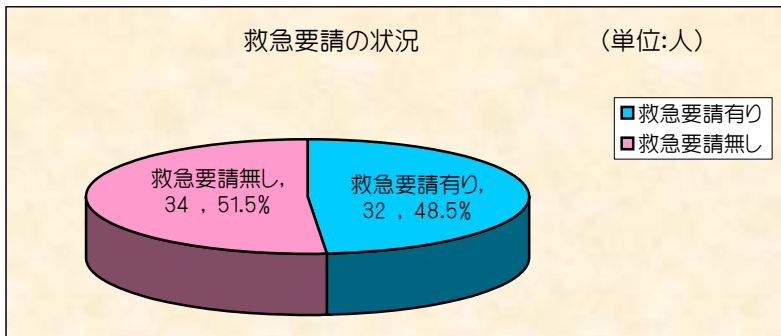
	自宅	職場	公共の場	道路	他の医療機関(H22)	介護保険関係施設(H22)	その他	計
道北計	43	4	8	5	0	0	6	66
構成比	65.2%	6.1%	12.1%	7.6%	0.0%	0.0%	9.1%	100.0%
夏期	19	1	6	2	0	0	3	31
構成比	61.3%	3.2%	19.4%	6.5%	0.0%	0.0%	9.7%	100.0%
冬期	24	3	2	3	0	0	3	35
構成比	68.6%	8.6%	5.7%	8.6%	0.0%	0.0%	8.6%	100.0%

2 応急手当・病院前救護

(1) 受診経過

ア 救急要請の状況

- 救急要請有りは32人(48.5%)、救急要請無しは34人(51.5%)であった。
- 夏期と比較し冬期では、救急要請の割合が12.4%増加した。

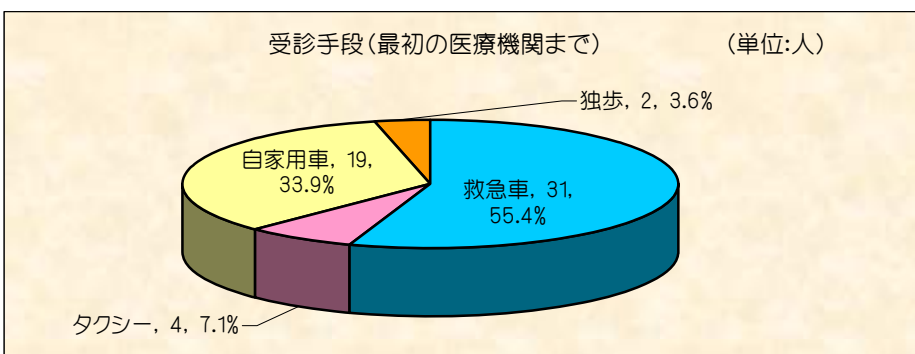


(単位:人)

	救急要請有り	救急要請無し
道北計	32	34
構成比	48.5%	51.5%
夏期	13	18
構成比	41.9%	58.1%
冬期	19	16
構成比	54.3%	45.7%

イ 受診手段の状況

- 受診手段は、救急車31人(55.4%)、タクシー4人(7.1%)、自家用車19人(33.9%)、独歩2人(3.6%)となっていた。
- 夏期と比較し冬期では、救急車での受診が増加し、自家用車での受診が減少した。

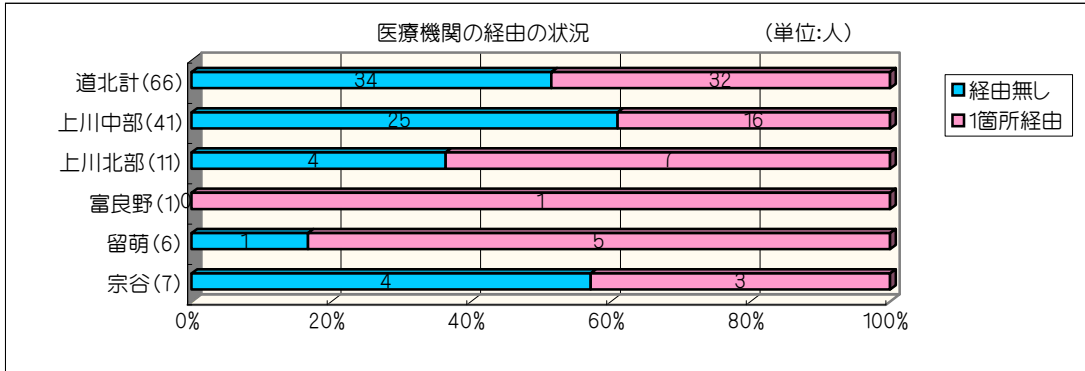


(単位:人)

	発症後最初に受診した医療機関(経由医療機関、調査対象医療機関)までの受診手段						計
	救急車	消防防災ヘリ	ドクターヘリ	タクシー	自家用車	独歩	
道北計	31	0	0	4	19	2	56
構成比	55.4%	0.0%	0.0%	7.1%	33.9%	3.6%	100.0%
夏期	12	0	0	2	12	1	27
構成比	44.4%	0.0%	0.0%	7.4%	44.4%	3.7%	100.0%
冬期	19	0	0	2	7	1	29
構成比	65.5%	0.0%	0.0%	6.9%	24.1%	3.4%	100.0%

ウ 他の医療機関の経由の状況

•他の医療機関の経由状況は、経由機関無しが34人(51.5%)、経由機関有りが32人(48.5%)で、経由機関有りのうち、2か所の機関を経由し、受診した人は1人(1.5%)であった。



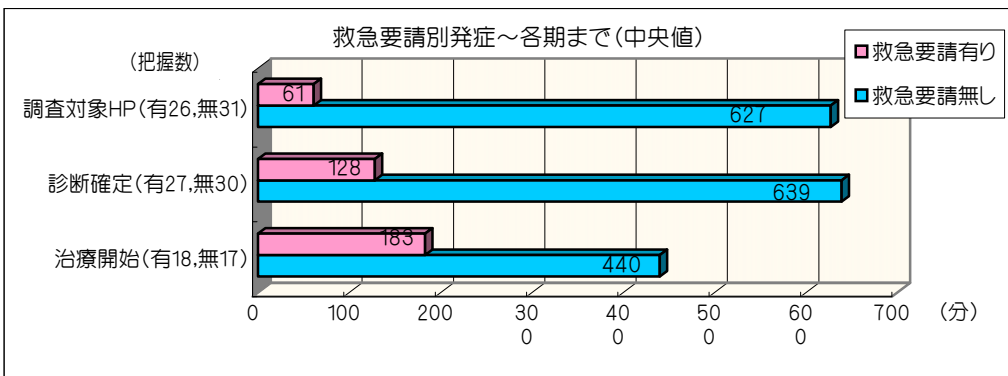
圏域名 (発症地)	総数(人)	1カ所経由有り		2カ所経由有り	
		件数(人)	構成比(%)	件数(人)	構成比(%)
道北計	66	32	48.5%	1	1.5%
上川中部	41	16	39.0%	1	2.4%
上川北部	11	7	63.6%		
富良野	1	1	100.0%		
留萌	6	5	83.3%		
宗谷	7	3	42.9%		

3 急性期医療

(1) 受診経過

ア 救急要請(有・無)別の発症から医療機関到着までの所要時間

•救急要請があった場合と無かった場合の発症から調査対象医療機関到着、診断確定、治療開始、までの所要時間の中央値を比較すると、救急要請有りの所要時間が大幅に短く、調査対象医療機関到着までは566分、診断確定までは511分、治療開始までは257分短かった。

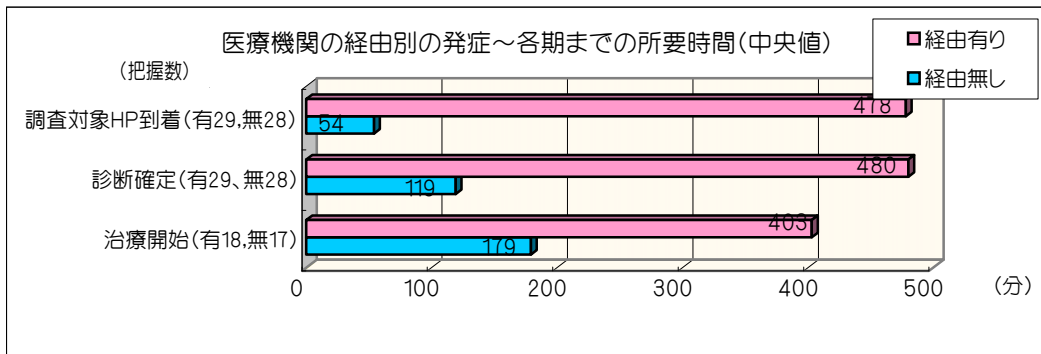


(単位:分)

	救急要請	発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
		把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
	無	31	15	6,988	627	1,162	30	40	6,988	639	1,218	17	100	1,803	440	573
	有	26	21	427	61	106	27	24	440	128	145	18	45	685	183	204

イ 経由医療機関(有・無)別の発症から医療機関到着までの所要時間

・医療機関の経由が有った場合と無かった場合の発症から調査対象医療機関到着、診断確定治療開始、までの所要時間の中央値を比較すると、医療機関の経由無しの所要時間が大幅に短く、調査対象医療機関到着までは424分、診断確定までは361分、治療開始までは224分短かった。

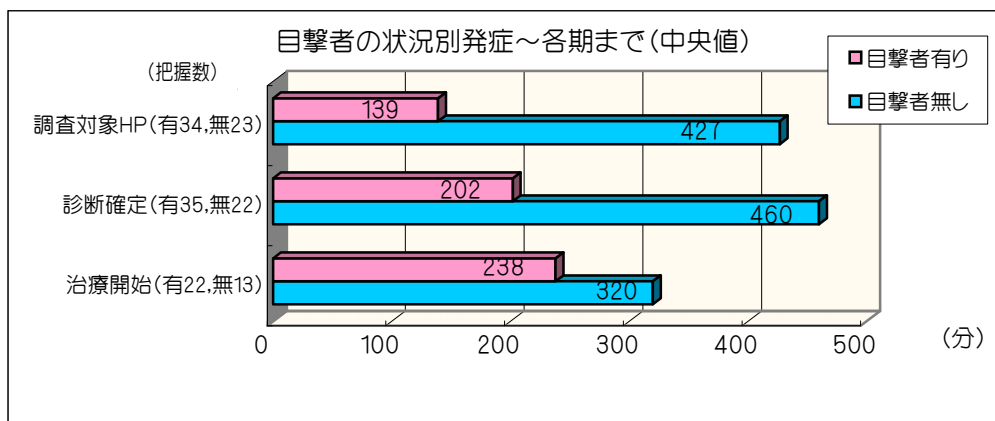


(単位:分)

経由機関		発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
		把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
経由機関	無	28	15	1,613	54	162	28	24	1,650	119	207	17	45	440	179	188
	有	29	83	6,988	478	1,181	29	84	6,988	480	1,195	18	114	1,803	403	569

ウ 目撃者(有・無)別の発症から医療機関到着までの所要時間

・目撃者が有りの場合と無しの場合の発症から調査対象医療機関到着、診断確定、治療開始、までの所要時間の中央値を比較すると、目撃者有りの所要時間が短く、調査対象医療機関到着までは288分、診断確定までは258分、治療開始までは82分短かった。



(単位:分)

目撃者		発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
		把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
目撃者	無	23	15	6,988	427	1,255	22	70	6,988	460	1,321	13	100	1,803	320	522
	有	34	21	2,042	139	291	35	24	2,180	202	326	22	45	954	238	301

オホーツク

I 回収状況(オホーツク)

脳卒中	オホーツク計	夏期	冬期
総数(人)	161	84	77
男性(人)	91	48	43
(%)	56.5%	57.1%	55.8%
女性(人)	70	36	34
(%)	43.5%	42.9%	44.2%

急性心筋梗塞	オホーツク計	夏期	冬期
総数(人)	51	23	28
男性(人)	29	11	18
(%)	56.9%	47.8%	64.3%
女性(人)	22	12	10
(%)	43.1%	52.2%	35.7%

II 調査結果

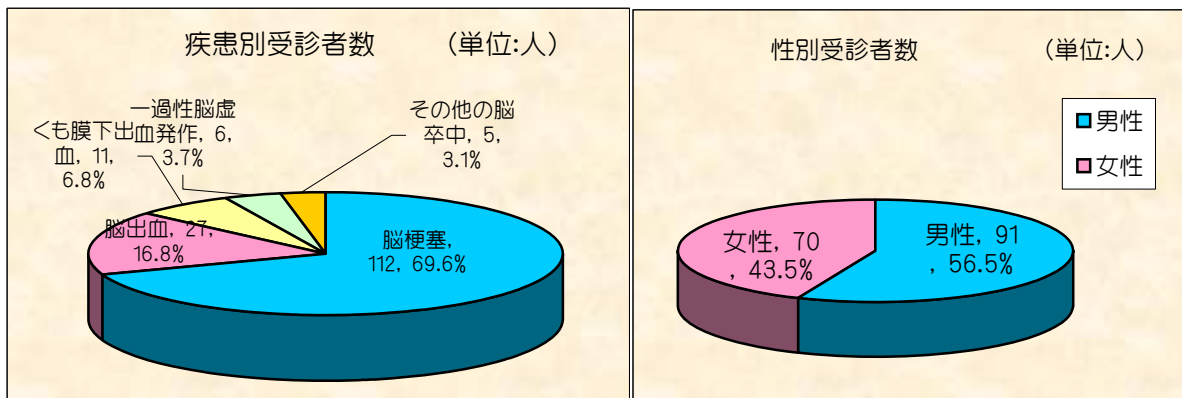
○ 脳卒中

1 発症予防

(1) 患者属性について

ア 疾患別受診者数

- 脳梗塞が全体の約70%を占めており、次いで脳出血、くも膜下出血の順に多くなっている。
- 夏期と比較し冬期では、受診者数が減少した。
- 男女比は男性が13.0%上回っていた。

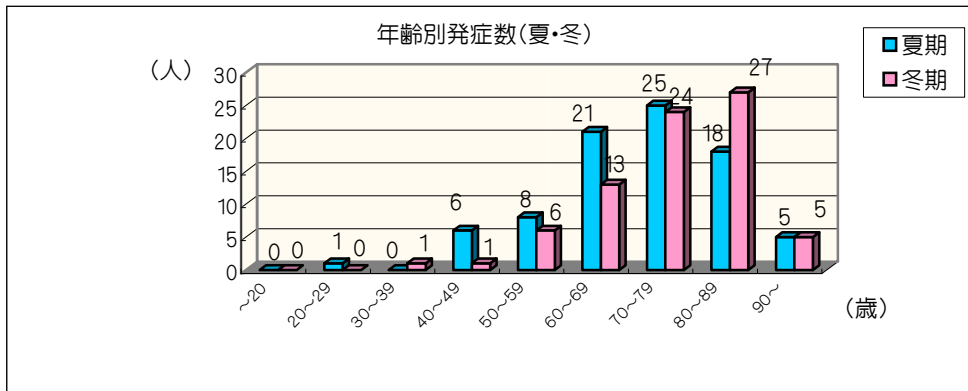


(単位:人)

	合計	夏期	冬期	男性	女性
オホーツク計	161	84	77	91	70
脳梗塞	112	57	55	62	50
脳出血	27	13	14	17	10
くも膜下出血	11	7	4	5	6
一過性脳虚血発作	6	3	3	4	2
その他の脳卒中	5	4	1	3	2

イ 年齢別発症状況

- 70歳代が49人(30.4%)、80歳代45人(28.0%)、60歳代34人(21.1%)の順に多く、60歳代以上が全体の85.7%を占めている。
- 夏期と比較し冬期では、80歳代の受診者が増加し、60歳代の受診者が減少していた。

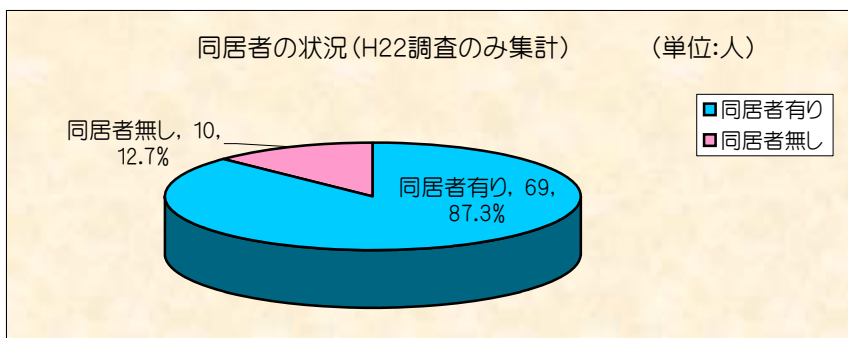


(単位:歳、人)

	~20	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~89	90~
オホーツク計	0	1	1	7	14	34	49	45	10
夏期	0	1	0	6	8	21	25	18	5
冬期	0	0	1	1	6	13	24	27	5
脳梗塞	0	1	0	3	7	24	33	35	9
脳出血	0	0	0	1	3	5	12	5	1
くも膜下出血	0	0	1	3	3	3	1	0	0
一過性脳虚血発作	0	0	0	0	0	1	2	3	0
その他の脳卒中	0	0	0	0	1	1	1	2	0

ウ 居住形態

・同居者有りが69人(87.3%)、無しが10人(12.7%)であった。
(H22年度調査でのみ集計)

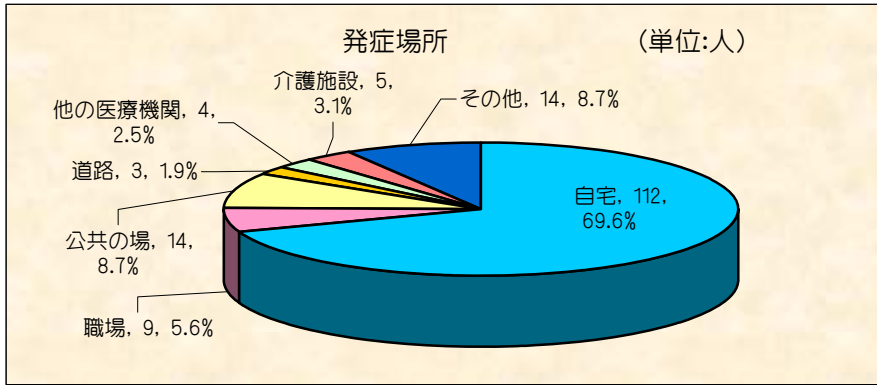


(単位:人)

	同居者有り	同居者無し
オホーツク計	69	10
夏期	37	4
冬期	32	6

エ 発症場所

・自宅112人(69.6%)、その他14人(8.7%)、公共の場14人(8.7%)、職場9人(5.6%)、介護保険関係施設5人(3.1%)、他の医療機関4人(2.5%)道路3人(1.9%)となっている。
・夏期と比較し冬期では、その他(介護保険関係施設)での発症が増加し、職場での発症が減少した。



(単位:人)

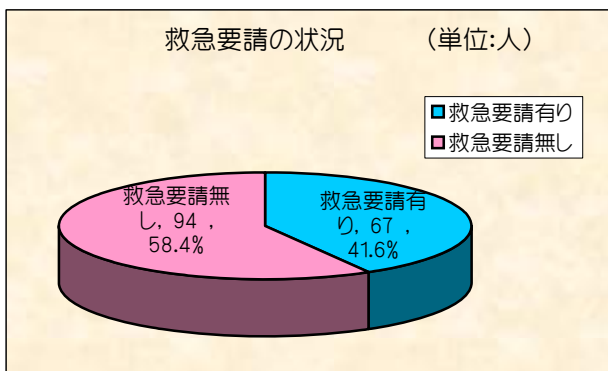
	自宅	職場	公共の場	道路	他の医療機関(H22)	介護保険関係施設(H22)	その他	計
オホーツク計	112	9	14	3	4	5	14	161
構成比	69.6%	5.6%	8.7%	1.9%	2.5%	3.1%	8.7%	100.0%
夏期	59	7	7	1	2	1	7	84
構成比	70.2%	8.3%	8.3%	1.2%	2.4%	1.2%	8.3%	100.0%
冬期	53	2	7	2	2	4	7	77
構成比	68.8%	2.6%	9.1%	2.6%	2.6%	5.2%	9.1%	100.0%

2 応急手当・病院前救護

(1) 受診経過

ア 救急要請の状況

- 救急要請有りは67人(41.6%)、救急要請無しは94人(58.4%)であった。
- 夏期と比較し冬期では、救急要請有りが10%減少した。

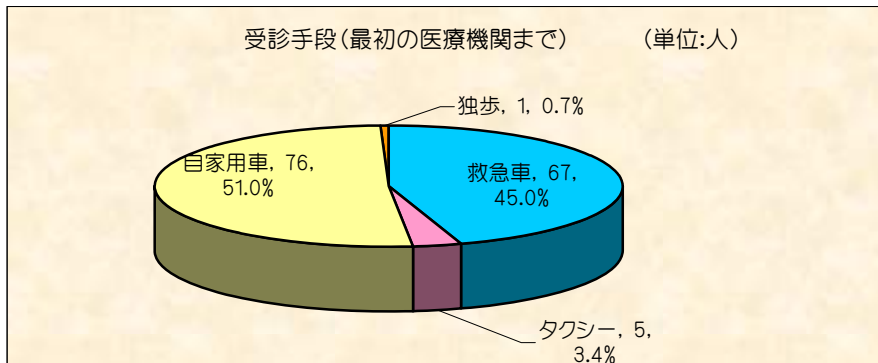


(単位:人)

	救急要請有り	救急要請無し
オホーツク計	67	94
構成比	41.6%	58.4%
夏期	39	45
構成比	46.4%	53.6%
冬期	28	49
構成比	36.4%	63.6%

イ 受診手段の状況

- 受診手段は、救急車67人(45.0%)、タクシー5人(3.4%)、自家用車76人(51.0%)、独歩1人(0.7%)となっていた。
- 夏期と比較し冬期では、タクシーでの受診が増加し、救急車で受診が減少した。

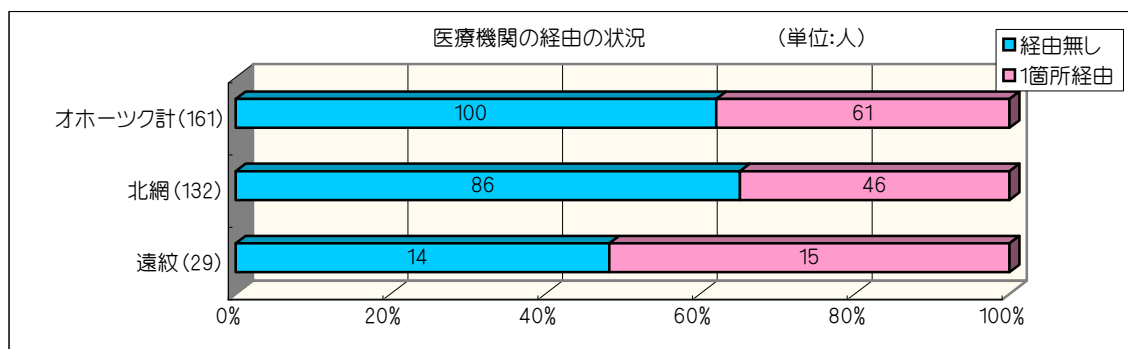


(単位:人)

	発症後最初に受診した医療機関(経由医療機関、調査対象医療機関)までの受診手段						計
	救急車	消防防災ヘリ	ドクターヘリ	タクシー	自家用車	独歩	
オホーツク計	67	0	0	5	76	1	149
構成比	45.0%	0.0%	0.0%	3.4%	51.0%	0.7%	100.0%
夏期	39	0	0	0	42	1	82
構成比	47.6%	0.0%	0.0%	0.0%	51.2%	1.2%	100.0%
冬期	28	0	0	5	34	0	67
構成比	41.8%	0.0%	0.0%	7.5%	50.7%	0.0%	100.0%

ウ 他の医療機関の経由の状況

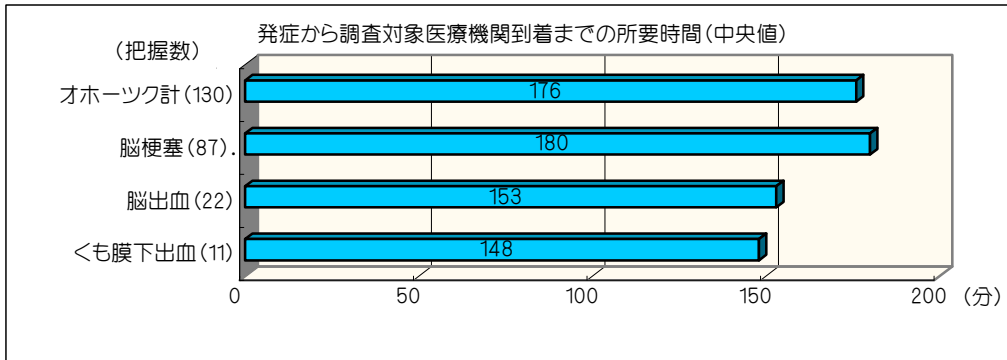
- 他の医療機関の経由状況は、経由機関無しが100人(62.1%)、経由機関有りが61人(37.9%)で、経由機関有りのうち、2か所の機関を経由し、受診した人は1人(0.6%)であった。
- 2次医療圏域別に見ると、経由した者の割合が高かったのは、遠紋(51.7%)であった。



圏域名(発症地)	総数(人)	1カ所経由有り		2カ所経由有り	
		件数(人)	構成比(%)	件数(人)	構成比(%)
オホーツク計	161	61	37.9%	1	0.6%
北網	132	46	34.8%		
遠紋	29	15	51.7%	1	3.4%

エ 疾患別発症から医療機関到着までの所要時間等

•発症から調査対象医療機関到着までの所要時間の中央値は176分であった。疾患別では、くも膜下出血148分<脳出血153分<脳梗塞180分の順に所要時間の中央値が長くなっていた。

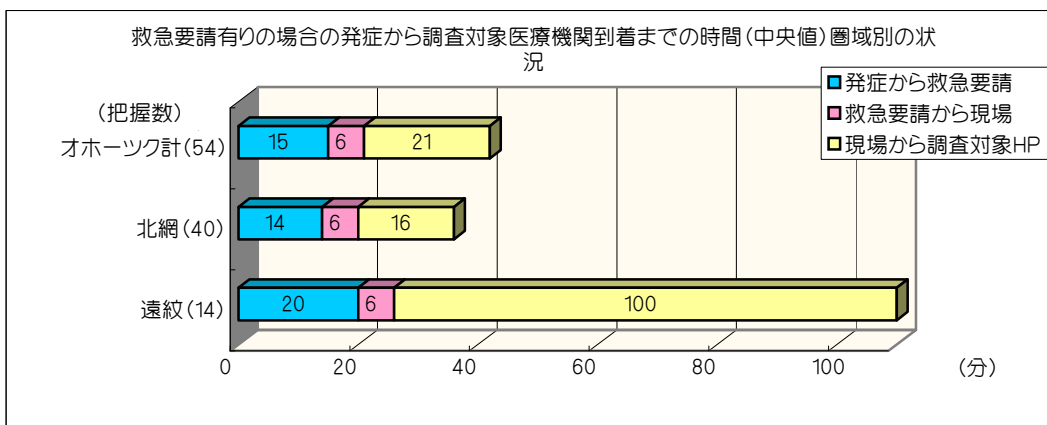


(単位:分)

診断名	発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
オホーツク計	130	15	9,800	176	802	123	35	9,867	260	899	17	115	10,028	330	1,286
脳梗塞	87	15	9,800	180	844	82	35	9,867	270	948	5	115	10,028	210	2,480
脳出血	22	28	4,625	153	601	20	40	4,650	225	688					
くも膜下出血	11	20	3,264	148	524	11	40	3,288	156	544	10	130	3,290	305	683
一過性脳虚血発作	5	82	1,701	250	693	5	180	1,888	510	844					
その他の脳卒中	5	40	5,660	637	1,683	5	108	5,760	660	1,788	2	780	1,860	1,320	1,320

オ 救急要請有りの場合の発症から各期までの所要時間

•救急要請があった場合の発症から医療機関到着までの所要時間は、遠紋では100分を超えていた。
 •把握数は少ないが遠紋で所要時間が100分を超過していた理由は、医療機関の経由の割合が高いことが要因として推察される。

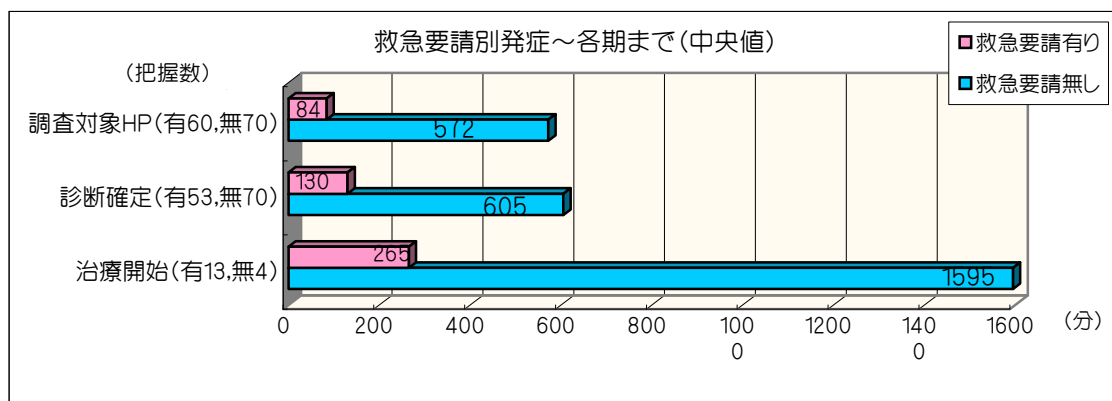


3 急性期医療

(1) 受診経過

ア 救急要請(有・無)別の発症から医療機関到着までの所要時間

・救急要請があった場合と無かった場合の発症から調査対象医療機関到着、診断確定、治療開始、までの所要時間の中央値を比較すると、救急要請有りの所要時間が大幅に短く、調査対象医療機関到着までは488分、診断確定までは475分、治療開始までは1330分短かった。

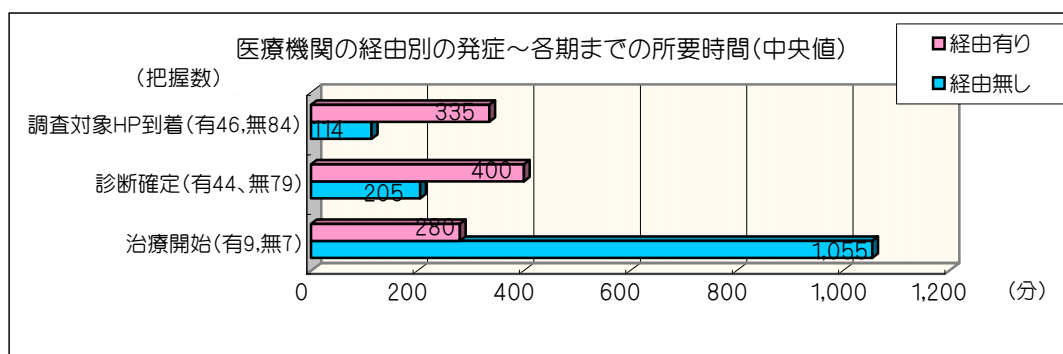


(単位:分)

	救急要請	発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
		把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
	無	70	23	9,800	572	1,304	70	55	9,867	605	1,385	4	475	3,290	1,595	1,739
	有	60	15	2,910	84	216	53	35	2,938	130	257	13	115	10,028	265	1,147

イ 経由医療機関(有・無)別の発症から医療機関到着までの所要時間

・医療機関の経由が有った場合と無かった場合の発症から調査対象医療機関到着、診断確定治療開始、までの所要時間の中央値を比較すると、医療機関の経由無しの所要時間が大幅に短く、調査対象医療機関到着までは221分、診断確定までは195分短かった。

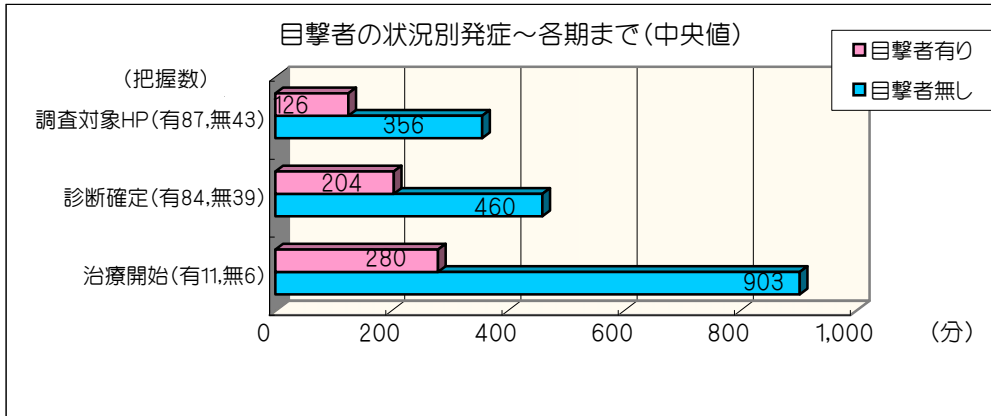


(単位:分)

	経由機関	発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
		把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
	無	84	15	5,660	114	498	79	35	5,760	205	583	7	115	10,028	1,055	2,046
	有	46	86	9,800	335	1,358	44	100	9,867	400	1,468	9	130	3,290	280	611

ウ 目撃者(有・無)別の発症から医療機関到着までの所要時間

・目撃者有りの場合と無しの場合の発症から調査対象医療機関到着、診断確定、治療開始、までの所要時間の中央値を比較すると目撃者有りの所要時間が、調査対象医療機関到着までは230分、診断確定までは256分、治療開始までは623分短かった。



(単位:分)

		発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
		把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
目撃者	無	43	20	8,820	356	1,085	39	40	8,820	460	1,232	6	120	3,290	903	1,223
	有	87	15	9,800	126	662	84	35	9,867	204	745	11	115	10,028	280	1,321

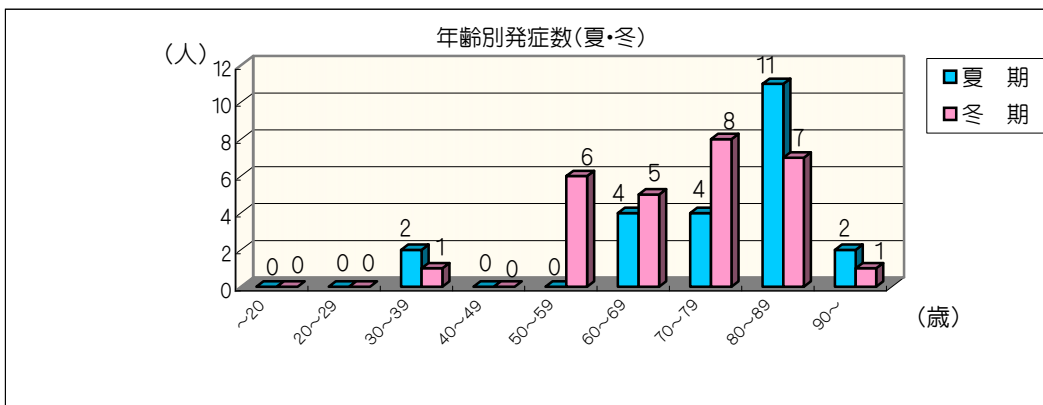
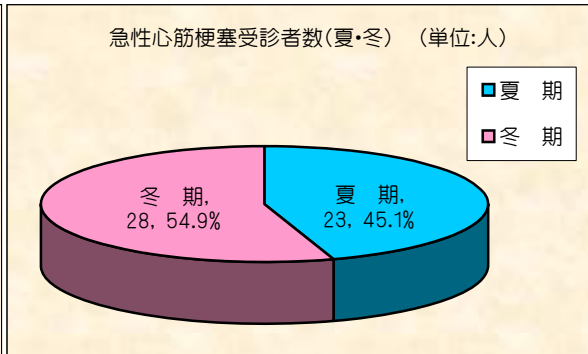
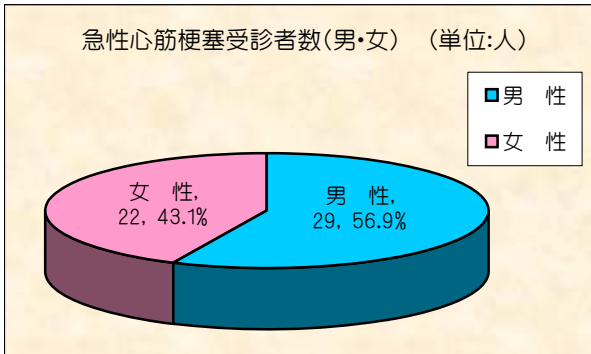
○ 急性心筋梗塞

1 発症予防

(1) 患者属性について

ア 性・年齢別受診者数

- ・受診者の男女比は男性56.9%、女性が43.1%で男性の受診者が上回っていた。
- ・夏期と冬期を比較すると、夏期45.1%、冬期54.9%で冬期の発症が多くなっていた。
- ・発症年齢は、80歳代18人(35.3%)、70歳代12人(23.5%)、60歳代9人(17.6%)の順に多く、60歳代以上が42人で全体の82.4%を占めていた。



(単位:歳、人)

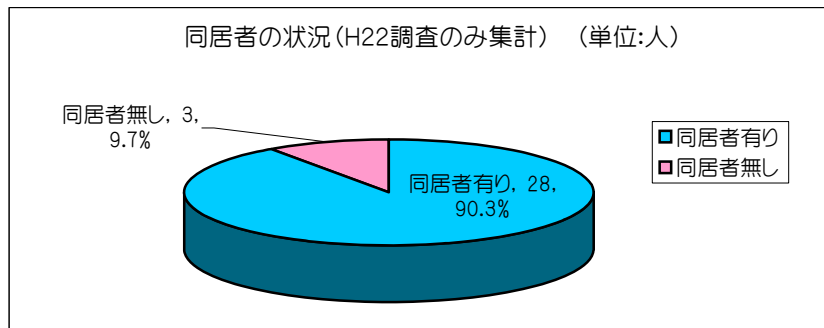
	合計	~20	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~89	90~
オホーツク計	51	0	0	3	0	6	9	12	18	3
構成比		0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	11.8%	17.6%	23.5%	35.3%	5.9%
男性	29	0	0	2	0	6	6	9	6	0
構成比		0.0%	0.0%	6.9%	0.0%	20.7%	20.7%	31.0%	20.7%	0.0%
女性	22	0	0	1	0	0	3	3	12	3
構成比		0.0%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	13.6%	13.6%	54.5%	13.6%

(単位:歳、人)

	合計	~20	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~89	90~
オホーツク計	51	0	0	3	0	6	9	12	18	3
構成比		0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	11.8%	17.6%	23.5%	35.3%	5.9%
夏期	23	0	0	2	0	0	4	4	11	2
構成比		0.0%	0.0%	8.7%	0.0%	0.0%	17.4%	17.4%	47.8%	8.7%
冬期	28	0	0	1	0	6	5	8	7	1
構成比		0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	21.4%	17.9%	28.6%	25.0%	3.6%

イ 居住形態

•同居者有りが28人(90.3%)、無しが3人(9.7%)であった。
(H22年度調査でのみ集計)

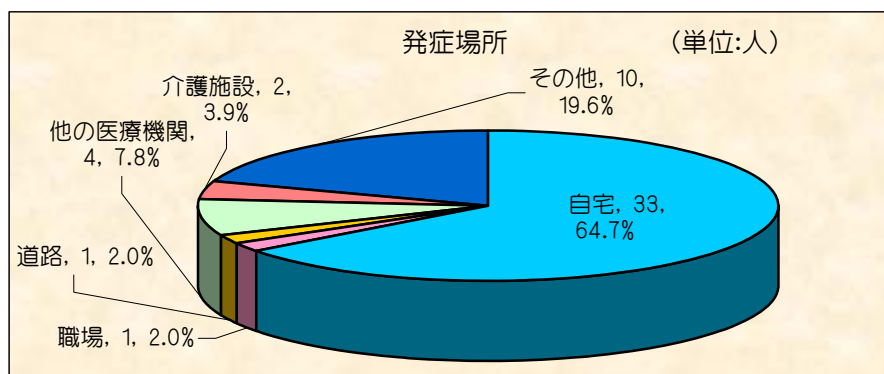


(単位:人)

	同居者有り	同居者無し
オホーツク計	28	3
夏期	12	2
冬期	16	1

ウ 発症場所

•自宅33人(64.7%)、その他10人(19.6%)、他の医療機関4人(7.8%)、介護保険関係施設2人(3.9%)、職場1人(2.0%)、道路1人(2.0%)、となっている。
•夏期と比較し冬期では、自宅での発症が増加し、その他での発症が減少した。



(単位:人)

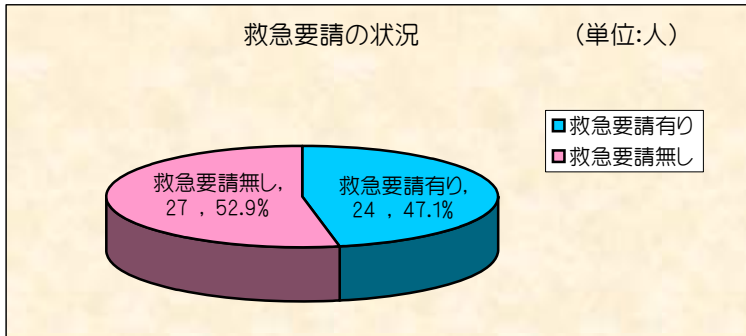
	自宅	職場	公共の場	道路	他の医療機関(H22)	介護保険関係施設(H22)	その他	計
オホーツク計	33	1	0	1	4	2	10	51
構成比	64.7%	2.0%	0.0%	2.0%	7.8%	3.9%	19.6%	100.0%
夏期	13	1	0	1	1	0	7	23
構成比	56.5%	4.3%	0.0%	4.3%	4.3%	0.0%	30.4%	100.0%
冬期	20	0	0	0	3	2	3	28
構成比	71.4%	0.0%	0.0%	0.0%	10.7%	7.1%	10.7%	100.0%

2 応急手当・病院前救護

(1) 受診経過

ア 救急要請の状況

- 救急要請有りは24人(47.1%)、救急要請無しは27人(52.9%)であった。
- 夏期と比較し冬期では、救急要請有りが22.3%増加した。

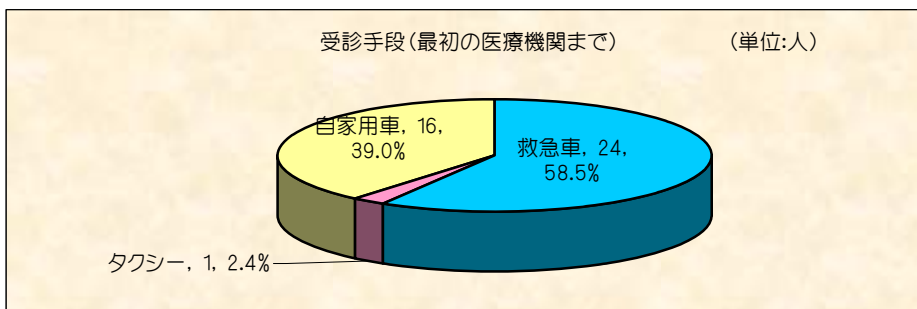


(単位:人)

	救急要請有り	救急要請無し
オホーツク計	24	27
構成比	47.1%	52.9%
夏期	8	15
構成比	34.8%	65.2%
冬期	16	12
構成比	57.1%	42.9%

イ 受診手段の状況

- 受診手段は、救急車24人(58.5%)、タクシー1人(2.4%)、自家用車16人(39.0%)となっていた。
- 夏期と比較し冬期では、救急車での受診が増加し、自家用車での受診が減少した。

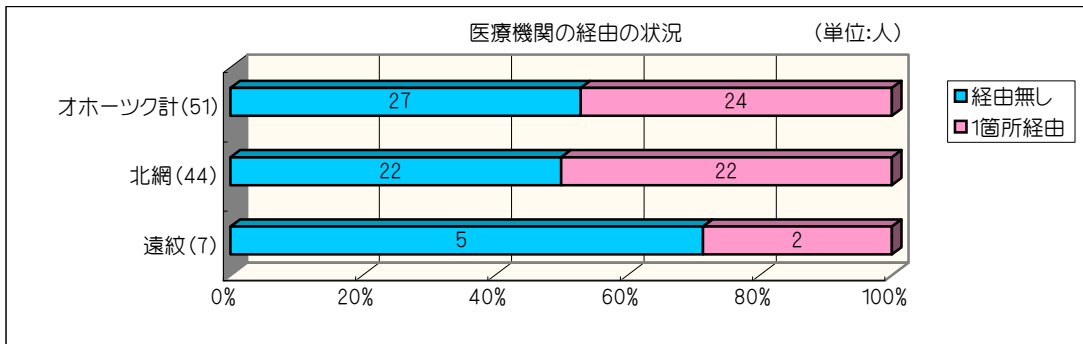


(単位:人)

	発症後最初に受診した医療機関(経由医療機関、調査対象医療機関)までの受診手段						計
	救急車	消防防災ヘリ	ドクターヘリ	タクシー	自家用車	独歩	
オホーツク計	24	0	0	1	16	0	41
構成比	58.5%	0.0%	0.0%	2.4%	39.0%	0.0%	100.0%
夏期	8	0	0	0	11	0	19
構成比	42.1%	0.0%	0.0%	0.0%	57.9%	0.0%	100.0%
冬期	16	0	0	1	5	0	22
構成比	72.7%	0.0%	0.0%	4.5%	22.7%	0.0%	100.0%

ウ 他の医療機関の経由の状況

•他の医療機関の経由状況は、経由機関無しが27人(52.9%)、経由機関有りが24人(47.1%)で、経由機関有りのうち、2か所の機関を経由し、受診した人は1人(2.0%)であった。



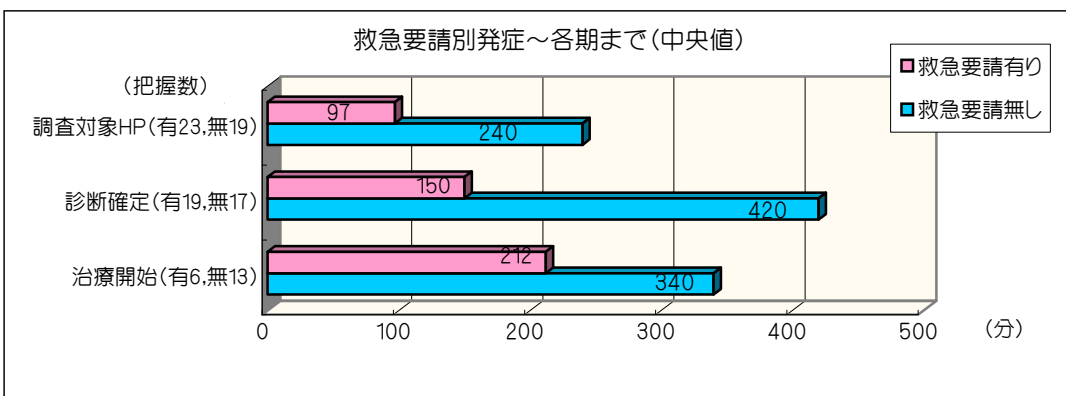
圏域名 (発症地)	総数(人)	1箇所経由有り		2箇所経由有り	
		件数(人)	構成比(%)	件数(人)	構成比(%)
オホーツク計	51	24	47.1%	1	2.0%
北網	44	22	50.0%	1	2.3%
遠紋	7	2	28.6%		

3 急性期医療

(1) 受診経過

ア 救急要請(有・無)別の発症から医療機関到着までの所要時間

•救急要請があった場合と無かった場合の発症から調査対象医療機関到着、診断確定、治療開始、までの所要時間の中央値を比較すると、救急要請有りの所要時間が大幅に短く、調査対象医療機関到着までは143分、診断確定までは270分、治療開始までは128分短かった。

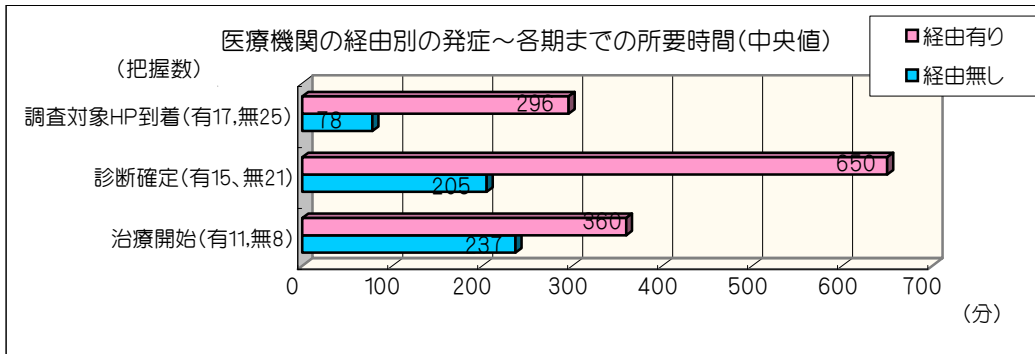


(単位:分)

	救急要請	発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
		把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
	無	19	60	1,730	240	560	17	157	1,770	420	747	13	195	4,740	340	826
	有	23	20	960	97	151	19	38	1,020	150	228	6	90	2,130	212	670

イ 経由医療機関(有・無)別の発症から医療機関到着までの所要時間

・医療機関の経由が有った場合と無かった場合の発症から調査対象医療機関到着、診断確定治療開始、までの所要時間の中央値を比較すると、医療機関の経由無しの所要時間が大幅に短く、調査対象医療機関到着までは218分、診断確定までは445分、治療開始までは123分短かった。

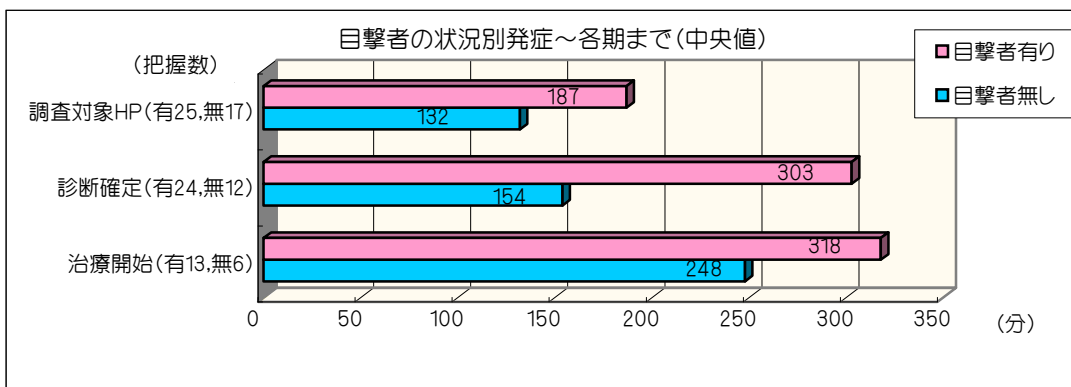


(単位:分)

経由機関		発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
		把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
経由機関	無	25	20	529	78	128	21	38	1,295	205	259	8	90	2,130	237	594
	有	17	97	1,730	296	641	15	120	1,770	650	772	11	140	4,740	360	903

ウ 目撃者(有・無)別の発症から医療機関到着までの所要時間

・目撃者が有りの場合と無しの場合の発症から調査対象医療機関到着、診断確定、治療開始、までの所要時間の中央値を比較すると、目撃者なしの所要時間が短く、調査対象医療機関到着までは55分、診断確定までは149分、治療開始までは70分短かった。



(単位:分)

目撃者		発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
		把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
目撃者	無	17	20	1,106	132	194	12	50	1,115	154	252	6	90	1,140	248	346
	有	25	21	1,730	187	432	24	38	1,770	303	583	13	140	4,740	318	988

十 勝

I 回収状況(十勝)

脳卒中	十勝計	夏期	冬期
総数(人)	190	90	100
男性(人)	105	56	49
(%)	55.3%	62.2%	49.0%
女性(人)	85	34	51
(%)	44.7%	37.8%	51.0%

急性心筋梗塞	十勝計	夏期	冬期
総数(人)	46	25	21
男性(人)	37	18	19
(%)	80.4%	72.0%	90.5%
女性(人)	9	7	2
(%)	19.6%	28.0%	9.5%

II 調査結果

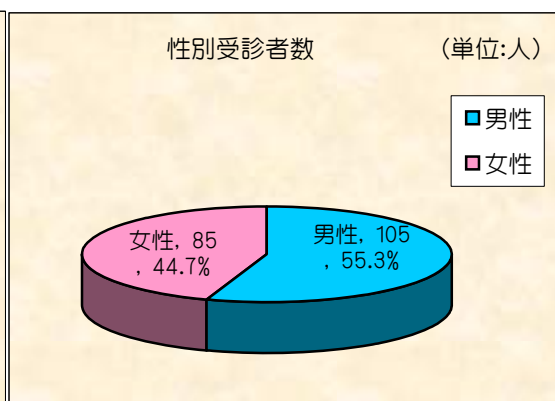
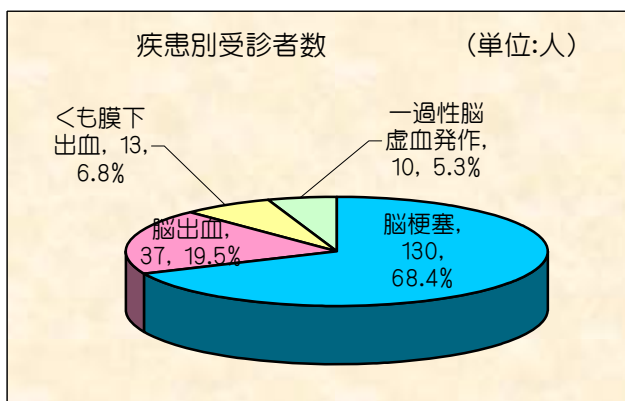
○ 脳卒中

1 発症予防

(1) 患者属性について

ア 疾患別受診者数

- 脳梗塞が全体の約70%を占めており、次いで脳出血、くも膜下出血の順に多くなっている。
- 夏期と比較し冬期では、受診者数が増加した。
- 男女比は男性が10.6%上回っていた。

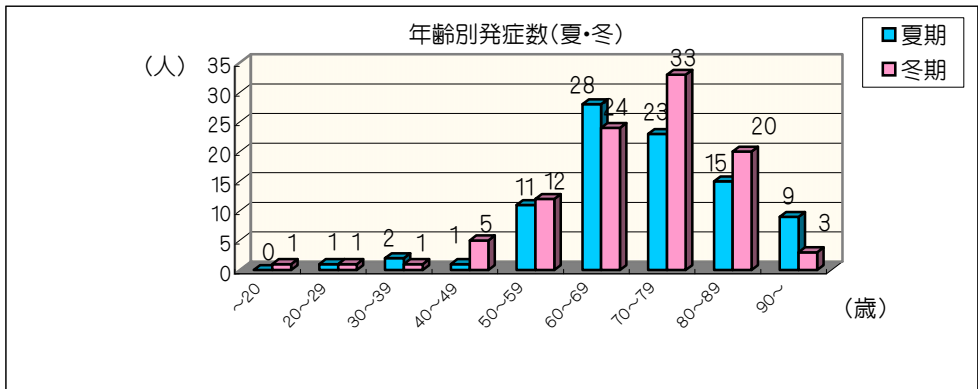


(単位:人)

	合計	夏期	冬期	男性	女性
十勝計	190	90	100	105	85
脳梗塞	130	61	69	72	58
脳出血	37	18	19	23	14
くも膜下出血	13	7	6	3	10
一過性脳虚血発作	10	4	6	7	3
その他の脳卒中	0	0	0	0	0

イ 年齢別発症状況

- 70歳代が56人(29.5%)、60歳代52人(23.0%)、80歳代35人(18.4%)の順に多く、60歳代以上が155人で全体の81.6%を占めている。
- 夏期と比較し冬期では、70歳代の受診者が増加し、60歳代の受診者が減少していた。

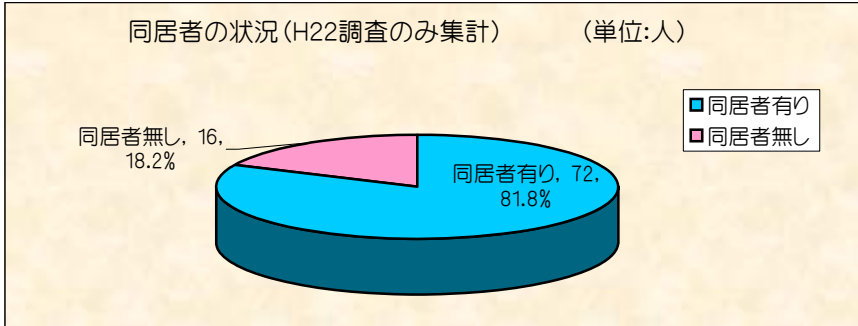


(単位:歳、人)

	~20	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~89	90~
十勝計	1	2	3	6	23	52	56	35	12
夏期	0	1	2	1	11	28	23	15	9
冬期	1	1	1	5	12	24	33	20	3
脳梗塞	0	0	1	2	15	34	43	27	8
脳出血	1	0	0	0	7	11	9	6	3
くも膜下出血	0	1	2	4	1	4	1	0	0
一過性脳虚血発作	0	1	0	0	0	3	3	2	1
その他の脳卒中	0	0	0	0	0	0	0	0	0

ウ 居住形態

・同居者有りが72人(81.8%)、無しが16人(18.2%)であった。
(H22年度調査でのみ集計)

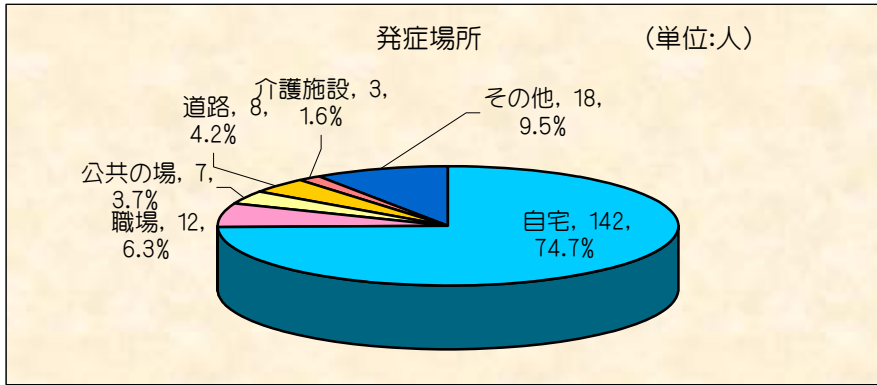


(単位:人)

	同居者有り	同居者無し
十勝計	72	16
夏期	33	10
冬期	39	6

エ 発症場所

・自宅142人(74.7%)、その他18人(9.5%)、職場12人(6.3%)、道路8人(4.2%)
公共の場7人(3.7%)、介護保険関係施設3人(1.6%)となっている。
・夏期と比較し冬期では、自宅での発症が増加し、道路での発症が減少した。



(単位:人)

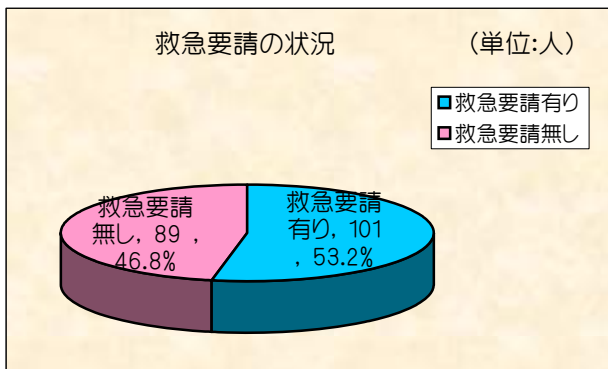
	自宅	職場	公共の場	道路	他の医療機関(H22)	介護保険関係施設(H22)	その他	計
十勝計	142	12	7	8	0	3	18	190
構成比	74.7%	6.3%	3.7%	4.2%	0.0%	1.6%	9.5%	100.0%
夏期	65	5	1	7	0	2	10	90
構成比	72.2%	5.6%	1.1%	7.8%	0.0%	2.2%	11.1%	100.0%
冬期	77	7	6	1	0	1	8	100
構成比	77.0%	7.0%	6.0%	1.0%	0.0%	1.0%	8.0%	100.0%

2 応急手当・病院前救護

(1) 受診経過

ア 救急要請の状況

- ・救急要請有りは101人(53.2%)、救急要請無しは89人(46.8%)であった。
- ・夏期と比較し冬期では、救急要請が8.1%増加した。

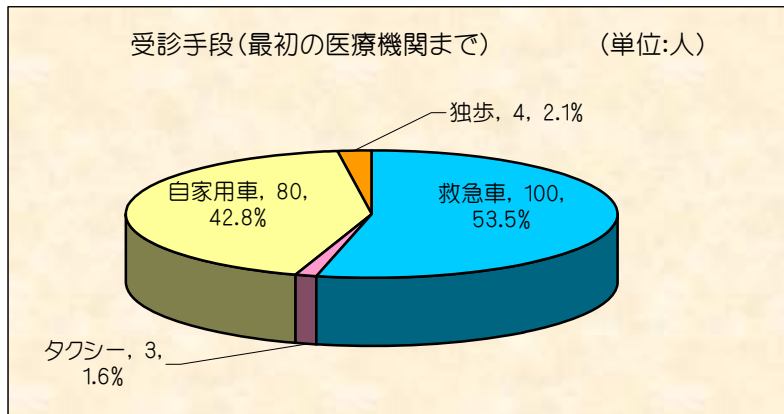


(単位:人)

	救急要請有り	救急要請無し
十勝計	101	89
構成比	53.2%	46.8%
夏期	44	46
構成比	48.9%	51.1%
冬期	57	43
構成比	57.0%	43.0%

イ 受診手段の状況

- 受診手段は、救急車100人(53.5%)、自家用車80人(42.8%)、タクシー3人(1.6%)、独歩4人(2.1%)となっていた。
- 夏期と比較し冬期では、救急車での受診が増加し、自家用車での受診が減少した。

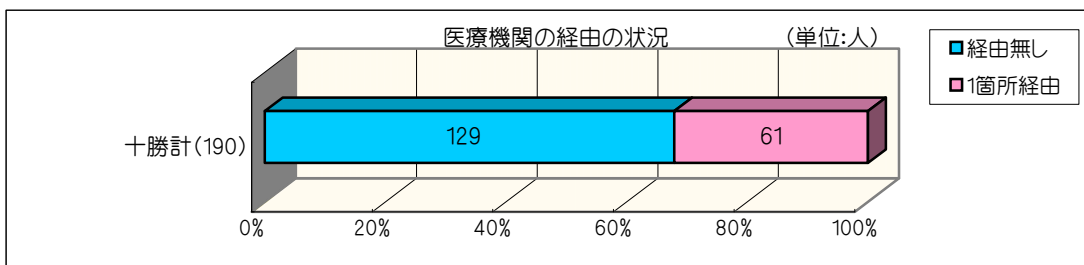


(単位:人)

	発症後最初に受診した医療機関(経由医療機関、調査対象医療機関)までの受診手段						計
	救急車	消防防災ヘリ	ドクターヘリ	タクシー	自家用車	独歩	
十勝計	100	0	0	3	80	4	187
構成比	53.5%	0.0%	0.0%	1.6%	42.8%	2.1%	100.0%
夏期	44	0	0	1	40	3	88
構成比	50.0%	0.0%	0.0%	1.1%	45.5%	3.4%	100.0%
冬期	56	0	0	2	40	1	99
構成比	56.6%	0.0%	0.0%	2.0%	40.4%	1.0%	100.0%

ウ 他の医療機関の経由の状況

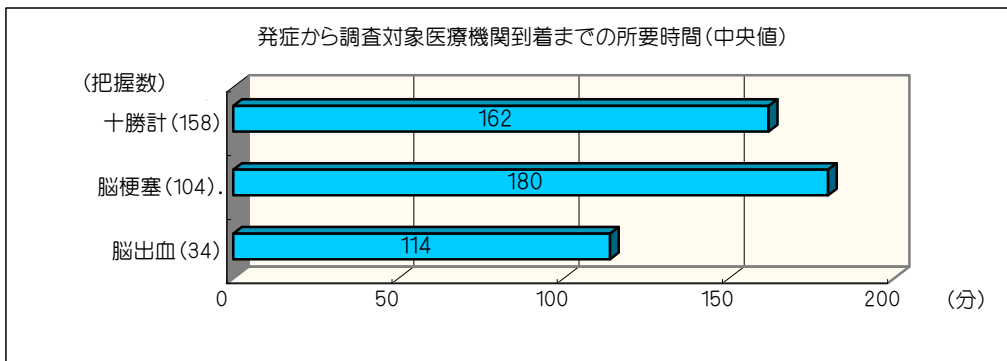
- 他の医療機関の経由状況は、経由機関無しが129人(67.9%)、経由機関有りが61人(32.1%)で、経由機関有りのうち、2カ所の機関を経由し、受診した人は1人(0.5%)であった。



圏域名 (発症地)	総数(人)	1カ所経由有り		2カ所経由有り	
		件数(人)	構成比(%)	件数(人)	構成比(%)
十勝計	190	61	32.1%	1	0.5%

工 疾患別発症から医療機関到着までの所要時間等

・発症から調査対象医療機関到着までの所要時間の中央値は176分であった。疾患別では、脳出血114分<脳梗塞180分の順に所要時間の中央値が長くなっていた。

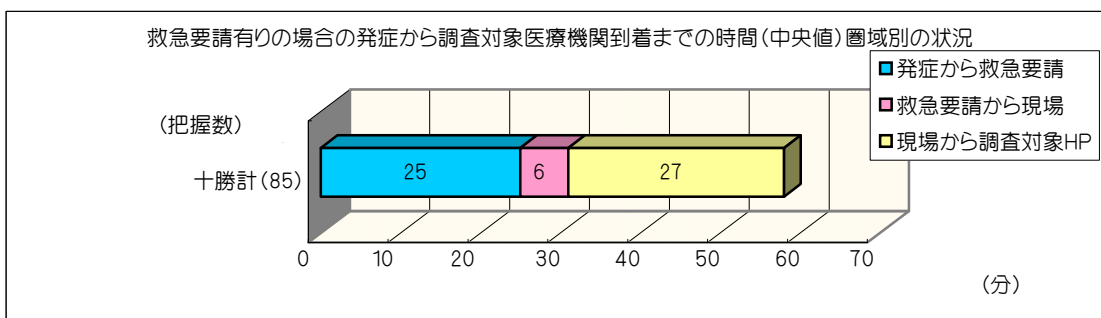


(単位:分)

診断名	発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
十勝計	158	23	8,670	162	575	158	34	8,730	210	653	31	100	10,223	375	1,715
脳梗塞	104	26	8,670	180	639	104	50	8,730	240	737	12	100	6,362	169	1,122
脳出血	34	30	3,020	114	362	34	50	3,045	160	398	9	162	10,223	1,020	2,819
くも膜下出血	11	23	2,495	1,035	931	11	34	2,610	1,120	981	9	110	2,880	1,530	1,415
一過性脳虚血発作	9	46	855	127	196	9	80	925	190	242	1	1,607	1,607	1,607	1,607
その他の脳卒中															

才 救急要請有りの場合の発症から各期までの所要時間

・救急要請があった場合の発症から医療機関到着までの所要時間は、60分以内であった。

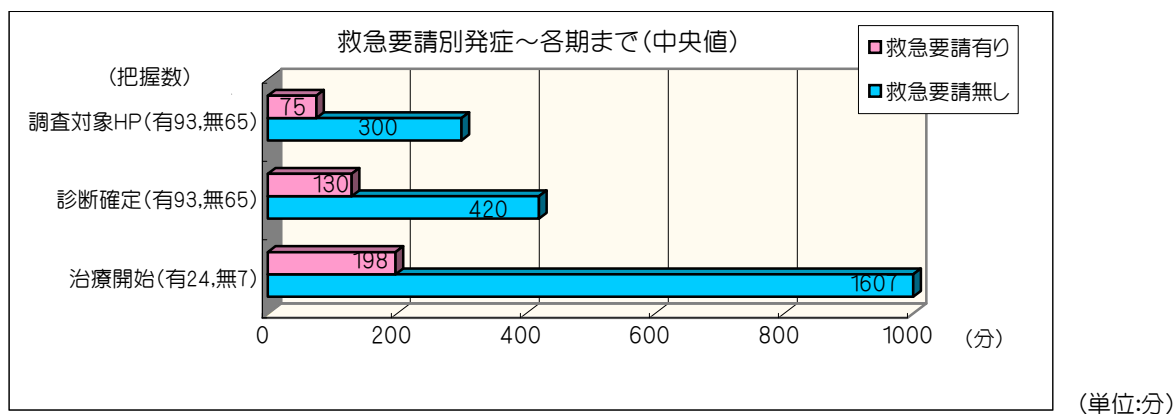


3 急性期医療

(1) 受診経過

ア 救急要請(有・無)別の発症から医療機関到着までの所要時間

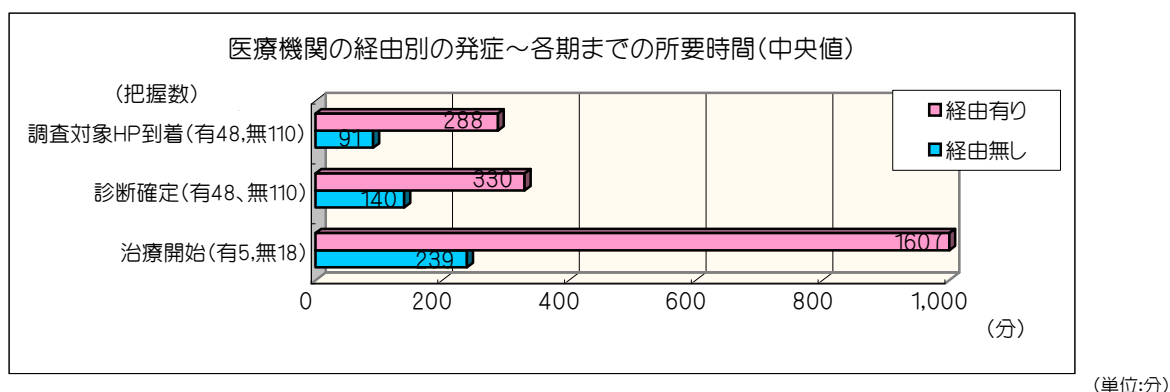
・救急要請があった場合と無かった場合の発症から調査対象医療機関到着、診断確定、治療開始、までの所要時間の中央値を比較すると、救急要請有りの所要時間が大幅に短く、調査対象医療機関到着までは225分、診断確定までは290分、治療開始までは1409分短かった。



		発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
		把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
救急要請	無	65	56	8,670	300	887	65	100	8,730	420	958	7	236	2,879	1,607	1,584
	有	93	23	5,447	75	356	93	34	5,490	130	439	24	100	10,223	198	1,754

イ 経由医療機関(有・無)別の発症から医療機関到着までの所要時間

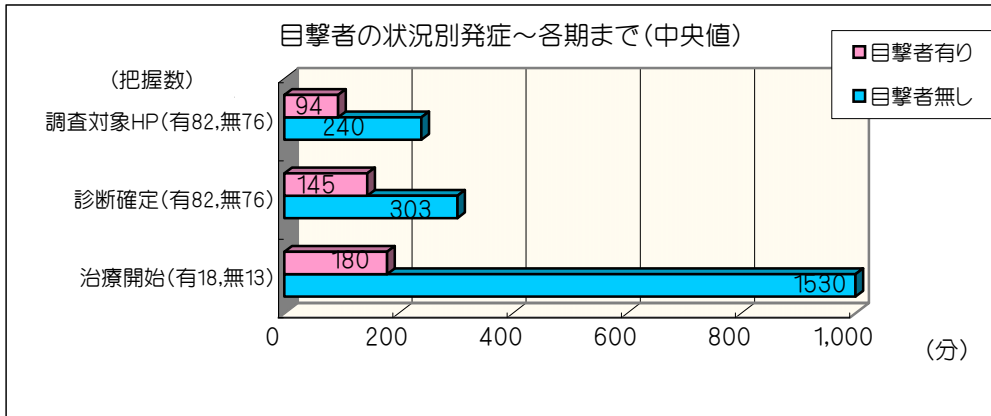
・医療機関の経由が有った場合と無かった場合の発症から調査対象医療機関到着、診断確定、治療開始、までの所要時間の中央値を比較すると、医療機関の経由無しの所要時間が大幅に短く、調査対象医療機関到着までは197分、診断確定までは190分、治療開始までは1368分短かった。



		発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
		把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
経由機関	無	110	23	5,630	91	421	110	34	5,670	140	508	18	100	10,223	239	1,741
	有	48	69	8,670	288	926	48	90	8,730	330	984	5	236	2,879	1,607	1,582

ウ 目撃者(有・無)別の発症から医療機関到着までの所要時間

・目撃者有りの場合と無しの場合の発症から調査対象医療機関到着、診断確定、治療開始、までの所要時間の中央値を比較すると目撃者有りの所要時間が、調査対象医療機関到着までは146分、診断確定までは158分、治療開始までは1350分短かった。



(単位:分)

		発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
		把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
目撃者	無	76	23	8,670	240	720	76	34	8,730	303	822	13	170	10,223	1,530	2,905
	有	82	26	5,447	94	440	82	50	5,490	145	496	18	100	3,091	180	856

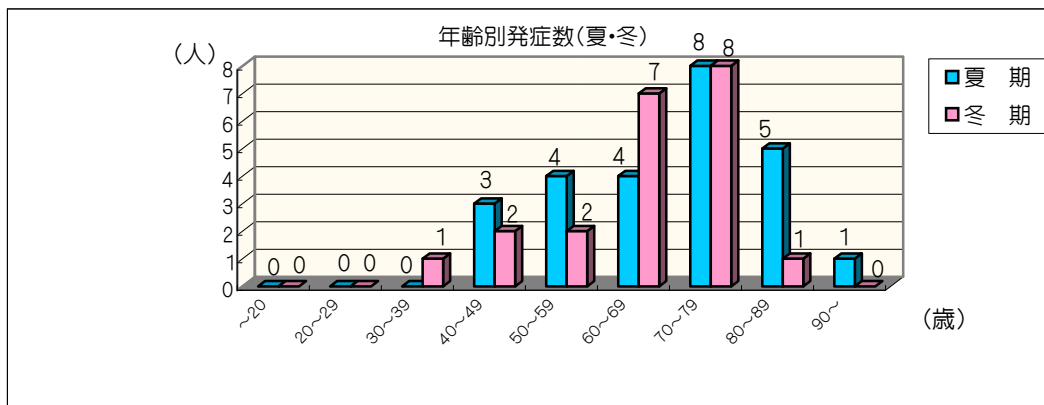
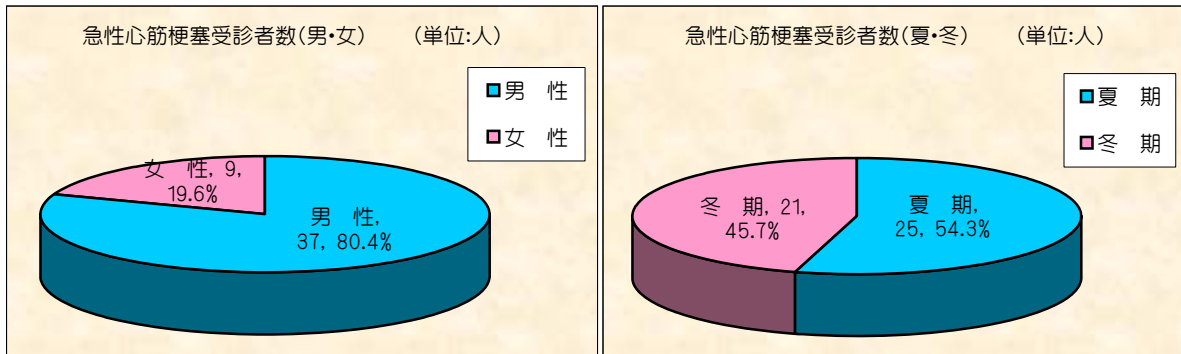
○ 急性心筋梗塞

1 発症予防

(1) 患者属性について

ア 性・年齢別受診者数

- ・受診者の男女比は男性80.4%、女性が19.6%で男性の受診者が大きく上回っていた。
- ・夏期と冬期を比較すると、夏期54.3%、冬期45.7%で夏期の発症が多くなっていた。
- ・発症年齢は、70歳代16人(34.8%)、60歳代11人(23.9%)、50歳代、80歳代が6人(13.0%)の順に多く、60歳代以上が34人で全体の73.9%を占めていた。



(単位:歳、人)

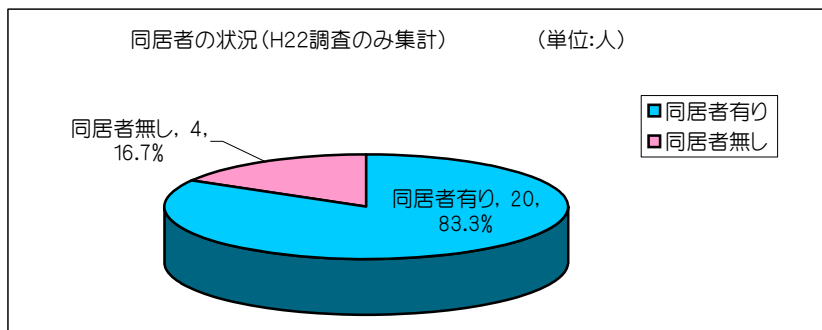
	合計	~20	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~89	90~
十勝計	46	0	0	1	5	6	11	16	6	1
構成比		0.0%	0.0%	2.2%	10.9%	13.0%	23.9%	34.8%	13.0%	2.2%
男性	37	0	0	1	5	6	10	11	4	0
構成比		0.0%	0.0%	2.7%	13.5%	16.2%	27.0%	29.7%	10.8%	0.0%
女性	9	0	0	0	0	0	1	5	2	1
構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	55.6%	22.2%	11.1%

(単位:歳、人)

	合計	~20	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~89	90~
十勝計	46	0	0	1	5	6	11	16	6	1
構成比		0.0%	0.0%	2.2%	10.9%	13.0%	23.9%	34.8%	13.0%	2.2%
夏期	25	0	0	0	3	4	4	8	5	1
構成比		0.0%	0.0%	0.0%	12.0%	16.0%	16.0%	32.0%	20.0%	4.0%
冬期	21	0	0	1	2	2	7	8	1	0
構成比		0.0%	0.0%	4.8%	9.5%	9.5%	33.3%	38.1%	4.8%	0.0%

イ 居住形態

•同居者有りが20人(83.3%)、無しが4人(16.7%)であった。
(H22年度調査でのみ集計)

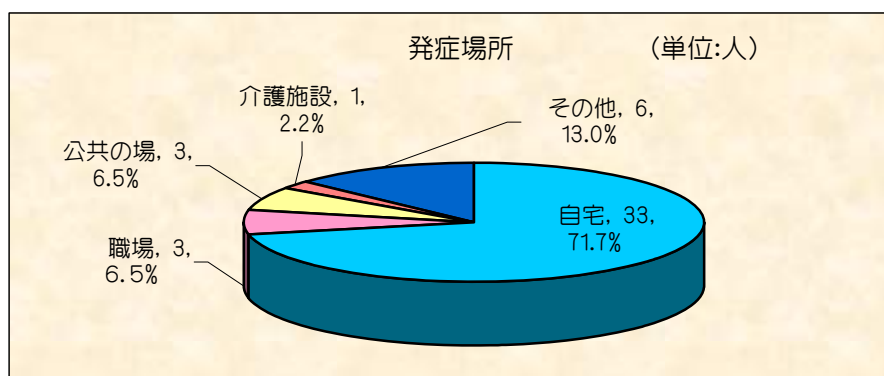


(単位:人)

	同居者有り	同居者無し
十勝計	20	4
夏期	12	4
冬期	8	0

ウ 発症場所

•自宅33人(71.7%)、その他6人(13.0%)、職場3人(6.5%)、公共の場3人(6.5%)、介護保険関係施設1人(2.2%)となっている。
•夏期と比較し冬期では、自宅での発症が増加し、公共の場での発症が減少した。



(単位:人)

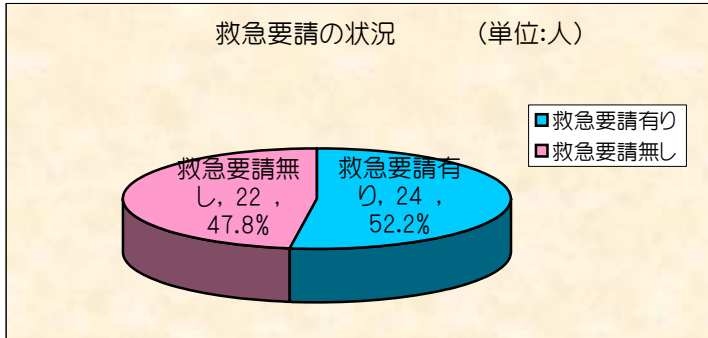
	自宅	職場	公共の場	道路	他の医療機関(H22)	介護保険関係施設(H22)	その他	計
十勝計	33	3	3	0	0	1	6	46
構成比	71.7%	6.5%	6.5%	0.0%	0.0%	2.2%	13.0%	100.0%
夏期	17	1	3	0	0	1	3	25
構成比	68.0%	4.0%	12.0%	0.0%	0.0%	4.0%	12.0%	100.0%
冬期	16	2	0	0	0	0	3	21
構成比	76.2%	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	100.0%

2 応急手当・病院前救護

(1) 受診経過

ア 救急要請の状況

- ・救急要請有りは24人(52.2%)、救急要請無しは22人(47.8%)であった。
- ・夏期と比較し冬期では、救急要請の割合が9.1%増加した。

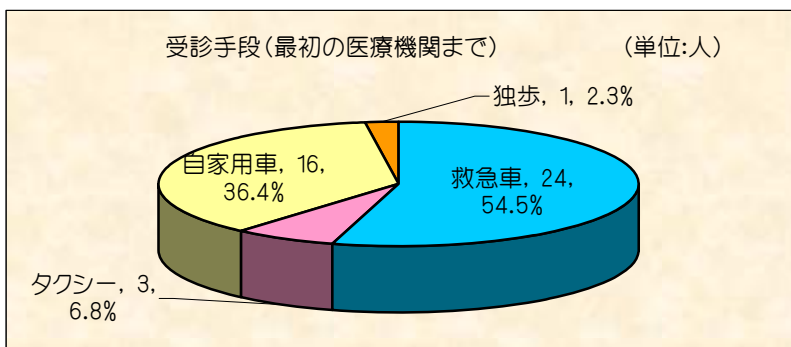


(単位:人)

	救急要請有り	救急要請無し
十勝計	24	22
構成比	52.2%	47.8%
夏期	12	13
構成比	48.0%	52.0%
冬期	12	9
構成比	57.1%	42.9%

イ 受診手段の状況

- ・受診手段は、救急車24人(54.5%)、タクシー3人(6.8%)、自家用車16人(36.4%)、独歩1人(2.3%)となっていた。
- ・夏期と冬期で、受診手段に差異は見られなかった。

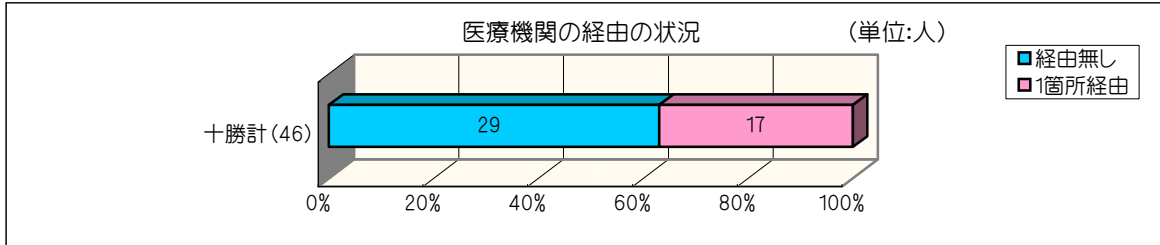


(単位:人)

	発症後最初に受診した医療機関(経由医療機関、調査対象医療機関)までの受診手段						計
	救急車	消防防災ヘリ	ドクターヘリ	タクシー	自家用車	独歩	
十勝計	24	0	0	3	16	1	44
構成比	54.5%	0.0%	0.0%	6.8%	36.4%	2.3%	100.0%
夏期	12	0	0	2	8	1	23
構成比	52.2%	0.0%	0.0%	8.7%	34.8%	4.3%	100.0%
冬期	12	0	0	1	8	0	21
構成比	57.1%	0.0%	0.0%	4.8%	38.1%	0.0%	100.0%

ウ 他の医療機関の経由の状況

•他の医療機関の経由状況は、経由機関無しが29人(63.0%)、経由機関有りが17人(37.0%)で、経由機関有りのうち、2か所の機関を経由し、受診した人は1人(2.2%)であった。



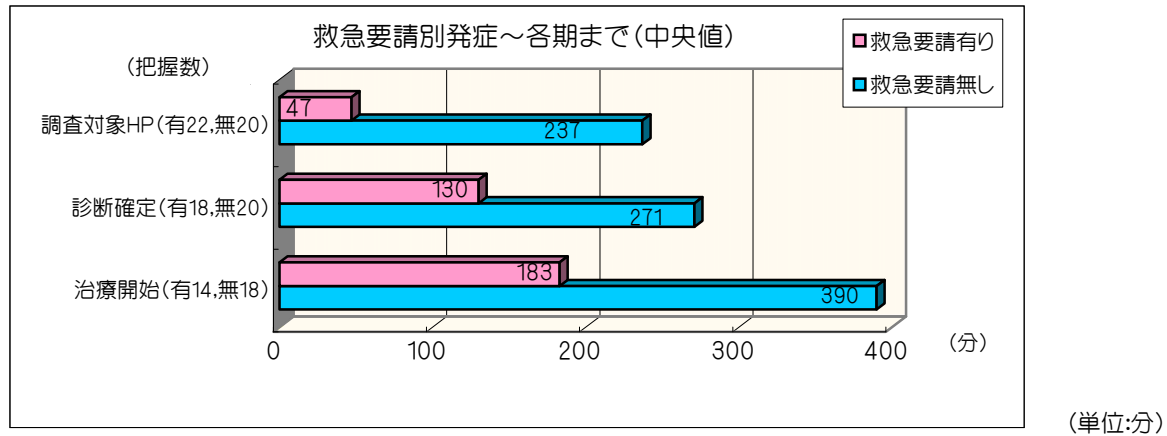
圏域名 (発症地)	総数(人)	1か所経由有り		2か所経由有り	
		件数(人)	構成比(%)	件数(人)	構成比(%)
十勝計	46	17	37.0%	1	2.2%

3 急性期医療

(1) 受診経過

ア 救急要請(有・無)別の発症から医療機関到着までの所要時間

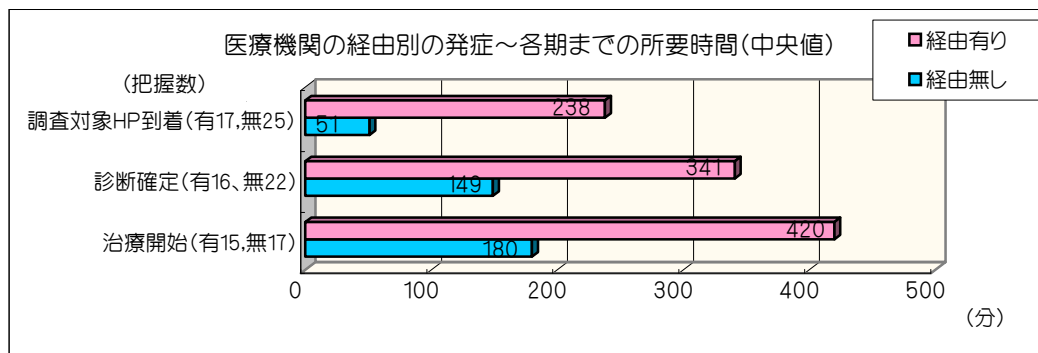
•救急要請があった場合と無かった場合の発症から調査対象医療機関到着、診断確定、治療開始、までの所要時間の中央値を比較すると、救急要請有りの所要時間が大幅に短く、調査対象医療機関到着までは190分、診断確定までは141分、治療開始までは207分短かった。



	救急要請	発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
		把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
	無	20	51	3,240	237	691	20	75	3,270	271	623	18	114	3,345	390	688
	有	22	27	517	47	114	18	55	617	130	187	14	86	617	183	240

イ 経由医療機関(有・無)別の発症から医療機関到着までの所要時間

・医療機関の経由が有った場合と無かった場合の発症から調査対象医療機関到着、診断確定治療開始、までの所要時間の中央値を比較すると医療機関の経由無しの場合の所要時間が大幅に短く、調査対象医療機関到着までは187分、診断確定までは192分、治療開始までは240分短かった。

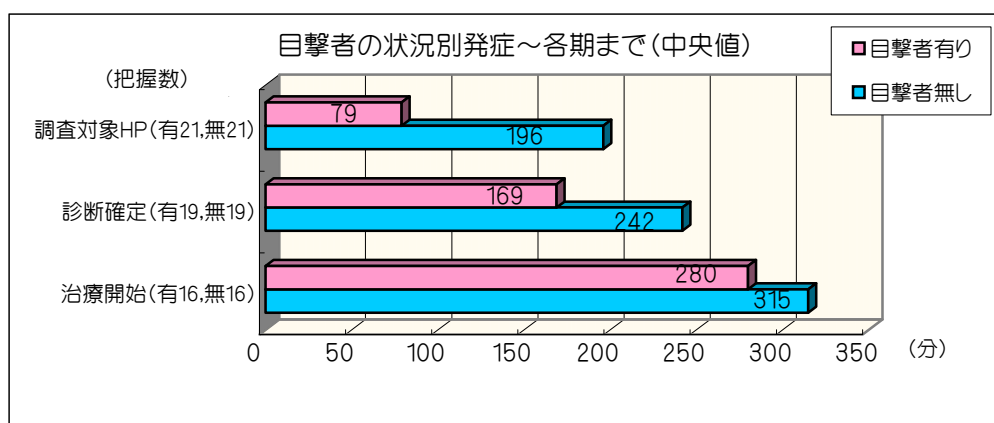


(単位:分)

経由機関	発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
無	25	27	2,656	51	208	22	55	617	149	190	17	86	617	180	246
有	17	70	3,240	238	654	16	75	3,270	341	729	15	140	3,345	420	769

ウ 目撃者(有・無)別の発症から医療機関到着までの所要時間

・目撃者が有りの場合と無しの場合の発症から調査対象医療機関到着、診断確定、治療開始までの所要時間の中央値を比較すると、目撃者有りの所要時間が短く、調査対象医療機関到着までは117分、診断確定までは73分、治療開始までは35分短かった。



(単位:分)

目撃者	発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
無	21	32	2,656	196	453	19	69	1,410	242	426	16	98	1,500	315	443
有	21	27	3,240	79	324	19	55	3,270	169	407	16	86	3,345	280	511

釧路・根室

I 回収状況(釧路・根室)

脳卒中	釧路・根室計	夏期	冬期
総数(人)	174	79	95
男性(人)	106	53	53
(%)	60.9%	67.1%	55.8%
女性(人)	68	26	42
(%)	39.1%	32.9%	44.2%

急性心筋梗塞	釧路・根室計	夏期	冬期
総数(人)	71	33	38
男性(人)	53	28	25
(%)	74.6%	84.8%	65.8%
女性(人)	18	5	13
(%)	25.4%	15.2%	34.2%

II 調査結果

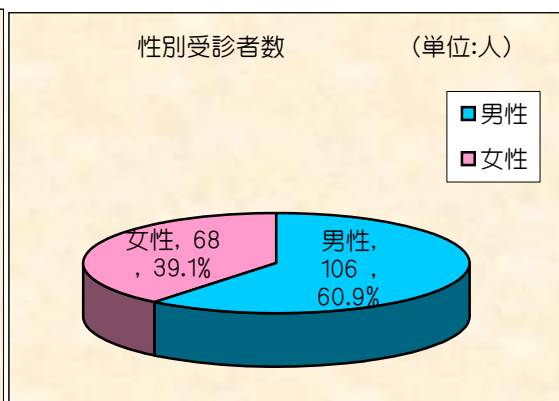
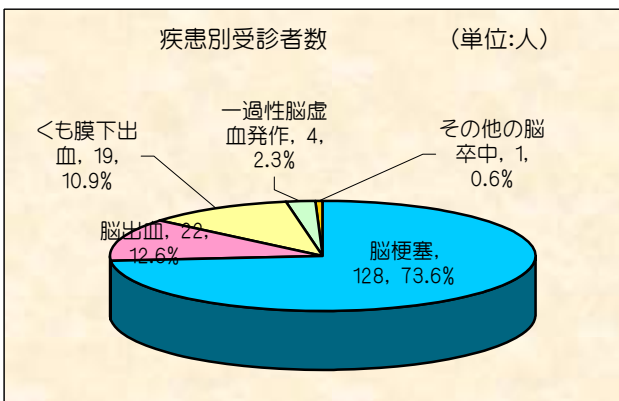
○ 脳卒中

1 発症予防

(1) 患者属性について

ア 疾患別受診者数

- 脳梗塞が全体の73.6%を占めており、次いで脳出血、くも膜下出血の順に多くなっている。
- 夏期と比較し冬期では、受診者数が増加した。
- 男女比は男性が21.8%上回っていた。

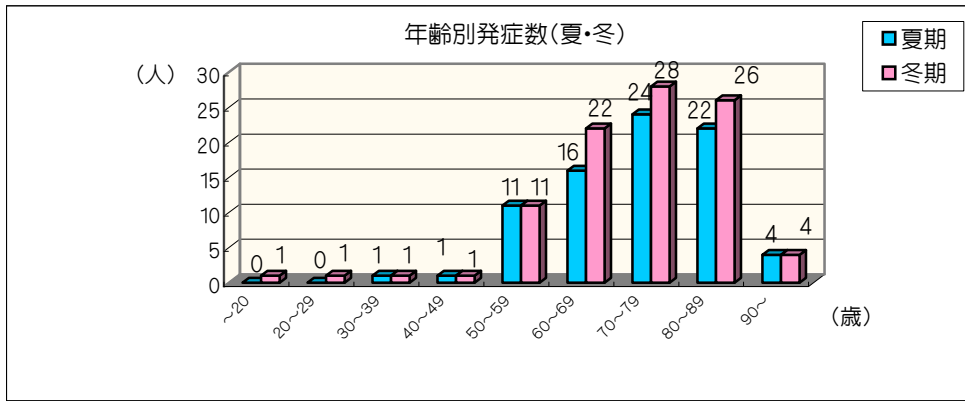


(単位:人)

	合計	夏期	冬期	男性	女性
釧路・根室計	174	79	95	106	68
脳梗塞	128	62	66	80	48
脳出血	22	10	12	15	7
くも膜下出血	19	4	15	8	11
一過性脳虚血発作	4	3	1	2	2
その他の脳卒中	1	0	1	1	0

イ 年齢別発症状況

- 70歳代が52人(29.9%)、80歳代48人(27.6%)、60歳代38人(21.8%)の順に多く、60歳代以上が146人で全体の83.9%を占めている。

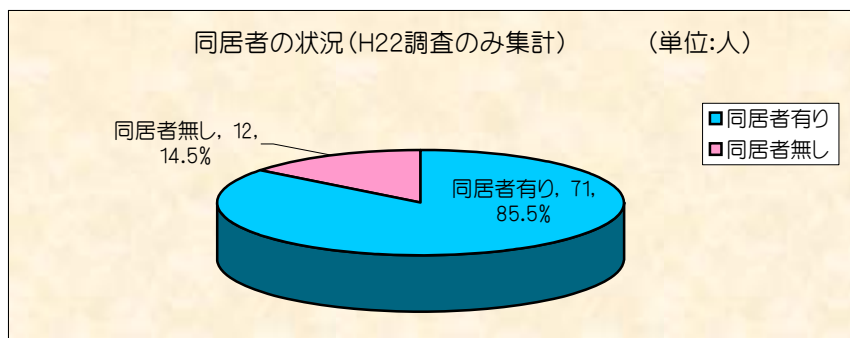


(単位:人)

	~20	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~89	90~
鈷路・根室計	1	1	2	2	22	38	52	48	8
夏期	0	0	1	1	11	16	24	22	4
冬期	1	1	1	1	11	22	28	26	4
脳梗塞	0	0	2	0	17	27	39	36	7
脳出血	0	0	0	0	2	7	6	7	0
くも膜下出血	1	1	0	2	3	4	4	3	1
一過性脳虚血発作	0	0	0	0	0	0	3	1	0
その他の脳卒中	0	0	0	0	0	0	0	1	0

ウ 居住形態

・同居者有りが71人(85.5%)、無しが12人(14.5%)であった。
(H22年度調査でのみ集計)

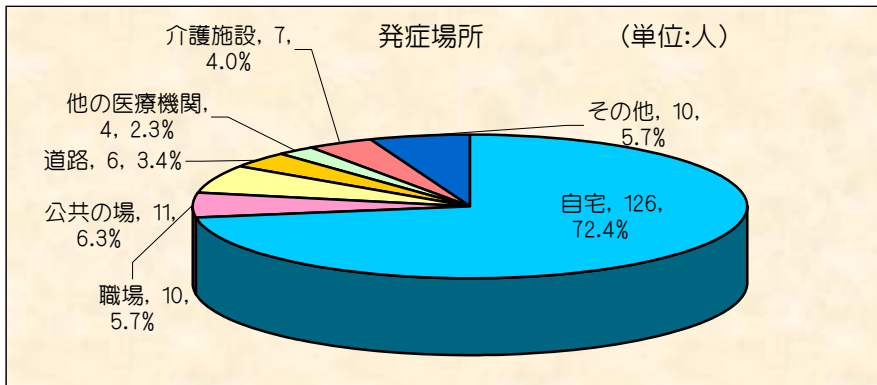


(単位:人)

	同居者有り	同居者無し
鈷路・根室計	71	12
夏期	33	7
冬期	38	5

エ 発症場所

・自宅126人(72.4%)、公共の場11人(6.3%)、その他10人(5.7%)、職場10人(5.7%)、介護保険関係施設7人(4.0%)、道路6人(3.4%)、他の医療機関4人(2.3%)となっている。
・夏期と冬期で、発症場所に大きな差異はなかった。



(単位:人)

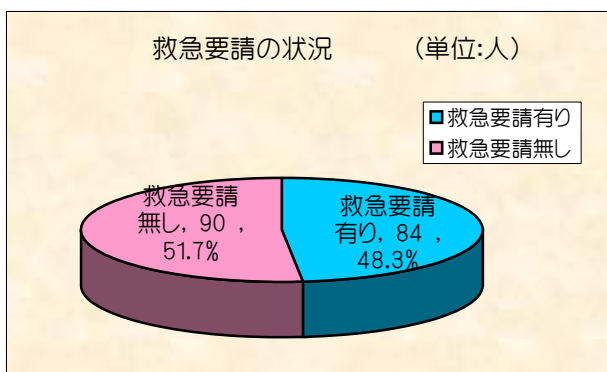
	自宅	職場	公共の場	道路	他の医療機関(H22)	介護保険関係施設(H22)	その他	計
釧路・根室計	126	10	11	6	4	7	10	174
構成比	72.4%	5.7%	6.3%	3.4%	2.3%	4.0%	5.7%	100.0%
夏期	58	6	5	2	1	2	5	79
構成比	73.4%	7.6%	6.3%	2.5%	1.3%	2.5%	6.3%	100.0%
冬期	68	4	6	4	3	5	5	95
構成比	71.6%	4.2%	6.3%	4.2%	3.2%	5.3%	5.3%	100.0%

2 応急手当・病院前救護

(1) 受診経過

ア 救急要請の状況

- ・救急要請有りは84人(48.3%)、救急要請無しは90人(51.7%)であった。
- ・夏期と比較し冬期では、救急要請の割合が9.6%増加した。

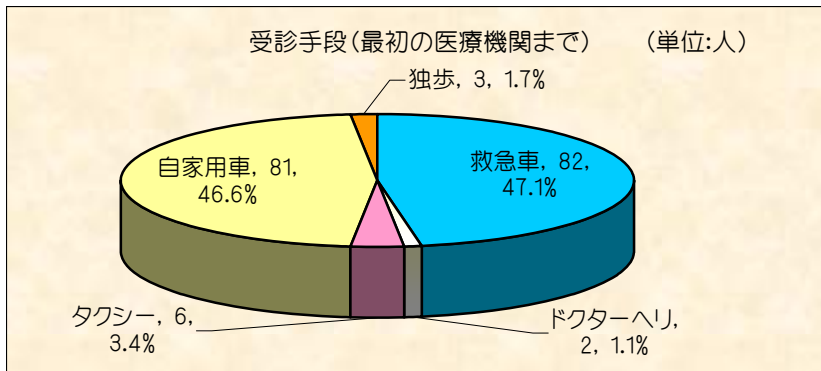


(単位:人)

	救急要請有り	救急要請無し
釧路・根室計	84	90
構成比	48.3%	51.7%
夏期	34	45
構成比	43.0%	57.0%
冬期	50	45
構成比	52.6%	47.4%

イ 受診手段の状況

- 受診手段は、救急車82人(47.1%)、ドクターヘリ2人(1.1%)、タクシー6人(3.4%)、自家用車81人(46.6%)、独歩3人(1.7%)、となっていた。
- 夏期と比較し冬期では、救急車での受診が増加し、自家用車での受診が減少した。

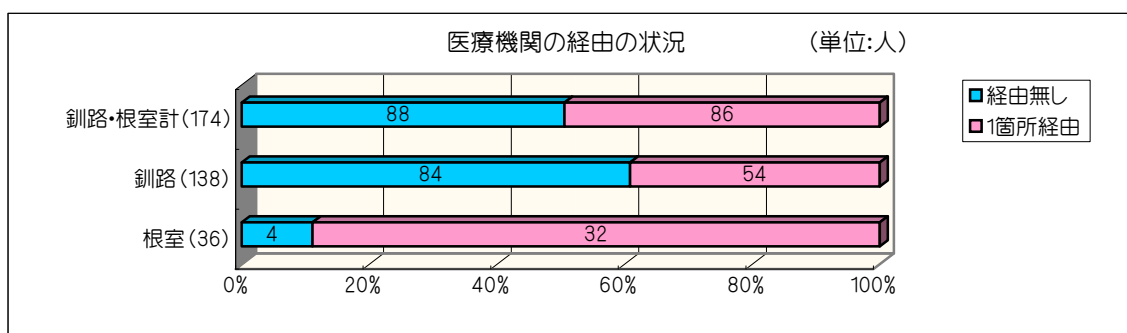


(単位:人)

	発症後最初に受診した医療機関(経由医療機関、調査対象医療機関)までの受診手段						計
	救急車	消防防災ヘリ	ドクターヘリ	タクシー	自家用車	独歩	
釧路・根室計	82	0	2	6	81	3	174
構成比	47.1%	0.0%	1.1%	3.4%	46.6%	1.7%	100.0%
夏期	34	0	0	4	41	0	79
構成比	43.0%	0.0%	0.0%	5.1%	51.9%	0.0%	100.0%
冬期	48	0	2	2	40	3	95
構成比	50.5%	0.0%	2.1%	2.1%	42.1%	3.2%	100.0%

ウ 他の医療機関の経由の状況

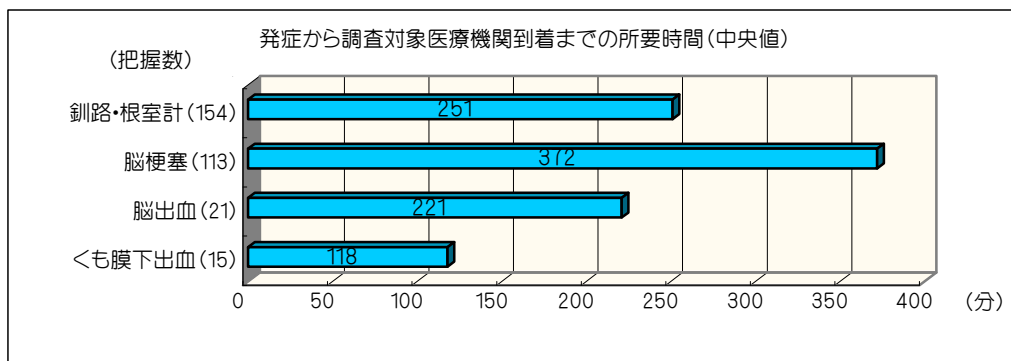
- 他の医療機関の経由状況は、経由機関無しが88人(50.6%)、経由機関有りが86人(49.4%)で、経由機関有りのうち、2か所の機関を経由し、受診した人は4人(2.3%)であった。
- 2次医療圏域別に見ると、経由した割合が高かったのは、根室(88.9%)であった。



圏域名 (発症地)	総数(人)	1か所経由有り		2か所経由有り	
		件数(人)	構成比(%)	件数(人)	構成比(%)
釧路・根室計	174	86	49.4%	4	2.3%
釧路	138	54	39.1%	4	2.9%
根室	36	32	88.9%		

工 疾患別発症から医療機関到着までの所要時間等

・発症から調査対象医療機関到着までの所要時間の中央値は251分であった。疾患別では、くも膜下出血118分<脳出血221分<脳梗塞372分の順に所要時間の中央値が長くなっていった。

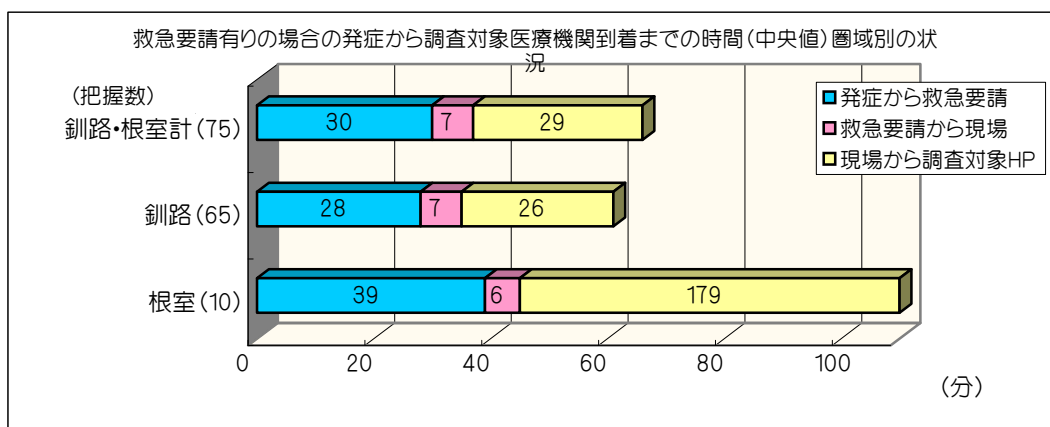


(単位:分)

診断名	発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
脳路・根室計	154	17	8,357	251	831	105	20	7,604	200	717	18	53	6,234	328	993
脳梗塞	113	17	8,357	372	918	74	20	7,604	205	724	7	53	6,234	163	1,541
脳出血	21	30	4,290	221	735	15	35	4,380	218	914	4	105	462	152	218
くも膜下出血	15	25	3,170	118	432	13	30	3,210	140	501	7	278	3,240	377	889
一過性脳虚血発作	4	83	728	211	308	2	120	243	182	182					
その他の脳卒中	1	1,080	1,080	1,080	1,080	1	1,140	1,140	1,140	1,140					

才 救急要請有りの場合の発症から各期までの所要時間

・救急要請があった場合の発症から医療機関到着までの所要時間は、根室では100分を超えていた。
 ・把握数は少ないが根室で所要時間が100分を超過していた理由は、医療機関の経由の割合が高いことが要因として推察される。

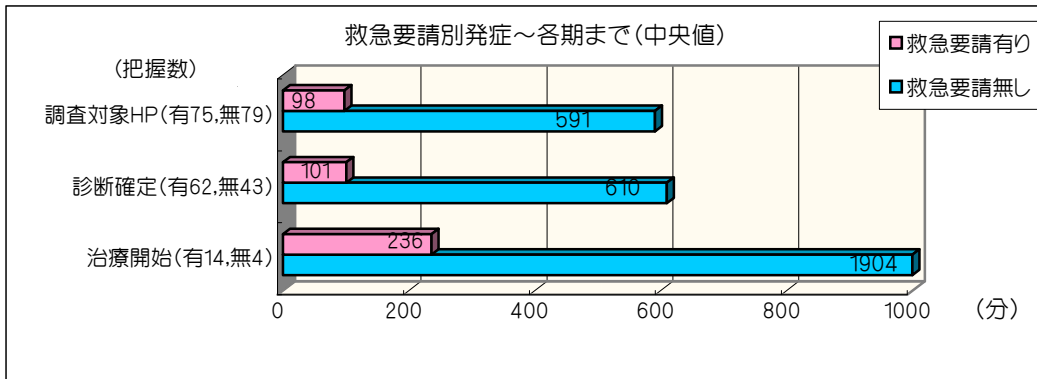


3 急性期医療

(1) 受診経過

ア 救急要請(有・無)別の発症から医療機関到着までの所要時間

・救急要請があった場合と無かった場合の発症から調査対象医療機関到着、診断確定、治療開始、までの所要時間の中央値を比較すると救急要請有りの所要時間が大幅に短く、調査対象医療機関到着までは493分、診断確定までは509分、治療開始までは1,668分短かった。

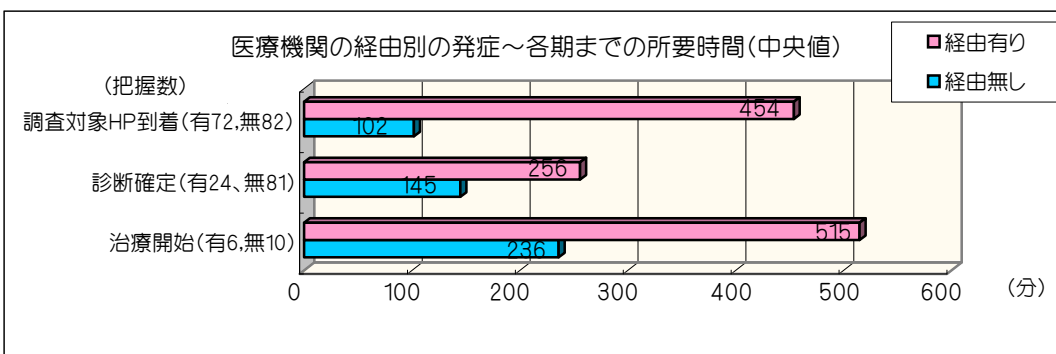


(単位:分)

		発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
		把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
救急要請	無	79	17	8,357	591	1,295	43	20	7,604	610	1,289	4	278	6,234	1,904	2,580
	有	75	25	4,504	98	341	62	30	4,573	101	321	14	53	2,435	236	540

イ 経由医療機関(有・無)別の発症から医療機関到着までの所要時間

・医療機関の経由が有った場合と無かった場合の発症から調査対象医療機関到着、診断確定、治療開始までの所要時間の中央値を比較すると、医療機関の経由無しの所要時間が大幅に短く、調査対象医療機関到着までは352分、診断確定までは111分、治療開始までは279分短かった。

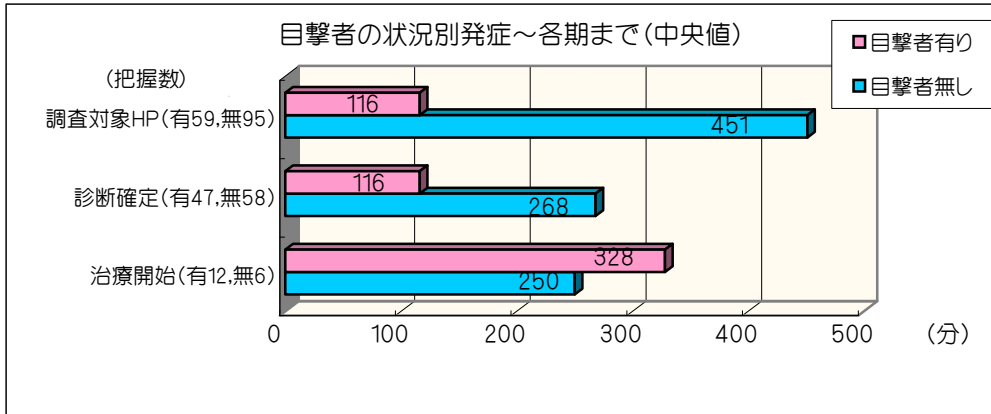


(単位:分)

		発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
		把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
経由機関	無	82	17	7,346	102	678	81	20	7,604	145	723	10	53	3,240	236	756
	有	72	58	8,357	454	1,005	24	85	4,383	256	699	6	163	6,234	515	1,468

ウ 目撃者(有・無)別の発症から医療機関到着までの所要時間

・目撃者有りの場合と無しの場合の発症から調査対象医療機関到着、診断確定、治療開始までの所要時間の中央値を比較すると目撃者有りの所要時間が、調査対象医療機関到着までは335分、診断確定までは152分短かった。



(単位:分)

		発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
		把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
目撃者	無	95	30	8,357	451	1,076	58	34	7,604	268	922	6	105	6,234	250	1,699
	有	59	17	4,360	116	435	47	20	4,383	116	464	12	53	2,435	328	641

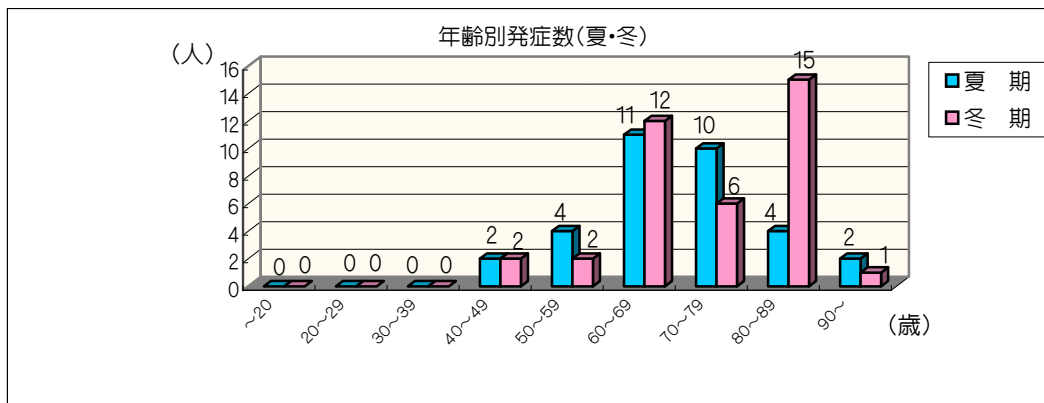
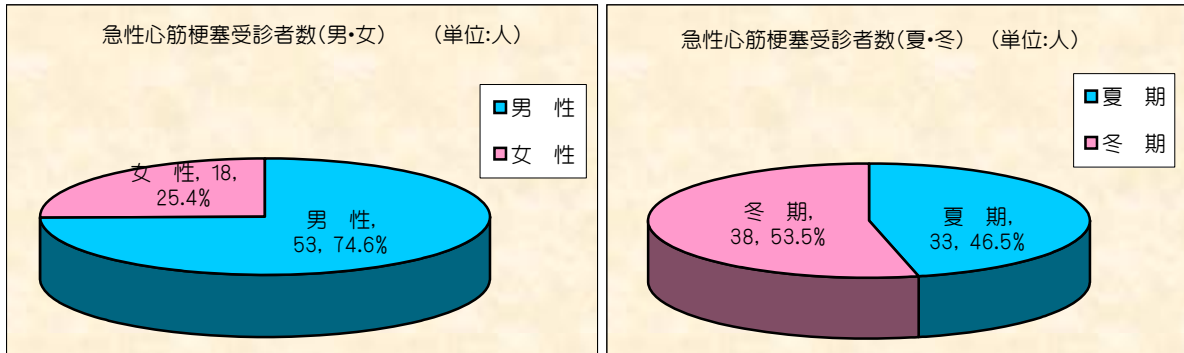
○ 急性心筋梗塞

1 発症予防

(1) 患者属性について

ア 性・年齢別受診者数

- ・受診者の男女比は男性74.6%、女性が25.4%で男性の受診者が上回っていた。
- ・夏期と冬期を比較すると、夏期46.5%、冬期53.5%で冬期の発症が多くなっていた。
- ・発症年齢は、60歳代23人(32.4%)、80歳代19人(26.8%)、70歳代16人(22.5%)の順に多く、60歳代以上が61人で全体の85.9%を占めていた。



(単位:歳、人)

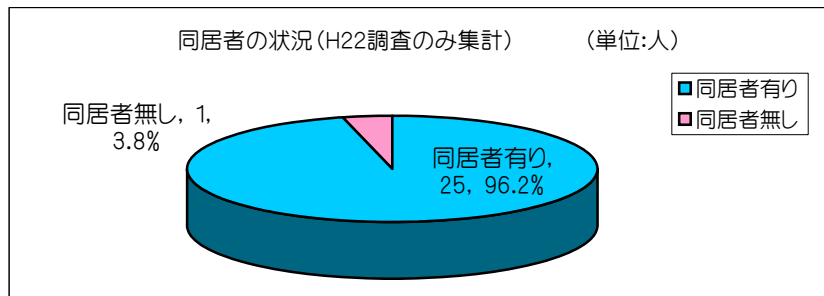
	合計	~20	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~89	90~
釧路・根室計	71	0	0	0	4	6	23	16	19	3
構成比		0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	8.5%	32.4%	22.5%	26.8%	4.2%
男性	53	0	0	0	4	6	21	10	10	2
構成比		0.0%	0.0%	0.0%	7.5%	11.3%	39.6%	18.9%	18.9%	3.8%
女性	18	0	0	0	0	0	2	6	9	1
構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	33.3%	50.0%	5.6%

(単位:歳、人)

	合計	~20	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~89	90~
釧路・根室計	71	0	0	0	4	6	23	16	19	3
構成比		0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	8.5%	32.4%	22.5%	26.8%	4.2%
夏期	33	0	0	0	2	4	11	10	4	2
構成比		0.0%	0.0%	0.0%	6.1%	12.1%	33.3%	30.3%	12.1%	6.1%
冬期	38	0	0	0	2	2	12	6	15	1
構成比		0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	5.3%	31.6%	15.8%	39.5%	2.6%

イ 居住形態

•同居者有りが25人(96.2%)、無しが1人(3.8%)であった。
(H22年度調査でのみ集計)

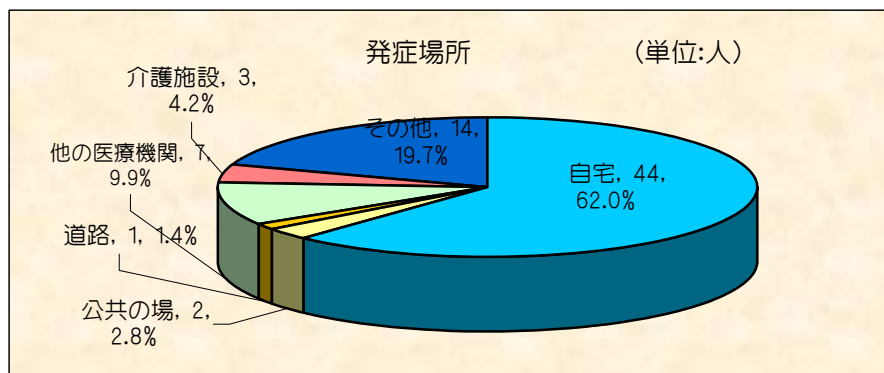


(単位:人)

	同居者有り	同居者無し
釧路・根室計	25	1
夏期	13	0
冬期	12	1

ウ 発症場所

•自宅44人(62.0%)、その他14人(19.7%)、他の医療機関7人(9.9%)、介護保険関係施設3人(4.2%)、公共の場2人(2.8%)、道路1人(1.4%)、となっている。
•夏期と比較し冬期では、自宅での発症が減少していた。



(単位:人)

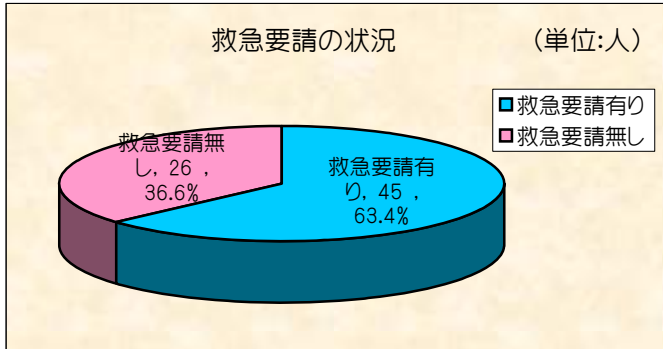
	自宅	職場	公共の場	道路	他の医療機関(H22)	介護保険関係施設(H22)	その他	計
釧路・根室計	44	0	2	1	7	3	14	71
構成比	62.0%	0.0%	2.8%	1.4%	9.9%	4.2%	19.7%	100.0%
夏期	22	0	0	0	3	1	7	33
構成比	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	3.0%	21.2%	100.0%
冬期	22	0	2	1	4	2	7	38
構成比	57.9%	0.0%	5.3%	2.6%	10.5%	5.3%	18.4%	100.0%

2 応急手当・病院前救護

(1) 受診経過

ア 救急要請の状況

- 救急要請有りは45人(63.4%)、救急要請無しは26人(36.6%)であった。
- 夏期と比較し冬期では、救急要請の割合が27.8%増加した。

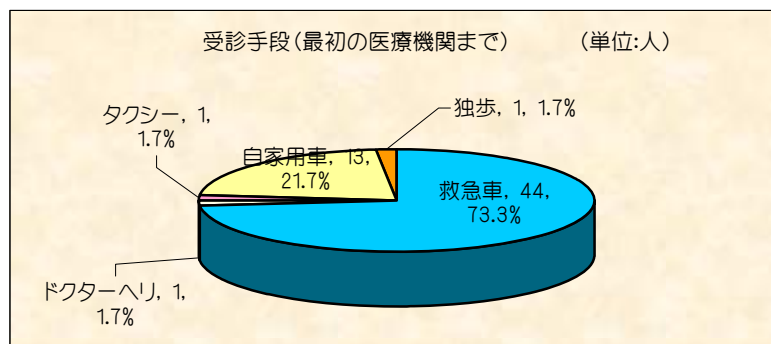


(単位:人)

	救急要請有り	救急要請無し
釧路・根室計	45	26
構成比	63.4%	36.6%
夏期	16	17
構成比	48.5%	51.5%
冬期	29	9
構成比	76.3%	23.7%

イ 受診手段の状況

- 受診手段は、救急車44人(73.3%)、ドクターヘリ1人(1.7%)、タクシー1人(1.7%)、自家用車13人(21.7%)、独歩1人(1.7%)、となっていた。
- 夏期と冬期で、受診手段に差異は見られなかった。

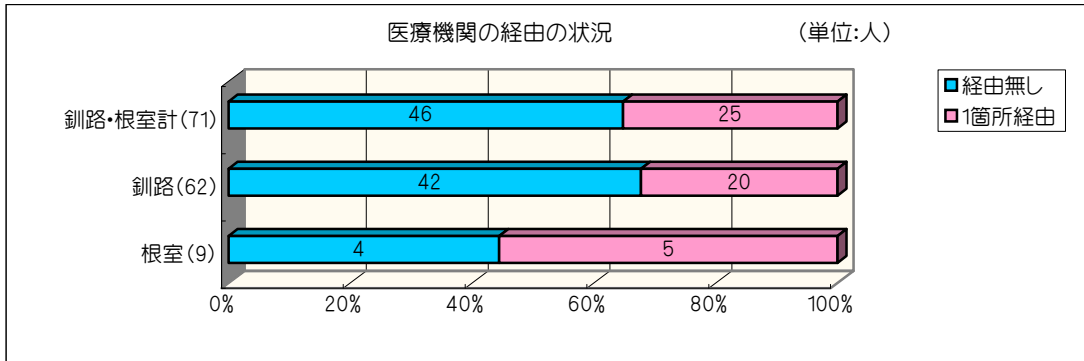


(単位:人)

	発症後最初に受診した医療機関(経由医療機関、調査対象医療機関)までの受診手段						計
	救急車	消防防災ヘリ	ドクターヘリ	タクシー	自家用車	独歩	
釧路・根室計	44	0	1	1	13	1	60
構成比	73.3%	0.0%	1.7%	1.7%	21.7%	1.7%	100.0%
夏期	16	0	0	1	5	0	22
構成比	72.7%	0.0%	0.0%	4.5%	22.7%	0.0%	100.0%
冬期	28	0	1	0	8	1	38
構成比	73.7%	0.0%	2.6%	0.0%	21.1%	2.6%	100.0%

ウ 他の医療機関の経由の状況

・釧路・根室の他の医療機関の経由状況は、経由機関無しが46人(64.8%)、経由機関有りが25人(35.2%)で、経由機関有りのうち、2か所の機関を経由し、受診した人は1人(1.4%)であった。



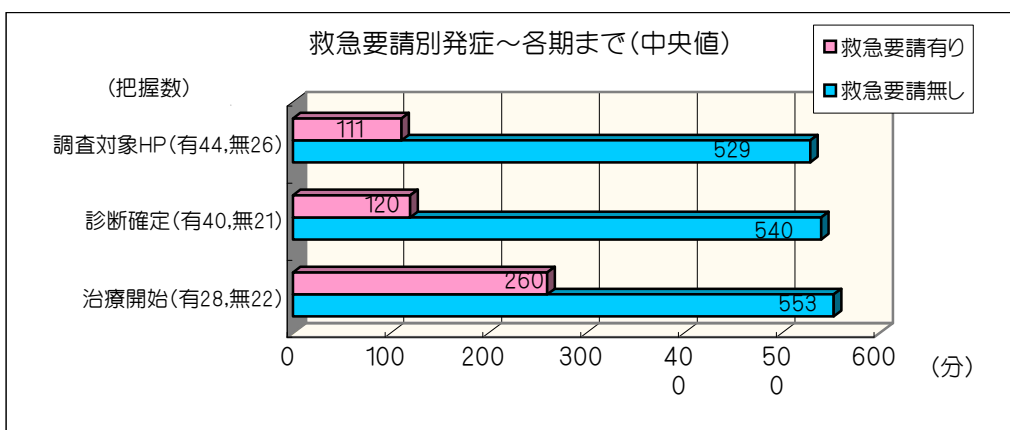
圏域名 (発症地)	総数(人)	1か所経由有り		2か所経由有り	
		件数(人)	構成比(%)	件数(人)	構成比(%)
釧路・根室計	71	25	35.2%	1	1.4%
釧路	62	20	32.3%	1	1.6%
根室	9	5	55.6%		

3 急性期医療

(1) 受診経過

ア 救急要請(有・無)別の発症から医療機関到着までの所要時間

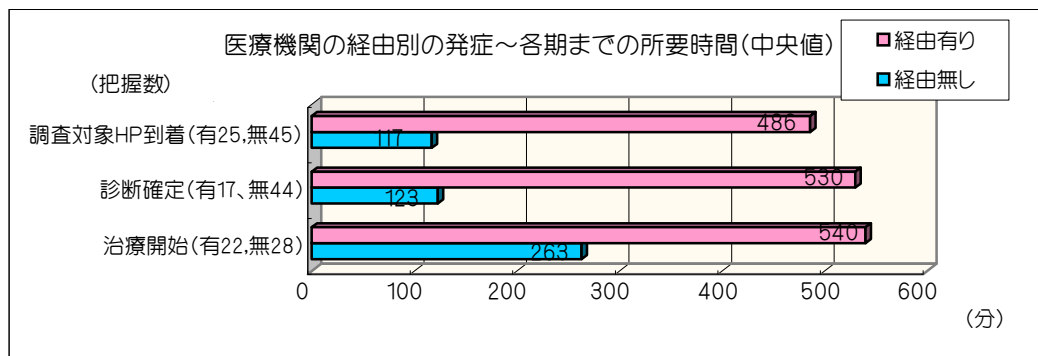
・救急要請があった場合と無かった場合の発症から調査対象医療機関到着、診断確定、治療開始、までの所要時間の中央値を比較すると、救急要請有りの所要時間が大幅に短く、調査対象医療機関到着までは418分、診断確定までは420分、治療開始までは293分短かった。



		発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
		把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
救急要請	無	26	20	4,364	529	992	21	24	3,345	540	899	22	44	4,640	553	1,036
	有	44	24	1,307	111	180	40	29	1,309	120	188	28	72	10,045	260	665

イ 経由医療機関(有・無)別の発症から医療機関到着までの所要時間

・医療機関の経由が有った場合と無かった場合の発症から調査対象医療機関到着、診断確定治療開始、までの所要時間の中央値を比較すると、医療機関の経由無しの所要時間が大幅に短く、調査対象医療機関到着までは369分、診断確定までは407分、治療開始までは277分短かった。

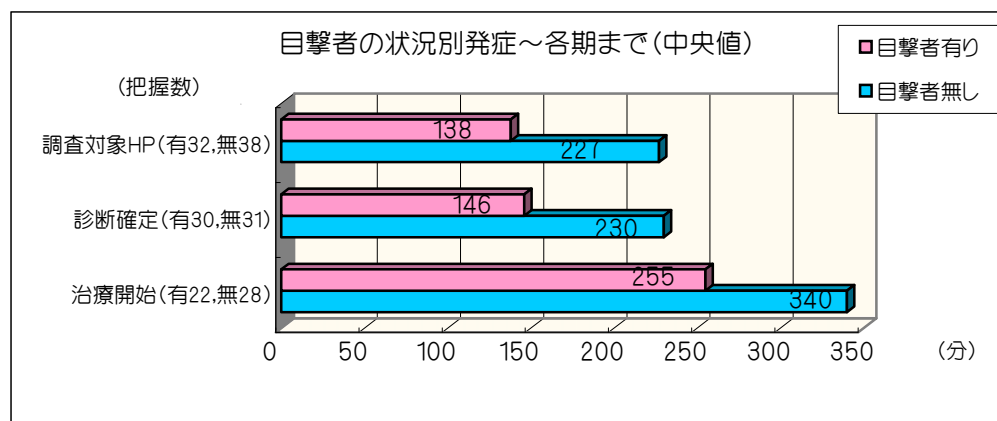


(単位:分)

		発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
		把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
経由機関	無	45	24	2,730	117	253	44	29	2,750	123	270	28	72	10,045	263	763
	有	25	20	4,364	486	893	17	24	3,345	530	854	22	44	4,640	540	884

ウ 目撃者(有・無)別の発症から医療機関到着までの所要時間

・目撃者が有りの場合と無しの場合の発症から調査対象医療機関到着、診断確定、治療開始、までの所要時間の中央値を比較すると、目撃者有りの所要時間が短く、調査対象医療機関到着までは89分、診断確定までは84分、治療開始までは85分短かった。



(単位:分)

		発症から調査対象医療機関到着まで					発症から診断確定まで					発症から治療開始まで				
		把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値	把握数(人)	最小値	最大値	中央値	平均値
目撃者	無	38	24	4,364	227	573	31	35	3,345	230	472	28	90	10,045	340	1,082
	有	32	20	2,616	138	373	30	24	2,620	146	391	22	44	2,710	255	514